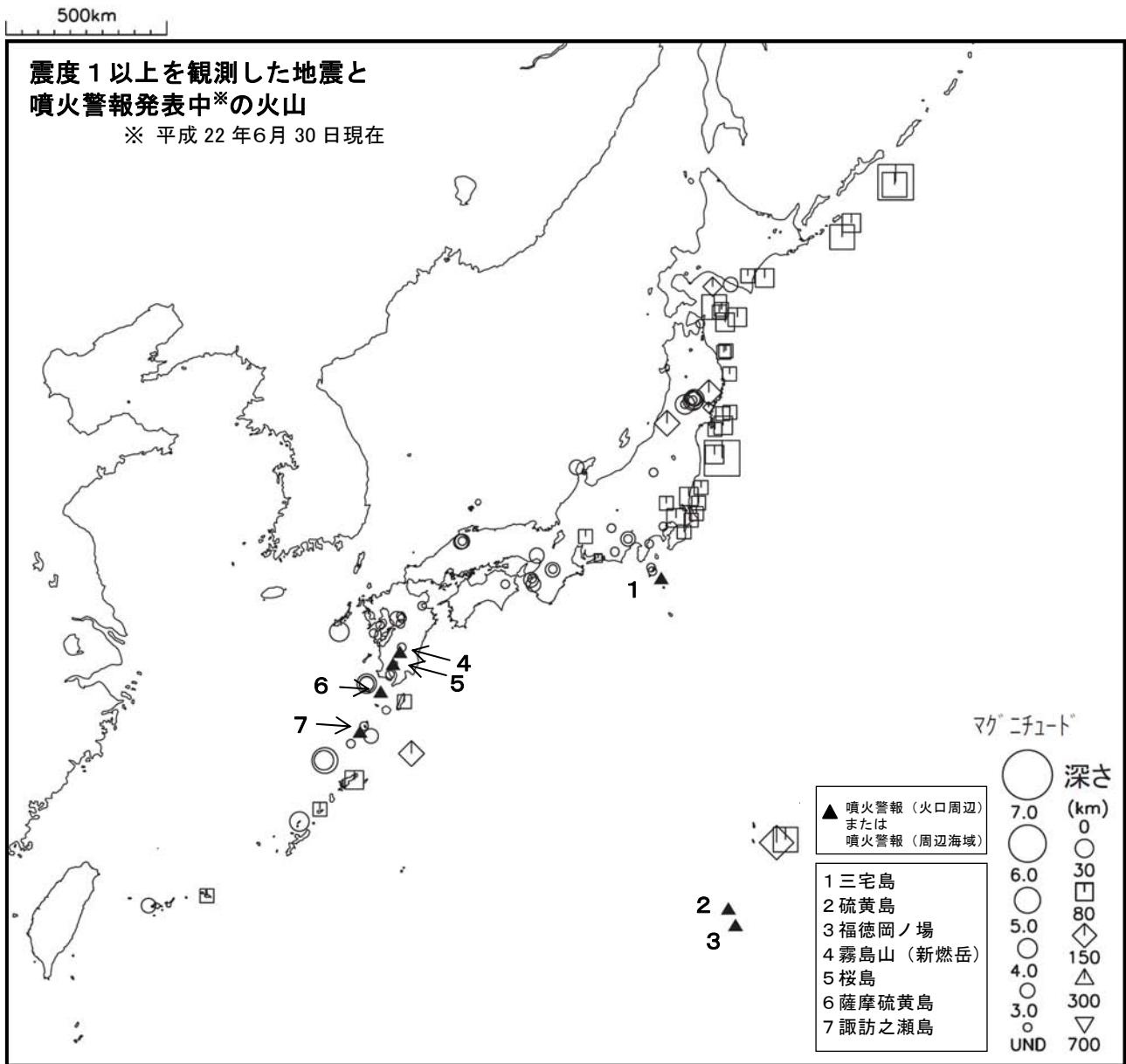


# 平成 22 年 6 月 地震・火山月報(防災編)

## Monthly Report on Earthquakes and Volcanoes in Japan

June 2010



気 象 庁

Japan Meteorological Agency

## 利用にあたって

本書は、地震・火山に関連した各種防災情報や地震・火山活動に関する分析結果の最新版を防災機関等における効果的な利用に供するため、毎月刊行している。

気象庁では、平成 9 年 11 月 10 日より、国・地方公共団体及び住民が一体となった緊急防災対応の迅速かつ円滑な実施に資するため、気象庁の震度計の観測データに合わせて地方公共団体及び独立行政法人防災科学技術研究所\*から提供されたものも震度情報として発表している。

また、気象庁では、地震防災対策特別措置法の趣旨に沿って、平成 9 年 10 月 1 日より、大学や独立行政法人防災科学技術研究所等の関係機関から地震観測データの提供を受け\*\*、文部科学省と協力してこれを整理し、整理結果等を、同法に基づいて設置された地震調査研究推進本部地震調査委員会に提供するとともに、気象業務の一環として防災情報として適宜発表する等活用している。

なお、地震・火山観測データの整理結果については、本編の姉妹編の「地震・火山月報（カタログ編）」に掲載している。

本誌で使用している震源位置・マグニチュードは世界測地系（Japanese Geodetic Datum 2000）に基づいて計算したものである。

注\* 秋田県、埼玉県、新潟県、愛知県、大阪府、奈良県、和歌山県、岡山県、山口県、横浜市（神奈川県）（以上 1 府 8 県、1 政令指定都市は平成 9 年 11 月 10 日から発表）、群馬県、福井県、静岡県、三重県、島根県及び愛媛県（以上 6 県は平成 10 年 6 月 15 日から発表）、青森県、山形県、茨城県、石川県、京都府、兵庫県、鳥取県、広島県、徳島県、熊本県、宮崎県及び鹿児島県（以上 1 府 11 県は平成 10 年 10 月 15 日から発表）、東京都、長野県（以上 1 都 1 県は平成 11 年 7 月 21 日から発表）、栃木県、千葉県、岐阜県、名古屋市（愛知県）（以上 3 県、1 政令指定都市は平成 12 年 1 月 12 日から発表）、滋賀県（平成 12 年 3 月 28 日から発表）、富山県、香川県、大分県（以上 3 県は平成 12 年 7 月 18 日から発表）、佐賀県（平成 13 年 3 月 22 日から発表）、山梨県、川崎市（神奈川県）（以上 1 県、1 政令指定都市は平成 13 年 5 月 10 日から発表）、高知県（平成 13 年 7 月 19 日から発表）、福島県（平成 13 年 12 月 12 日から発表）、岩手県、宮城県、神奈川県、福岡県、仙台市（宮城県）（以上 4 県、1 政令指定都市は平成 14 年 3 月 20 日から発表）、北海道、長崎県（以上 1 道 1 県、平成 14 年 7 月 29 日から発表）、沖縄県（平成 15 年 3 月 10 日から発表）の 47 都道府県、4 政令指定都市と独立行政法人防災科学技術研究所（平成 16 年 5 月 26 日から発表）。

注\*\*平成 22 年 6 月 30 日現在：独立行政法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、独立行政法人産業技術総合研究所、国土地理院、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所、横浜市及び独立行政法人海洋研究開発機構による地震観測データを利用している。また、東北大学の臨時観測点（夏油、岩入、鶯沢、石淵ダム）、IRIS の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを利用している。

### □本書利用上の注意

#### ・震央分布図中の語句について

M：マグニチュード

Mw：モーメントマグニチュード

Depth：深さ（km）

UND：マグニチュードの決まらない地震が含まれていることを意味する。

N=XX：図中に表示している地震の回数を表す（通常図の右肩の上に示してある）

#### ・発震機構解について

本書での発震機構解の図は下半球投影である。また、本書での発震機構解は、特にことわりがない限り、初動による発震機構解である。初動発震機構解が求められない場合や、十分な精度が得られない場合には、初動発震機構解に替えて CMT 解を掲載する場合がある。

#### ・発震機構解の図中の語句について

P：P 軸（圧力軸）

T：T 軸（張力軸）

N：N 軸（中立軸）

#### ・Global CMT 解について

Global CMT 解は、米国のコロンビア大学とハーバード大学で行っている、世界で発生した規模の大きな地震の CMT 解を求めるプロジェクト（Global CMT Project）により求められた解である。

#### ・M-T 図について

縦軸にマグニチュード（M）、横軸に時間（T）を表示した図であり、地震活動の経過を見るために用いる。

#### ・震央地名について

本書での震央地名は、原則として情報発表時に使用したものをを用いるが、震央を精査した結果等により、情報発表時とは異なる震央地名を用いる場合がある。なお、情報発表時の震央地名及びその領域については、各年の「地震・火山月報（防災編）」1 月号の付録「地震・火山月報（防災編）で用いる震央地名」を参照のこと。

#### ・震源と震央について

震源とは地震の発生原因である地球内部の岩石の破壊が開始した点であり、震源の真上の地点を震央という。

#### ・地震の震源要素等について

地震の震源要素、発震機構解、震度データ等は、再調査後、修正することがある。確定した値、算出方法については「地震・火山月報（カタログ編）（CD-ROM）」「地震年報（CD-ROM）」に掲載する。

#### ・火山の活動解説の火山性地震回数等について

火山性地震や火山性微動の回数等は、再調査後、修正することがある。確定した値については、「地震・火山月報（カタログ編）（CD-ROM）」「火山報告（CD-ROM）」に掲載する。

#### ・本書で使用した地図等について

本書中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』、『数値地図 25000（地図画像）』、『数値地図 50000（地図画像）』、『数値地図 10m メッシュ（火山標高）』、『数値地図 50m メッシュ（標高）』、『数値地図 250m メッシュ（標高）』を使用したものである（承認番号：平 20 業使、第 385 号）。

また、震央分布図等に表記した活断層のデータは、「新編日本の活断層」（東京大学出版会、1991）を使用した。

・図版作成には一部 GMT (Generic Mapping Tool [Wessel, P., and W. H. F. Smith, New, improved version of Generic Mapping Tools released, *EOS Trans. Amer. Geophys. U.*, vol. 79 (47), pp. 579, 1998]) を使用した。

## 目 次

● 日本及びその周辺で発生した主な地震	1
● 東海地震の想定震源域及びその周辺の地震活動	20
● 日本の主な火山活動	26
● 世界の主な地震	35
● 世界の主な火山活動	39
● 付表	
1. 震度 1 以上を観測した地震の表	40
2. 過去 1 年間に震度 1 以上を観測した地震の最大震度別の月別回数	54
3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード (M) 別の月別地震回数	55
4. 緊急地震速報の提供状況	56

## ●日本及びその周辺で発生した主な地震

平成 22 年（2010 年）6 月に日本国内で震度 1 以上を観測した地震の回数は 91 回（5 月は 94 回）、日本及びその周辺で発生した M4.0 以上の地震の回数は 96 回（5 月は 67 回）であった。

6 月中に発生した主な地震を表 1 に示す。震度 5 弱以上を観測した地震は 1 回あり、津波を観測した地震はなかった（5 月は震度 5 弱以上を観測した地震及び津波を観測した地震はなかった）。

表 1 平成 22 年 6 月に日本及びその周辺で発生した主な地震（注 1）

No.	震源時 月 日 時 分	震央地名	M	M H S T (注 3)	最大震度・被害状況等（注 4）	掲載 ページ
1	6 3 07 39	岩手県内陸南部	4.4	・ ・ ・ ・	3：岩手県 奥州市衣川区＊ 宮城県 栗原市栗駒	10
2	6 5 14 22	北海道東方沖	5.5	・ ・ ・ ・	3：北海道 根室市瑤瑤瑠＊ など 1 道 3 地点	6
3	6 11 12 18	秋田県内陸南部	4.0	・ ・ ・ ・	3：秋田県 湯沢市横堀＊	11
4	6 13 00 44	奄美大島北西沖	5.2	・ ・ ・ ・	3：鹿児島県 奄美市名瀬港町	17
5	6 13 12 32	福島県沖	6.2	M H S ・	5 弱：福島県 相馬市中村＊ 浪江町幾世橋 被害：土砂崩落 1 箇所	12
6	6 18 11 23	択捉島南東沖	6.5	M ・ ・ ・	3：北海道 釧路町別保＊ など 1 道 5 地点	7
7	6 28 06 03	苫小牧沖	5.1	・ ・ S ・	4：北海道 函館市泊町＊ 青森県 東通村小田野沢＊	8
8	6 29 07 24	岩手県内陸南部（注 5）	4.3	・ ・ ・ ・	3：岩手県 一関市千厩町＊	13

注 1) 主な地震とは、図 1 の領域内で発生した①M6.0 以上、②震度 4 以上、③内陸 M4.0 以上かつ震度 3、④海域 M5.0 以上かつ震度 3、⑤その他注目した地震を指す。

注 2) 震源時、震央地名、マグニチュードは再調査後、修正することがある。

注 3) M H S T の各項目について、M:M6.0 以上の地震、H:被害を伴った地震、S:震度 4 以上を観測した地震、T:津波を観測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。

注 4) 最大震度の観測点名にある＊印は地方公共団体もしくは独立行政法人防災科学技術研究所の震度観測点であることを表す。被害状況は、総務省消防庁による。

注 5) 6 月 29 日 07 時 24 分に発生した岩手県内陸南部の地震については、情報発表に用いた震央地名は「岩手県沿岸南部」である。

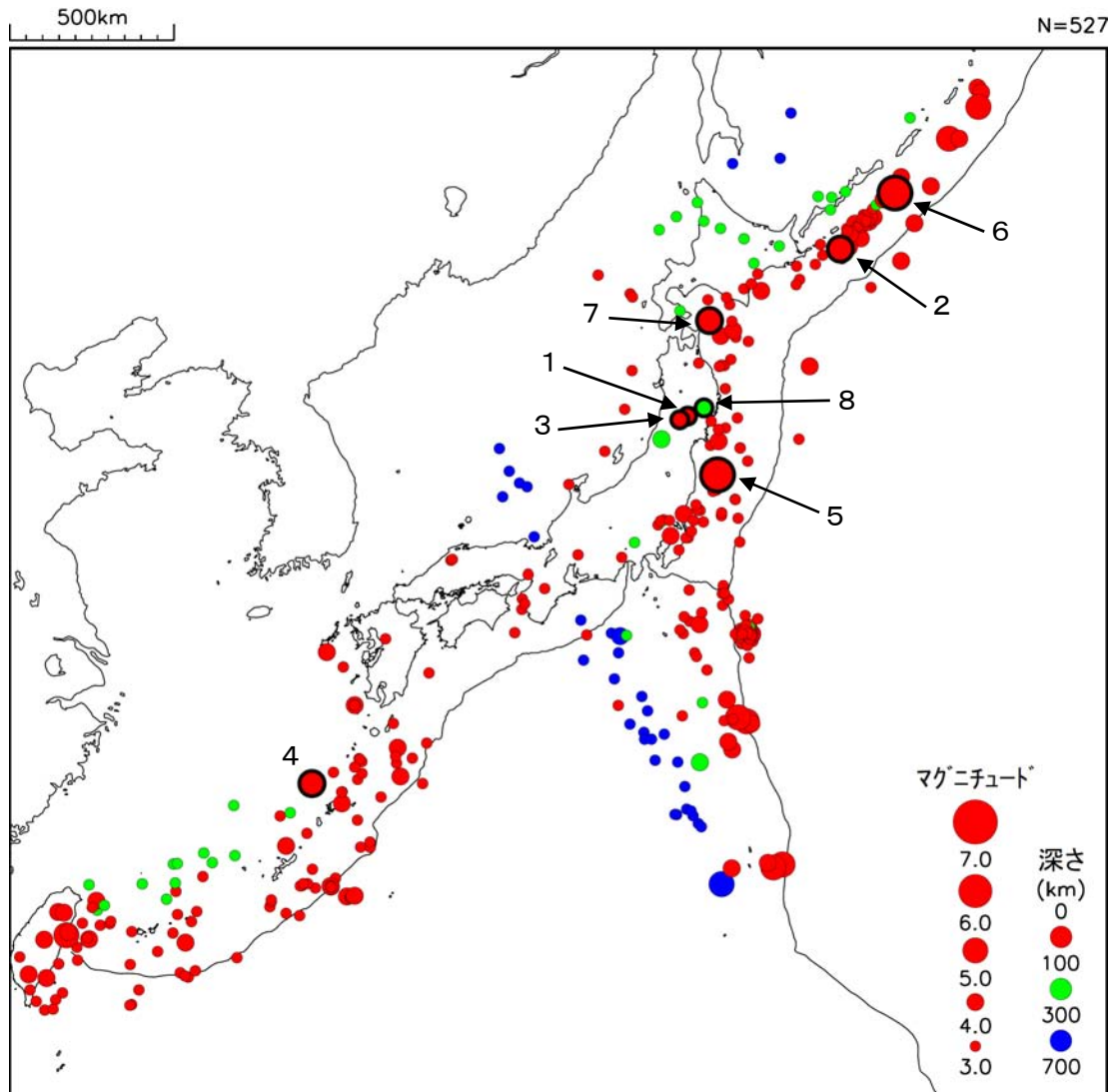
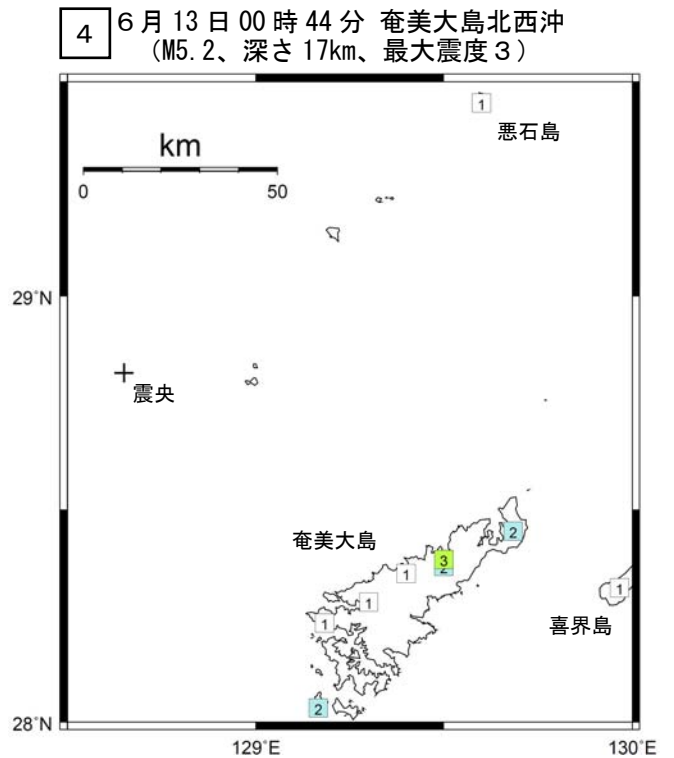
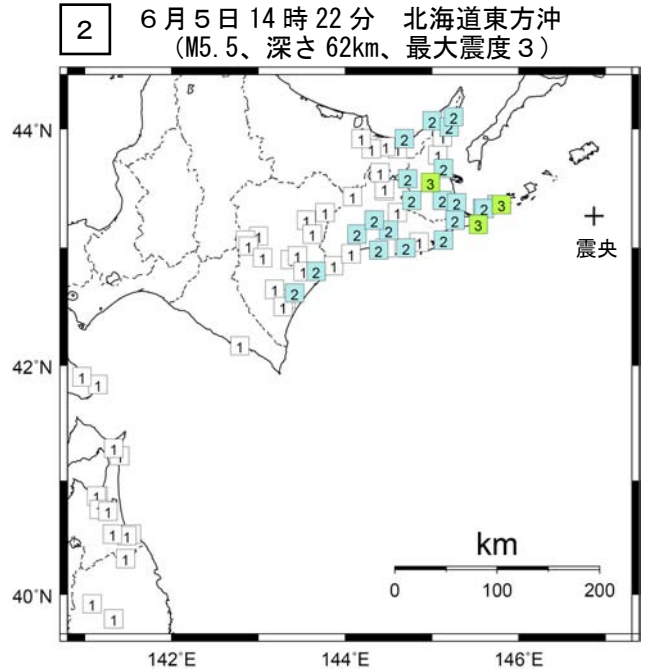
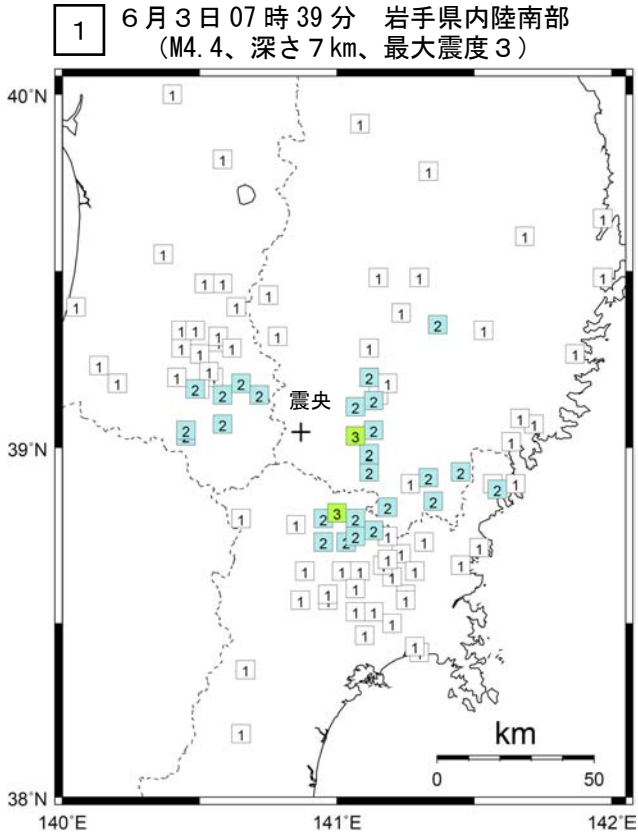


図 1 平成 22 年 6 月に日本及びその周辺で発生した M3.0 以上の地震の震央分布図（図中の数字は表 1 の番号に対応）



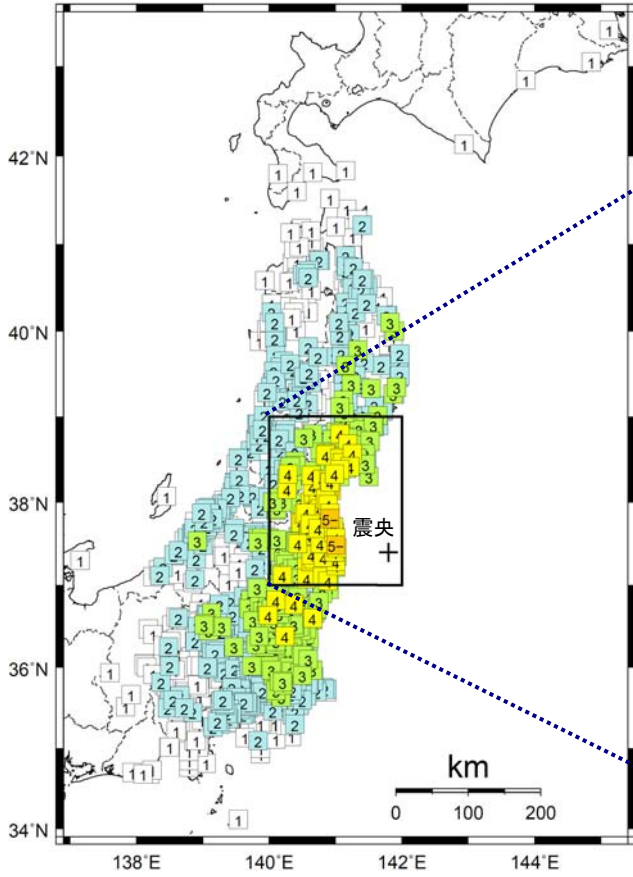
凡例	
3	震度3
2	震度2
1	震度1

図 2 - 1 震度分布図（各図の左上の数字は表 1，図 1 の番号に対応する。+印は震央を示す）

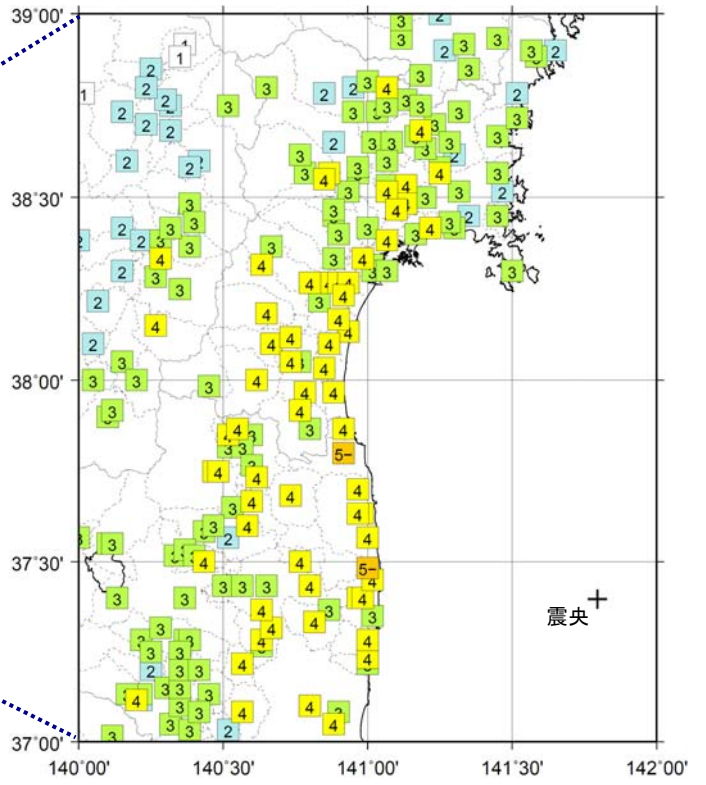


5

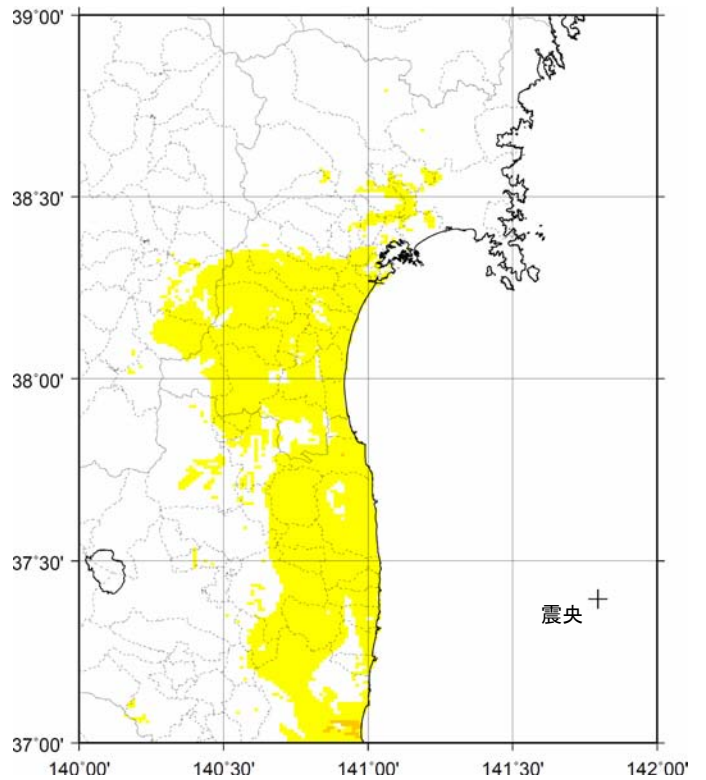
6月13日12時32分 福島県沖  
(M6.2、深さ40km、最大震度5弱)



拡大図



推計震度分布図

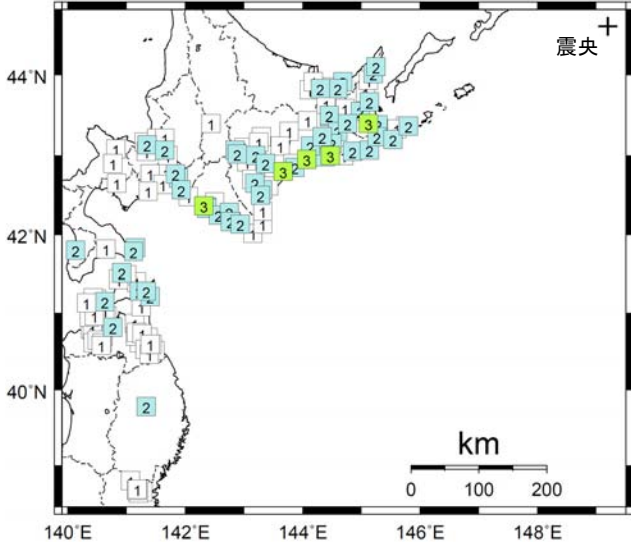


凡例	
5	震度5弱
4	震度4
3	震度3
2	震度2
1	震度1

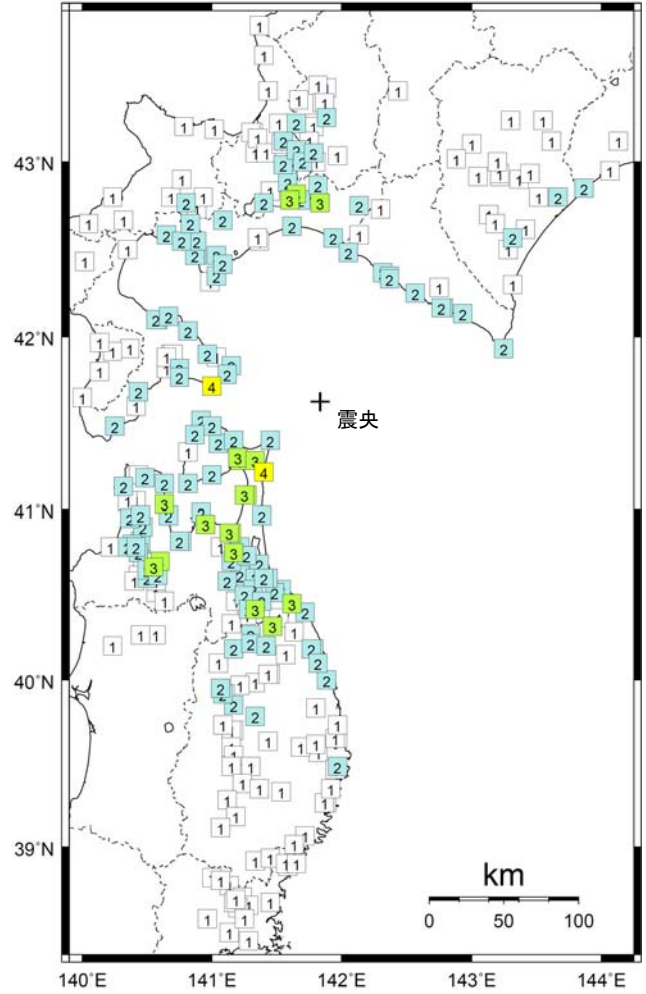
<推計震度分布図について>  
地震の際に観測される震度は、ごく近い場所でも地盤の違いなどにより1階級程度異なることがある。また、このほか震度を推計する際にも誤差が含まれるため、推計された震度と実際の震度が1階級程度ずれることがある。  
このため、個々のメッシュの位置や震度の値ではなく、大きな震度の面的な広がり具合とその形状に着目されたい。

図 2 - 2 震度分布図（各図の左上の数字は表 1，図 1 の番号に対応する。+印は震央を示す）

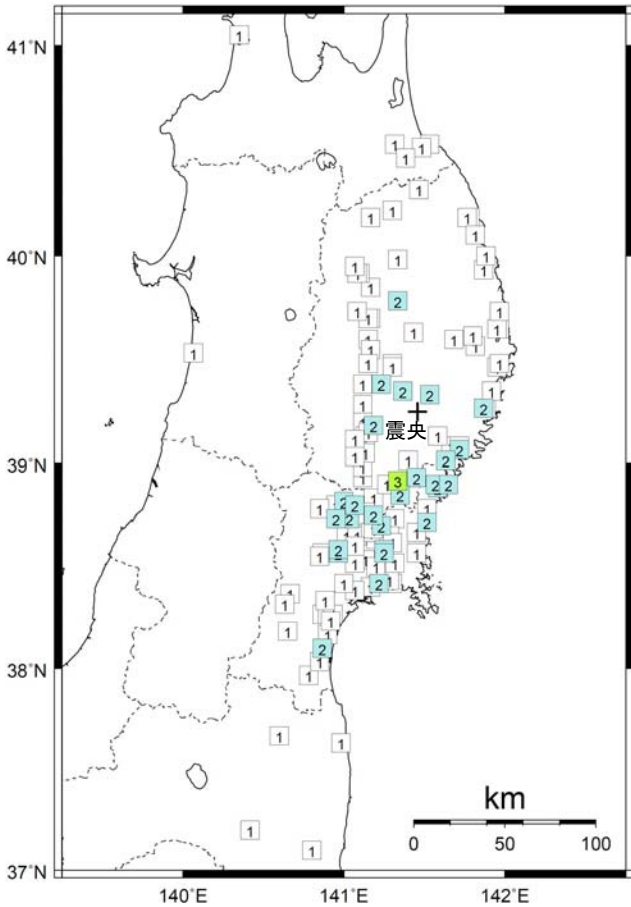
6 6月18日11時23分 択捉島南東沖  
(M6.5、深さ30km、最大震度3)



7 6月28日06時03分 苫小牧沖  
(M4.9、深さ57km、最大震度4)



8 6月29日07時24分 岩手県沿岸南部※  
(M4.6、深さ116km、最大震度3)



凡例	
4	震度 4
3	震度 3
2	震度 2
1	震度 1

※ 情報発表で用いた震央地名は「岩手県沿岸南部」。

図 2 - 3 震度分布図（各図の左上の数字は表 1， 図 1 の番号に対応する。+印は震央を示す）

## ○北海道地方の地震活動

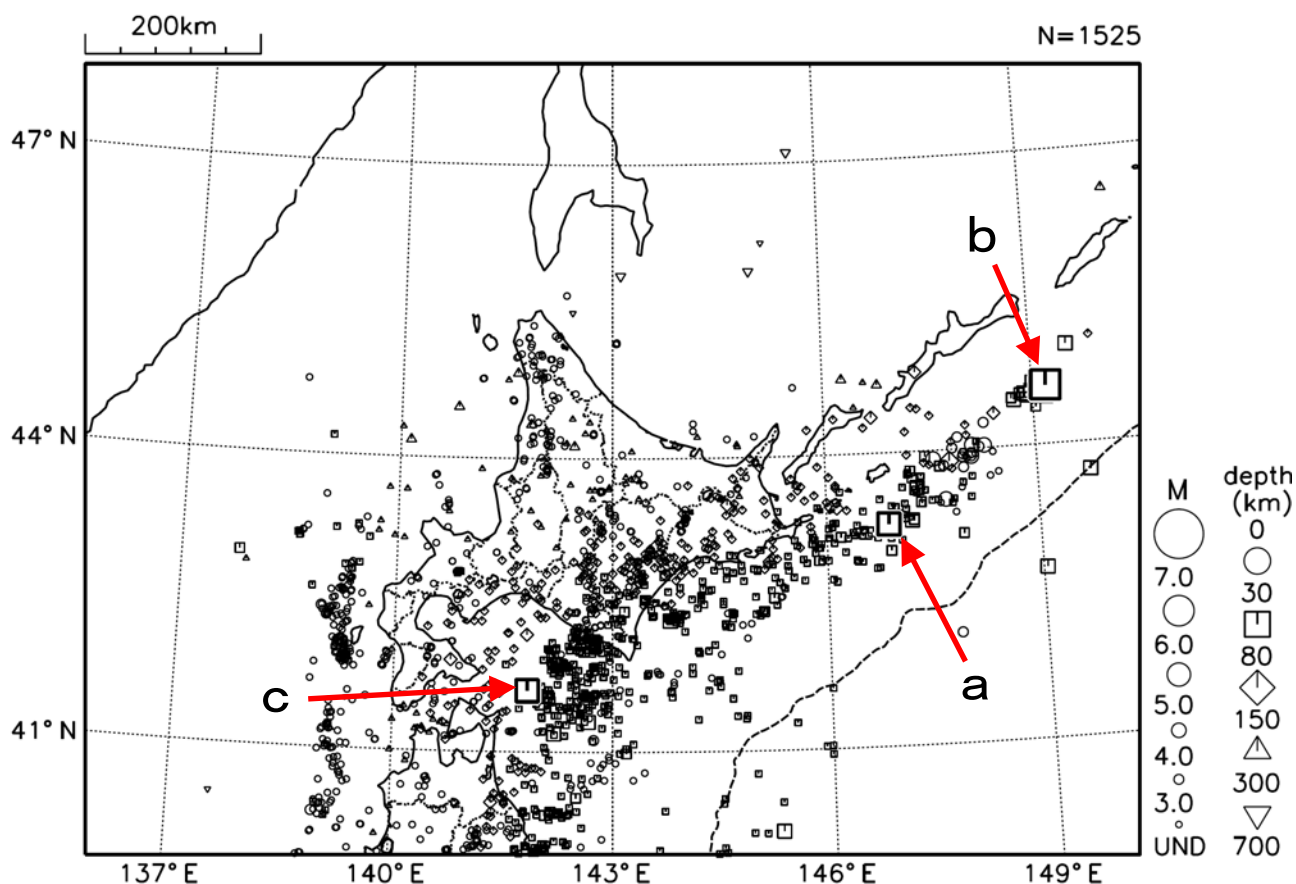


図3 北海道地方の震央分布図（2010年6月1日～6月30日）

### 〔概況〕

6月に北海道地方で震度1以上を観測した地震は13回（5月は4回）であった。6月中の主な活動は次のとおりである。

5日14時22分に北海道東方沖の深さ62kmでM5.5の地震（図3中のa）が発生し、北海道の根室市、中標津町で震度3を観測したほか、北海道から岩手県にかけて震度2～1を観測した（p.6参照）。

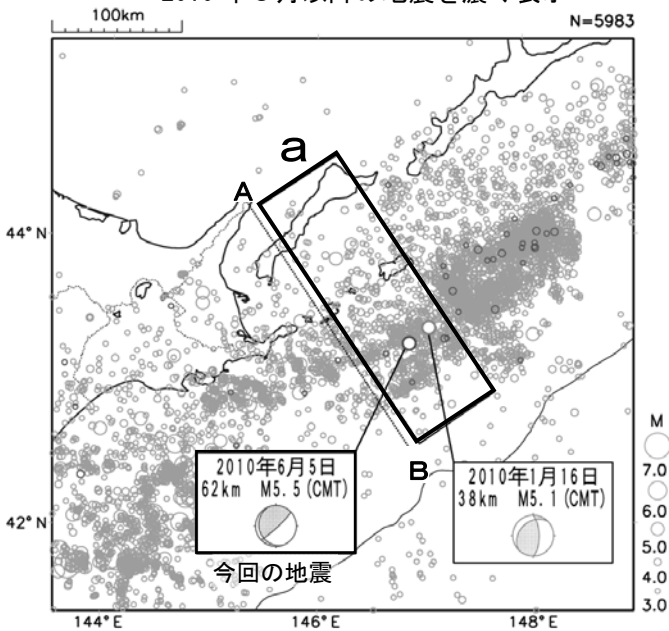
18日11時23分に択捉島南東沖でM6.5の地震（図3中のb）が発生し、北海道の新冠町、浦幌町、釧路町、白糠町、別海町で震度3を観測したほか、北海道から宮城県にかけて震度2～1を観測した（p.7参照）。

28日06時03分に苫小牧沖の深さ57kmでM5.1の地震（図3中のc）が発生し、北海道の函館市と青森県の東通村で震度4を観測したほか、北海道から宮城県にかけて震度3～1を観測した（p.8参照）。



## 6 月 5 日 北海道東方沖の地震

震央分布図(2001 年 10 月 1 日～2010 年 6 月 30 日、  
深さ 0～150km、 $M \geq 3.0$ )  
2010 年 6 月以降の地震を濃く表示

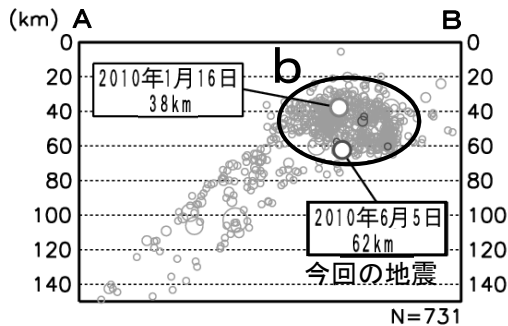


2010 年 6 月 5 日 14 時 22 分に北海道東方沖の深さ 62km で  $M 5.5$  の地震 (最大震度 3) が発生した。この地震の発震機構 (CMT 解) は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型であった。

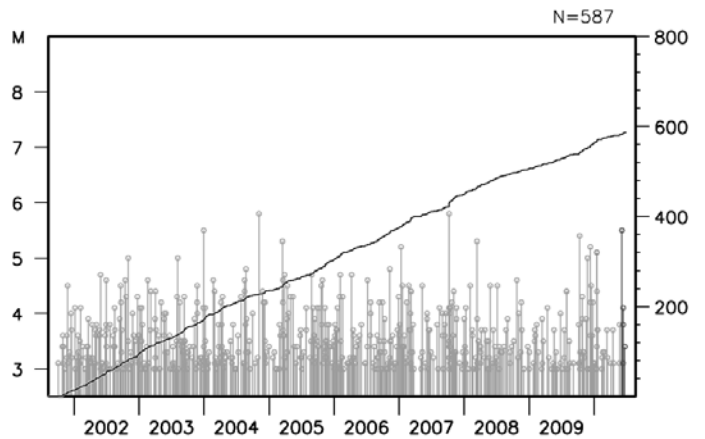
2001 年 10 月以降の活動を見ると、今回の地震の震源周辺 (領域 b) では、 $M 5.0$  以上の地震が度々発生しており、最近では、2010 年 1 月 16 日に  $M 5.1$  の地震 (最大震度 3) が発生している。

1923 年 8 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺 (領域 c) では、 $M 6.0$  以上の地震がしばしば発生している。最大は「平成 6 年 (1994 年) 北海道東方沖地震」 ( $M 8.2$ 、最大震度 6) で、負傷者 436 人のほか、住家被害、船舶被害など、地震と津波による被害を生じた (「最新版 日本被害地震総覧」による)。

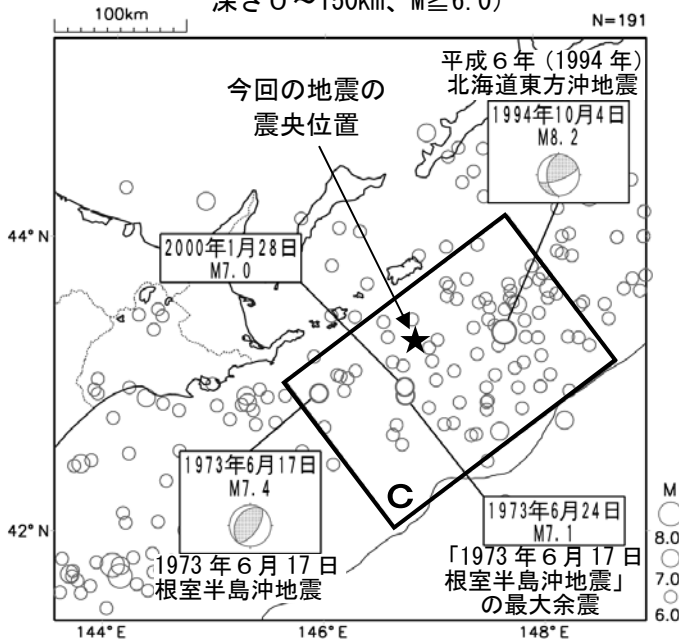
領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



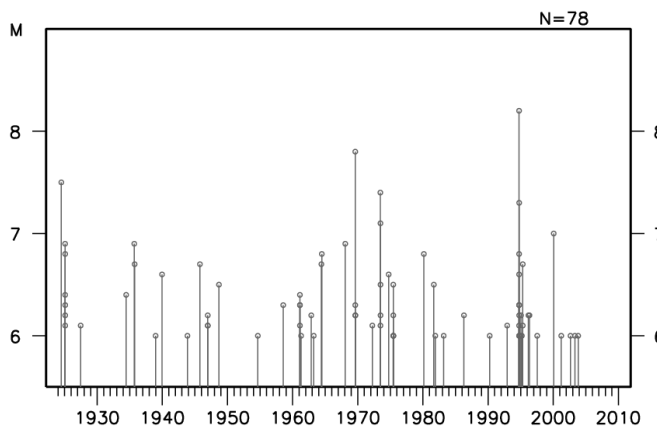
領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



震央分布図  
(1923 年 8 月 1 日～2010 年 6 月 30 日、  
深さ 0～150km、 $M \geq 6.0$ )

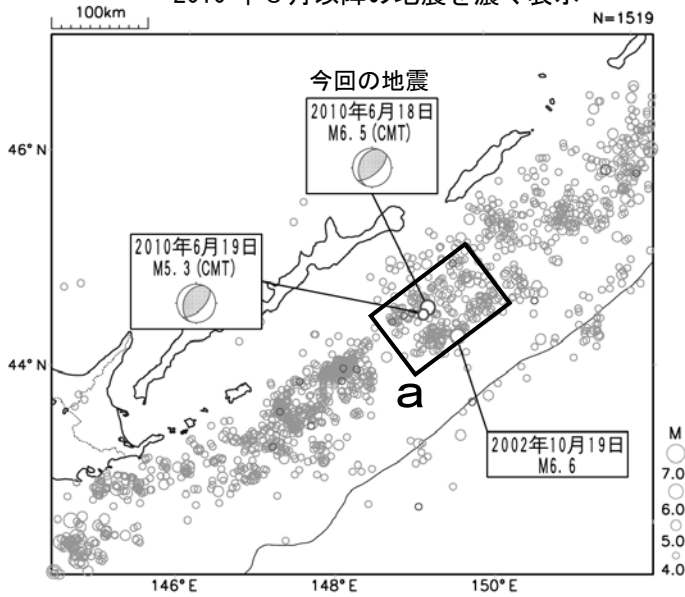


領域 c 内の M-T 図



## 6 月 18 日 択捉島南東沖の地震

震央分布図 (2001 年 10 月 1 日 ~ 2010 年 6 月 30 日、  
深さ 0 ~ 60 km、 $M \geq 4.0$ )  
2010 年 6 月以降の地震を濃く表示

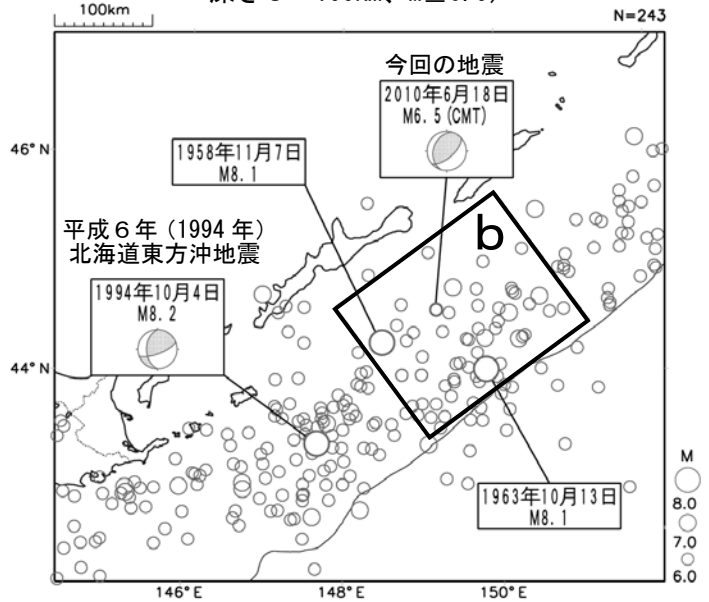


2010 年 6 月 18 日 11 時 23 分に択捉島南東沖で M6.5 の地震 (最大震度 3) が発生した。この地震の発震機構 (CMT 解) は北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、プレート境界で発生する地震によく見られる型であった。今回の地震発生後、19 日 11 時 39 分に M5.3 の余震 (最大震度 1) が発生した。

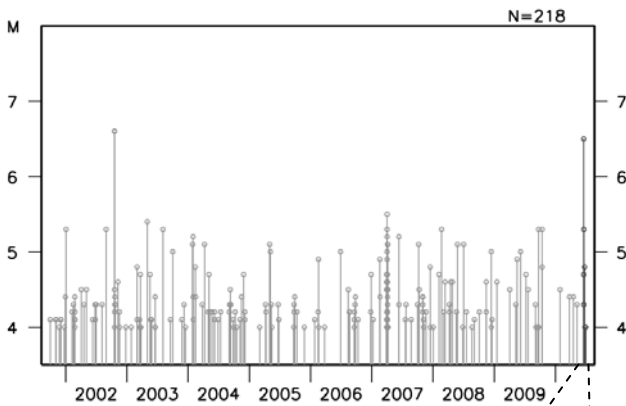
2001 年 10 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺 (領域 a) では、M5.0 以上の地震がしばしば発生している。M6.0 以上の地震は 2002 年 10 月 19 日の M6.6 の地震以来である。

1923 年 8 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺 (領域 b) では、M6.0 以上の地震が度々発生しており、1963 年 10 月 13 日の M8.1 の地震 (最大震度 4) では、津波が発生し、三陸沿岸で軽微な被害を生じた (『最新版日本被害地震総覧』による)。

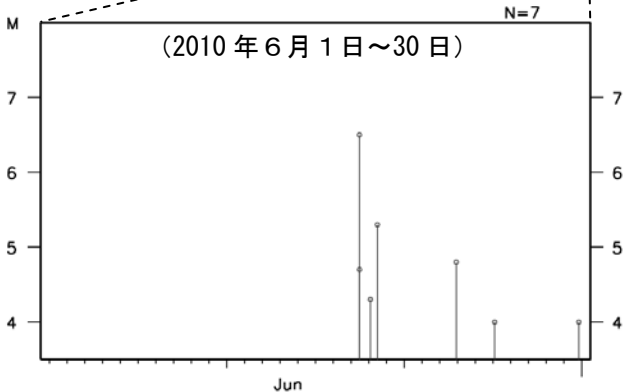
震央分布図  
(1923 年 8 月 1 日 ~ 2010 年 6 月 30 日、  
深さ 0 ~ 100 km、 $M \geq 6.0$ )



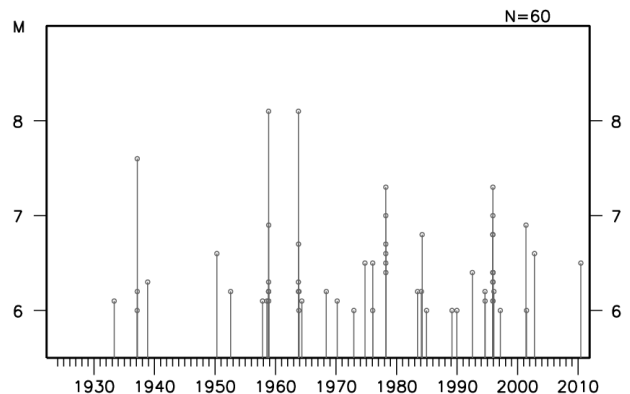
領域 a 内の M-T 図



(2010 年 6 月 1 日 ~ 30 日)

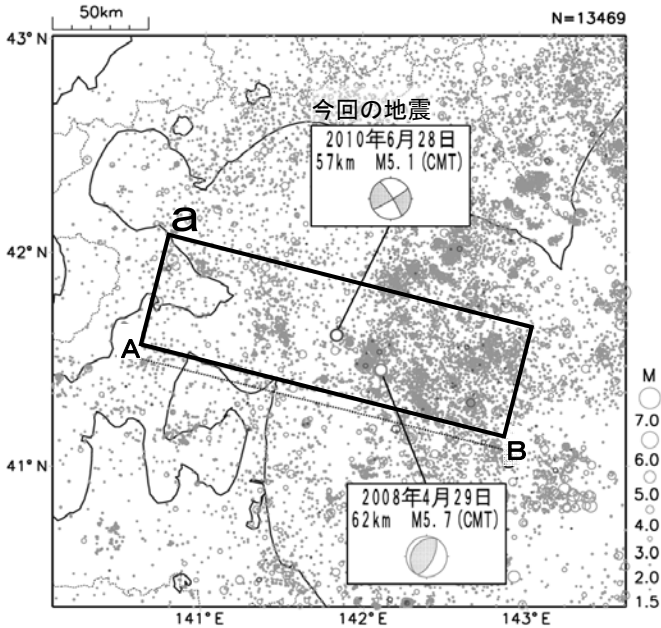


領域 b 内の M-T 図



## 6 月 28 日 苦小牧沖の地震

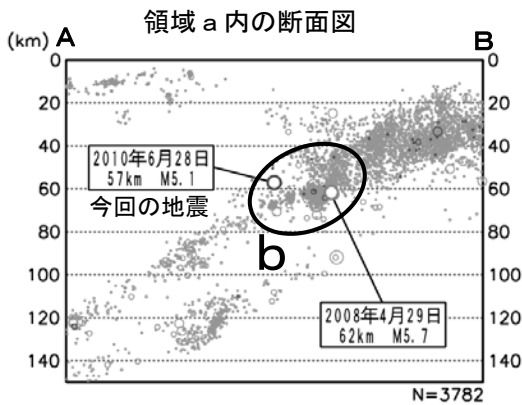
震央分布図(2001 年 10 月 1 日～2010 年 6 月 30 日、  
深さ 0～150km、 $M \geq 1.5$ )  
2010 年 6 月以降の地震を濃く表示



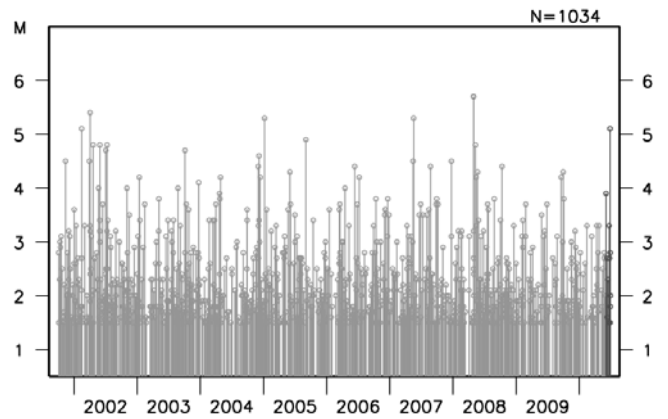
2010 年 6 月 28 日 06 時 03 分に苦小牧沖の深さ 57km で M5.1 の地震（最大震度 4）が発生した。この地震の発震機構（CMT 解）は西北西－東南東に張力軸を持つ横ずれ断層型であった。

2001 年 10 月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近（領域 b）では、M5.0 以上の地震が時々発生しており、最近では 2008 年 4 月 29 日に M5.7 の地震（最大震度 4）が発生している。

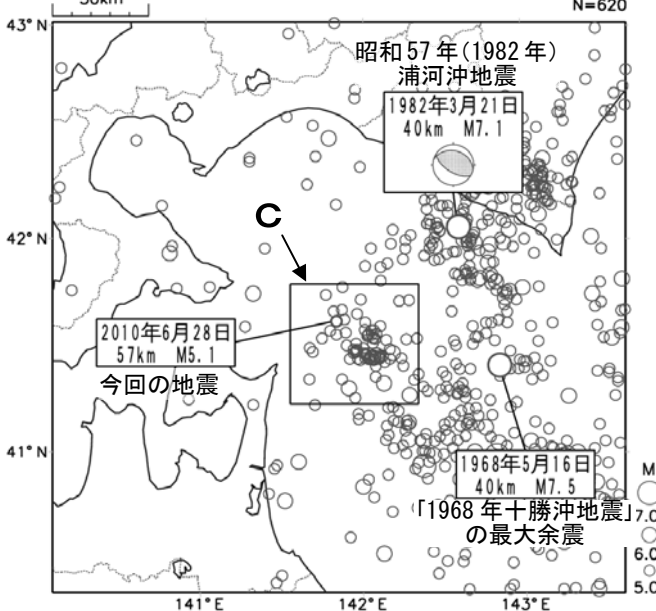
1923 年 8 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近（領域 c）では、M5.0 以上の地震が度々発生しているが、M7.0 を超える規模の大きい地震は発生していない。なお、領域 c の周辺では、「昭和 57 年（1982 年）浦河沖地震」（M7.1、最大震度 6）など、M7.0 を超える地震が時々発生している。



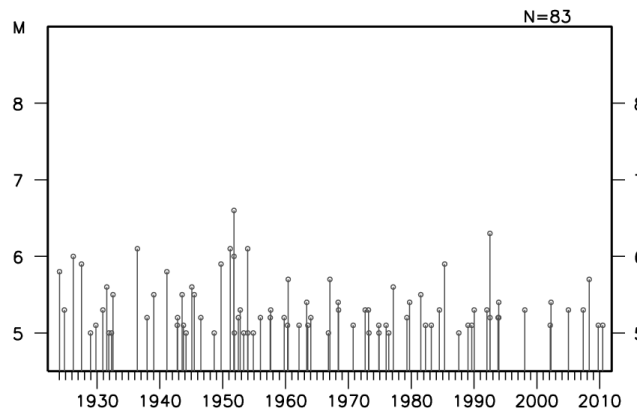
領域 b 内の M-T 図



震央分布図  
(1923 年 8 月 1 日～2010 年 6 月 30 日、  
深さ 0～150km、 $M \geq 5.0$ )



領域 c 内の M-T 図



## ○東北地方の地震活動

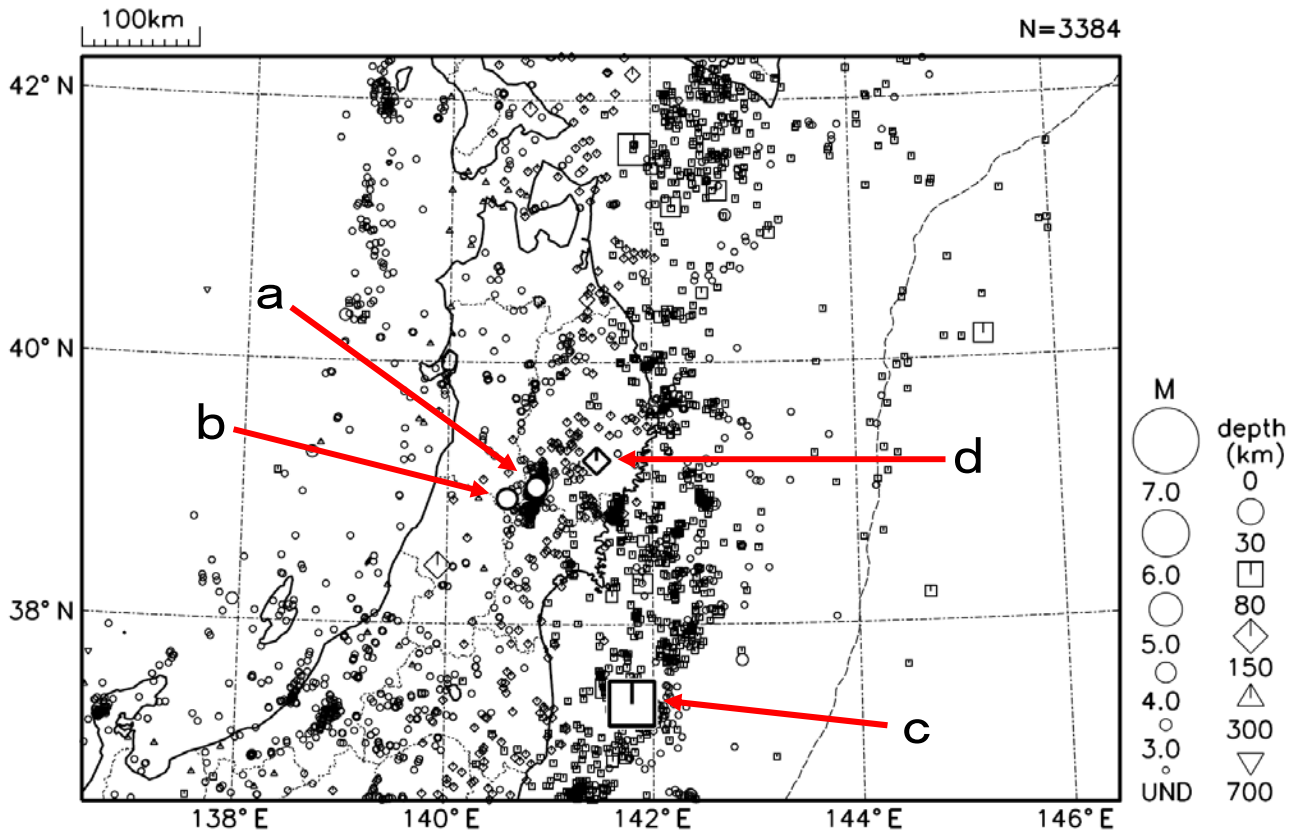


図 4 東北地方の震央分布図（2010年6月1日～6月30日）

### 〔概況〕

6月に東北地方で震度1以上を観測した地震は30回（5月は29回）であった。  
6月中の主な活動は次のとおりである。

3日07時39分に岩手県内陸南部の深さ7kmでM4.4の地震（図4中のa）が発生し、岩手県奥州市と宮城県栗原市で震度3を観測したほか、岩手県、宮城県、秋田県で震度2～1を観測した（p.10参照）。

11日12時18分に秋田県内陸南部のごく浅いところでM4.0の地震（図4中のb）が発生し、秋田県湯沢市で震度3を観測したほか、宮城県、秋田県、山形県で震度1を観測した（p.11参照）。

13日12時32分に福島県沖の深さ40kmでM6.2の地震（図4中のc）が発生し、福島県相馬市、浪江町で震度5弱を観測したほか、北海道から中部地方にかけて震度4～1を観測した（p.12参照）。

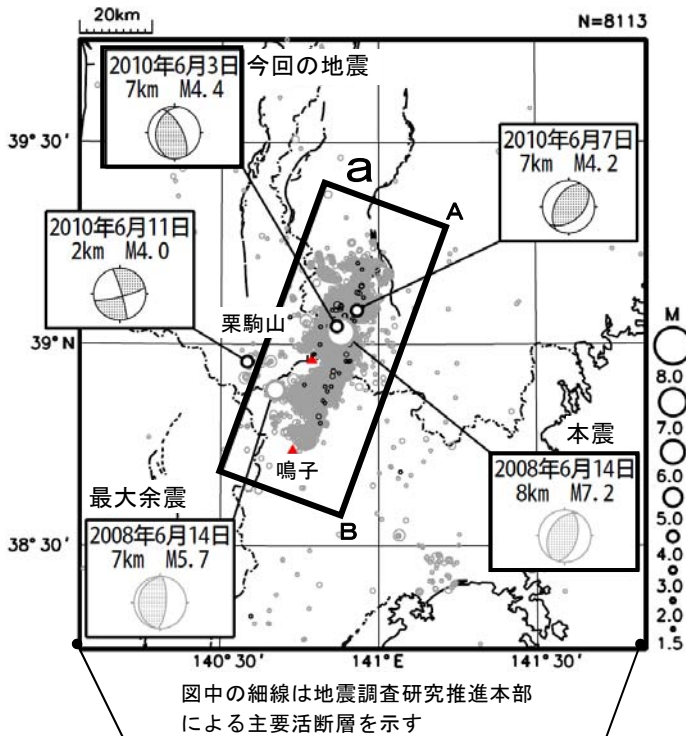
29日07時24分に岩手県内陸南部の深さ116kmでM4.3の地震（図4中のd）が発生し、岩手県一関市で震度3を観測したほか、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、福島県で震度2～1を観測した（p.13参照）。

この地震について、情報発表に用いた震央地名は〔岩手県沿岸南部〕である。

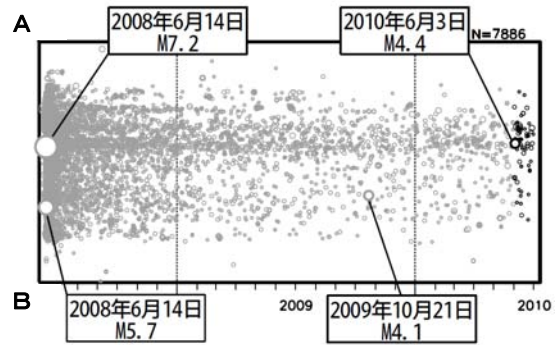
## 6 月 3 日 岩手県内陸南部の地震

2010 年 6 月 3 日 07 時 39 分に岩手県内陸南部の深さ 7 km で M4.4 の地震（最大震度 3）が発生した。この地震の発震機構は東北東-西南西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、「平成 20 年（2008 年）岩手・宮城内陸地震」（M7.2、最大震度 6 強）の余震域内で発生した。「平成 20 年（2008 年）岩手・宮城内陸地震」の余震で震度 3 以上を観測したのは 2009 年 10 月 21 日の M4.1 の地震（最大震度 3）以来である。今回の地震の後、7 日 14 時 01 分に M4.2 の地震（最大震度 2）が発生するなど一時的に地震活動が活発となったが、中旬ころからは 6 月 3 日以前の活動状態に戻っている。

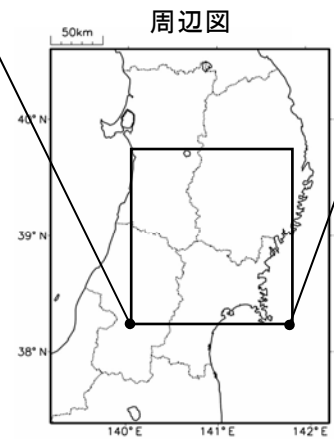
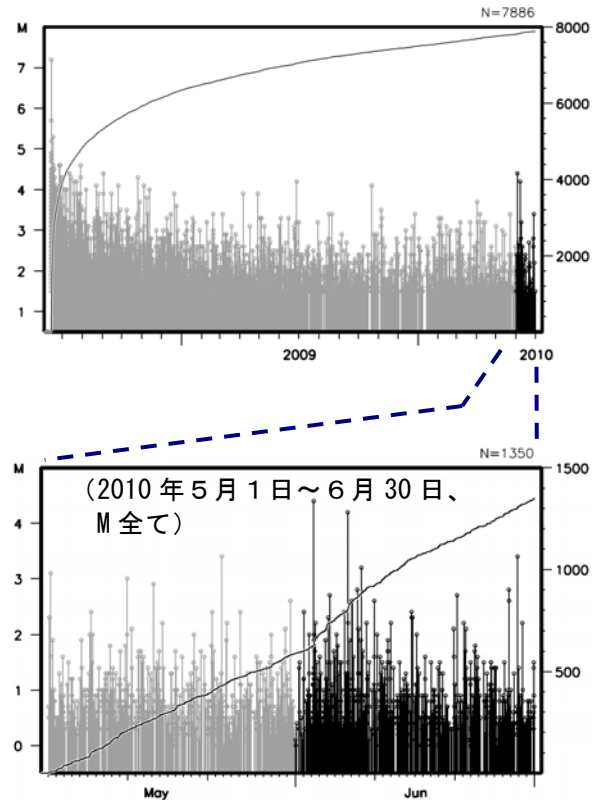
震央分布図  
 (2008 年 6 月 14 日～2010 年 6 月 30 日、  
 深さ 0～30km、M≥1.5)  
 2010 年 6 月以降の地震を濃く表示



領域 a 内の時空間分布図 (A-B 投影)



領域 a 内の M-T 図及び回数積算図

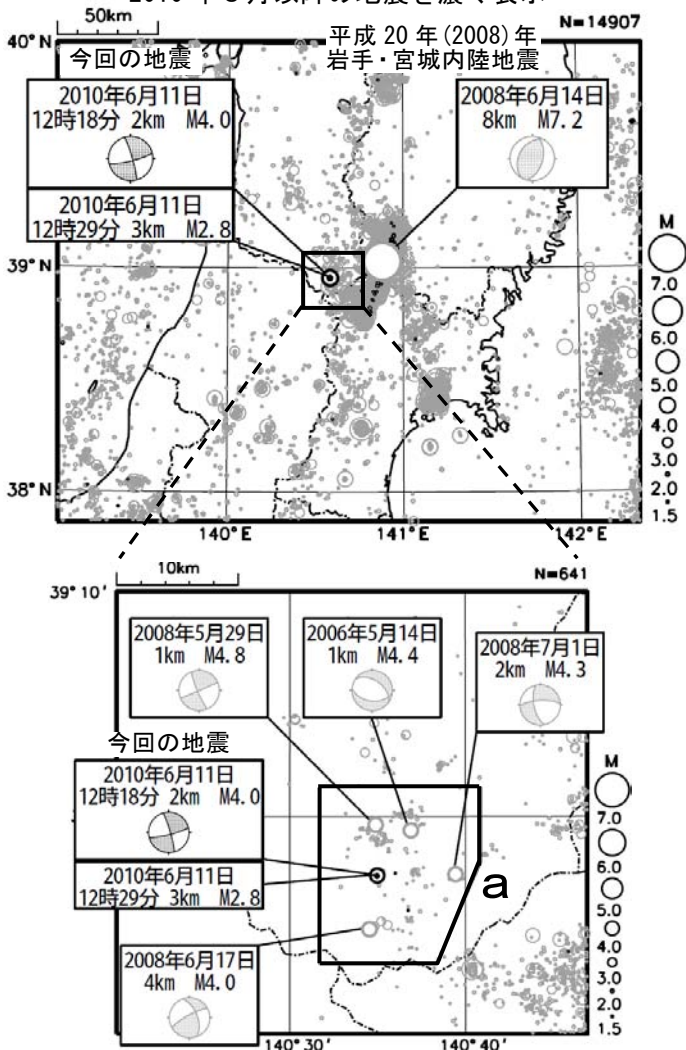




## 6 月 11 日 秋田県内陸南部の地震活動

### 震央分布図

(1997 年 10 月 1 日～2010 年 6 月 30 日、  
深さ 0～30km、 $M \geq 1.5$ )  
2010 年 6 月以降の地震を濃く表示

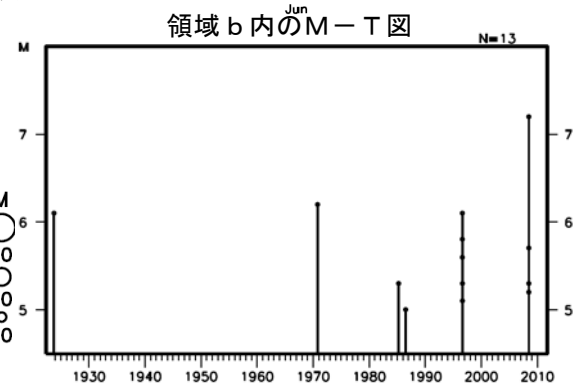
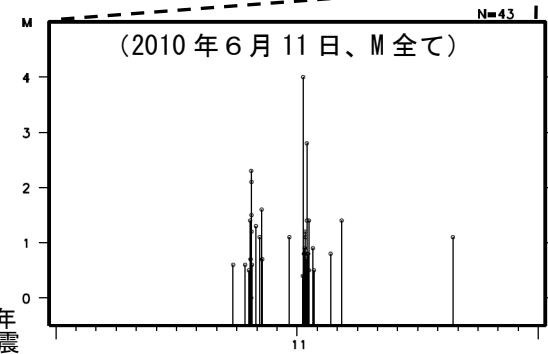
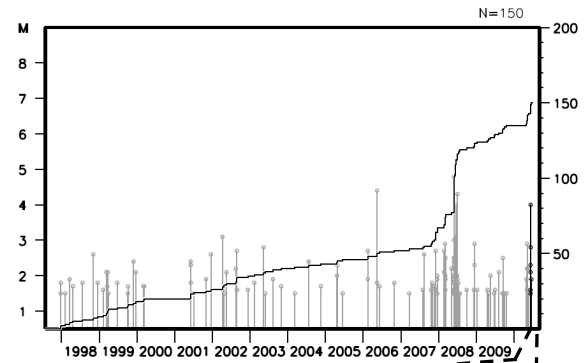


2010 年 6 月 11 日 12 時 18 分に秋田県内陸南部のごく浅いところで  $M4.0$  の地震(最大震度 3) を含むまとまった地震活動があった。活動は半日程度ではほぼ収まった。これらの地震は地殻内で発生したものである。 $M4.0$  の地震の発震機構は西北西－東南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型であった。

今回の地震の震源付近(領域 a) は地震活動が比較的活発な場所で、最近では 2008 年 5 月 29 日に  $M4.8$  の地震(最大震度 3) が発生している。

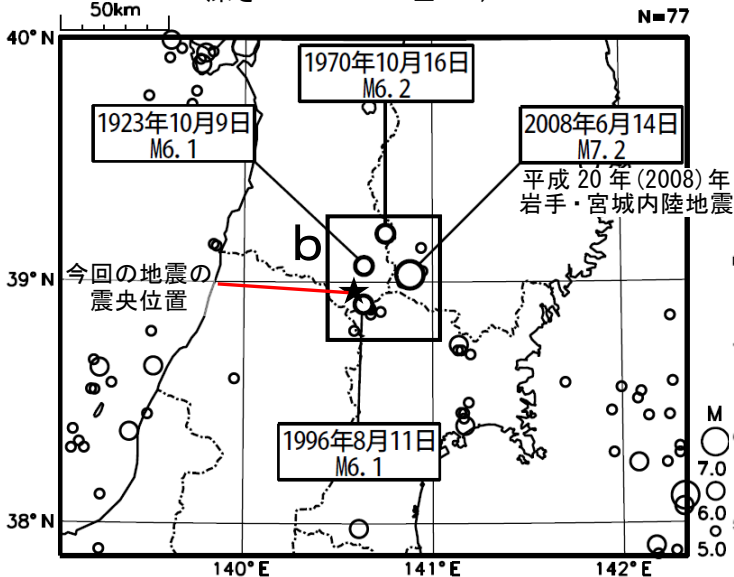
1923 年 8 月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域 b) では、1996 年 8 月の  $M5 \sim 6$  程度のもまとまった地震活動(最大は 8 月 11 日の  $M6.1$  の地震)や、2008 年 6 月 14 日の「平成 20 年(2008 年)岩手・宮城内陸地震」( $M7.2$ ) などが発生している。

### 領域 a 内の M-T 図及び回数積算図



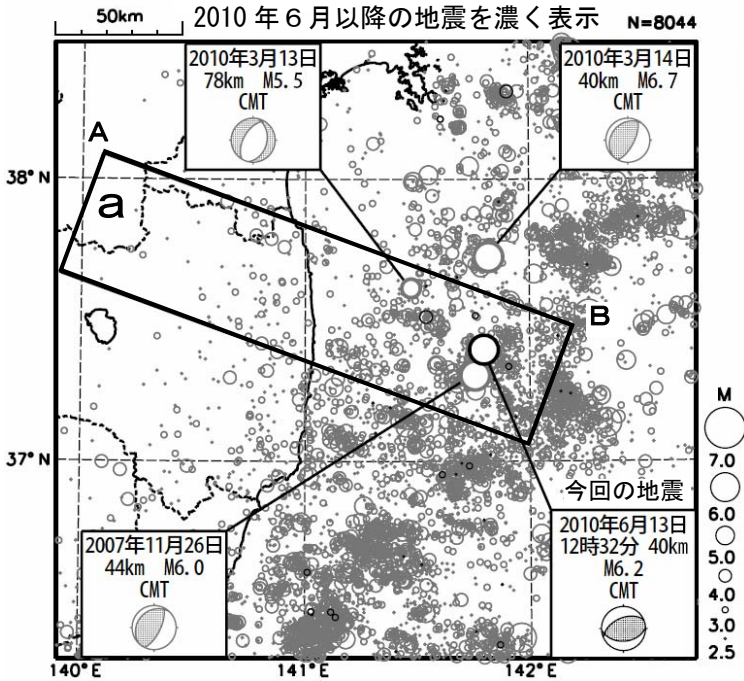
### 震央分布図

(1923 年 8 月 1 日～2010 年 6 月 30 日  
深さ 0～30km  $M \geq 5.0$ )

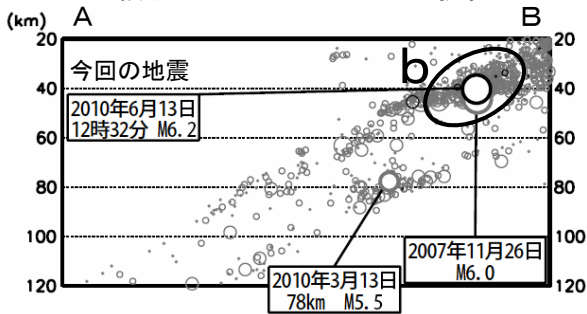


## 6 月 13 日 福島県沖の地震

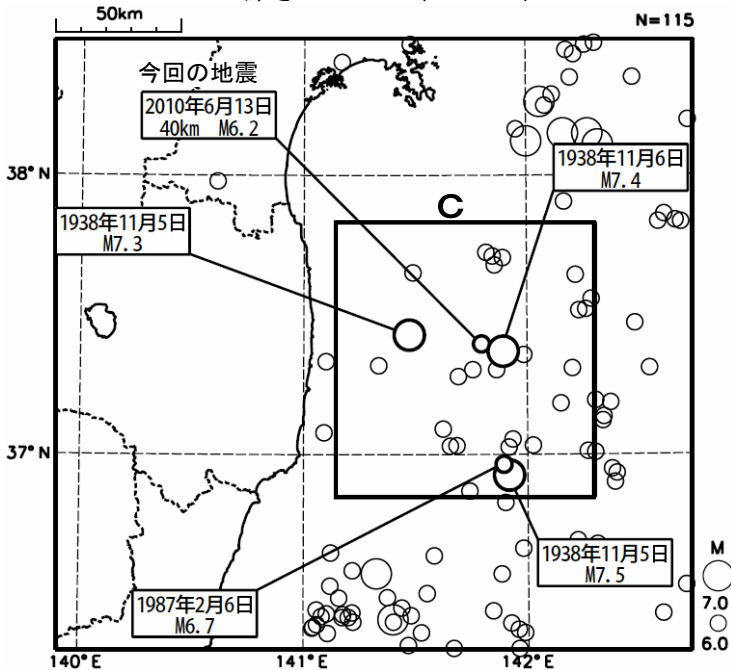
震央分布図（1997 年 10 月～2010 年 6 月 30 日、  
深さ 20～120km、 $M \geq 2.5$ ）



領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



震央分布図（1923 年 8 月 1 日～2010 年 6 月 30 日、  
深さ 0～100km、 $M \geq 6.0$ ）

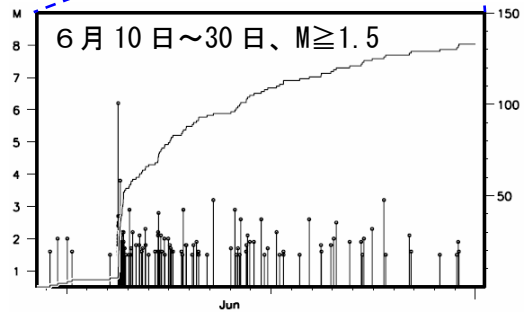
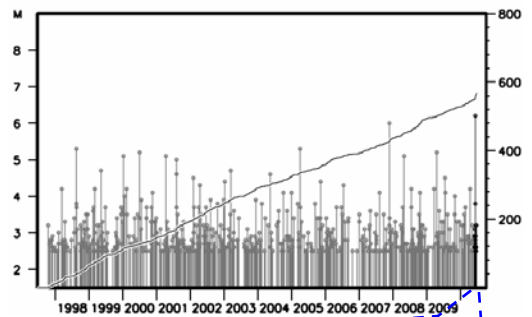


2010 年 6 月 13 日 12 時 32 分に福島県沖の深さ 40km で M6.2 の地震（最大震度 5 弱）が発生した。この地震により土砂崩落 1 か所の被害があった（総務省消防庁による）。

この地震は太平洋プレートと陸のプレートの境界付近で発生した。発震機構 (CMT 解) は、北北西-南南東方向に圧力軸を持つ逆断層型であった。震度 1 以上を観測した余震は発生しておらず、余震活動は収まりつつある。

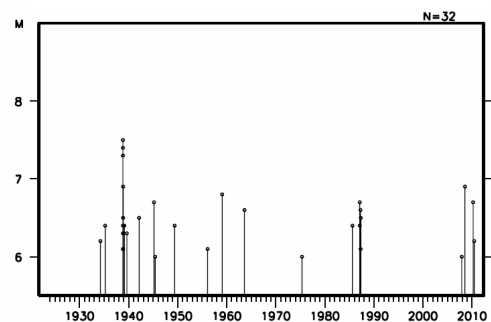
1997 年 10 月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近（領域 b）は、M5～6 程度の地震が見られるところで、最近では 2007 年 11 月 26 日に M6.0 の地震（最大震度 4）が発生している。

領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



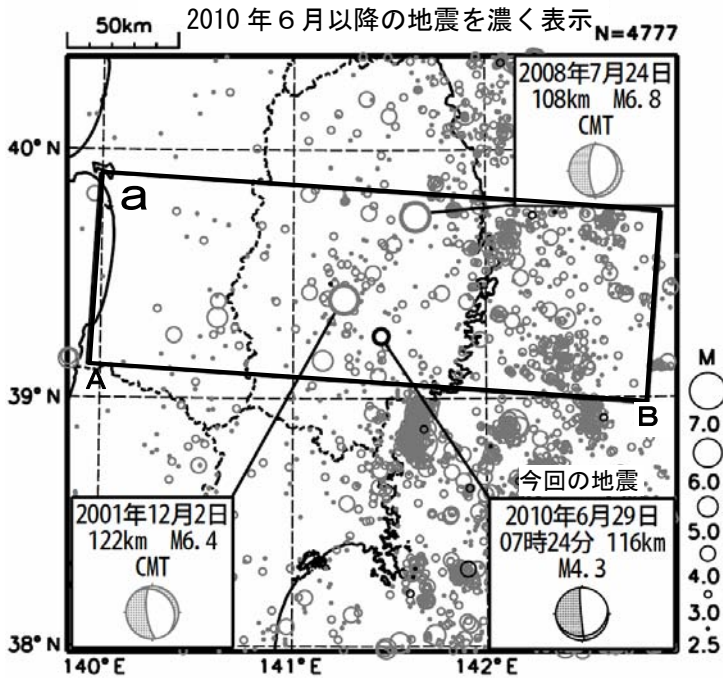
1923 年 8 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域 c）では、1938 年 11 月 5 日の M7.5 を含む地震活動（福島県東方沖地震）や、1987 年 2 月 6 日の M6.7 を含む地震活動など、M6 を超える地震が発生している。

領域 c 内の M-T 図

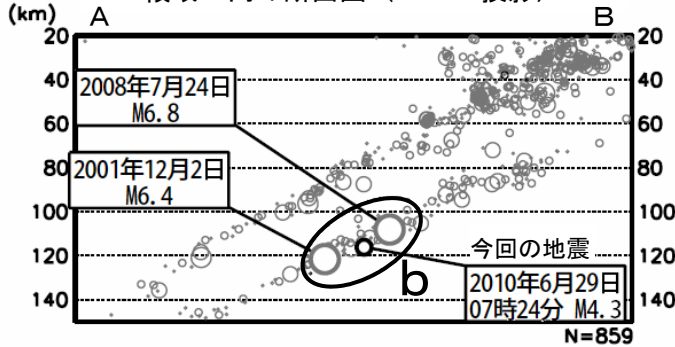


## 6 月 29 日 岩手県内陸南部の地震

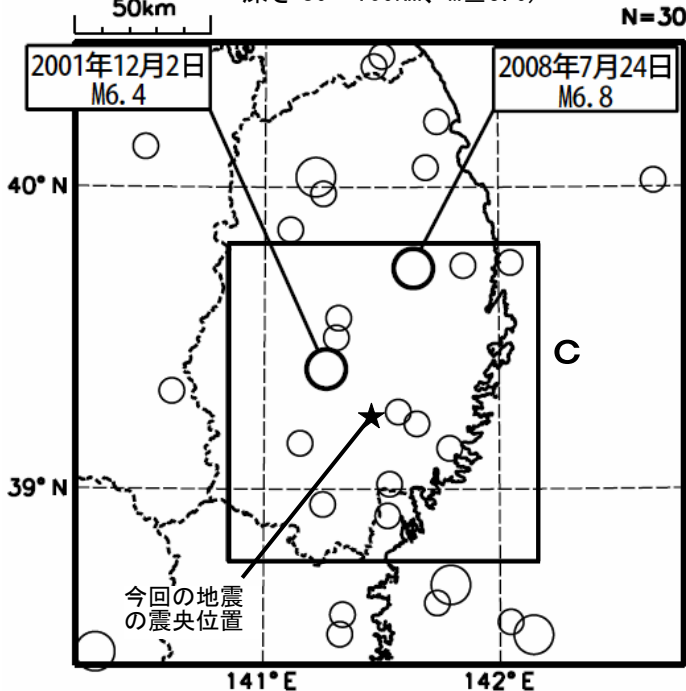
震央分布図（1997 年 10 月 1 日～2010 年 6 月 30 日、  
深さ 20～150km、 $M \geq 2.5$ ）



領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



震央分布図 (1923 年 8 月 1 日～2010 年 6 月 30 日、  
深さ 80～160km、 $M \geq 5.0$ )

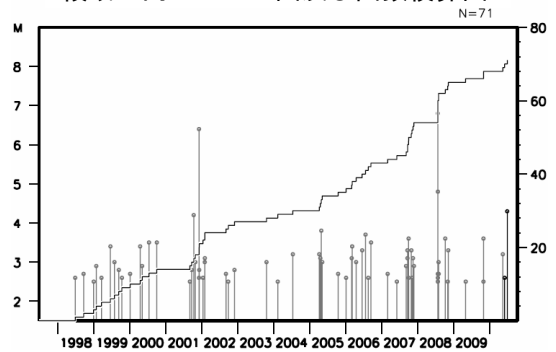


情報発表に用いた震央地名は〔岩手県沿岸南部〕である。

2010 年 6 月 29 日 07 時 24 分に岩手県内陸南部の深さ 116km で  $M 4.3$  の地震（最大震度 3）が発生した。この地震の発震機構は太平洋プレートの沈み込む方向に張力軸を持つ型で、太平洋プレート内部（二重地震面の下面）で発生したものである。余震は観測されていない。

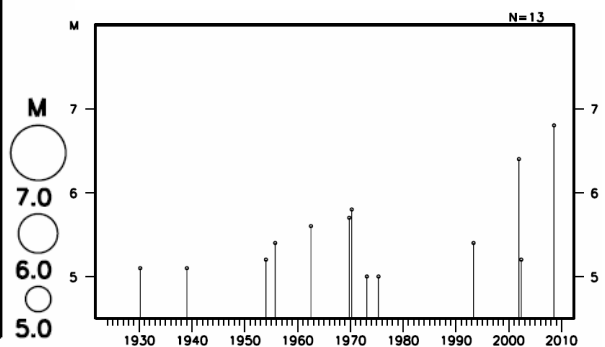
1997 年 10 月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近（領域 b）では、2001 年 12 月 2 日に  $M 6.4$  の地震（最大震度 5 弱）、2008 年 7 月 24 日に  $M 6.8$  の地震（最大震度 6 弱）が発生し、2001 年の地震では住家一部破損 2 棟、文教施設の被害 8 棟など、2008 年の地震では死者 1 人、負傷者 211 人、住家被害 380 棟などの被害を生じた。

領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



1923 年 8 月以降の活動を見ると今回の地震の震央周辺（領域 c）では、2001 年に  $M 6.4$  の地震や 2008 年に  $M 6.8$  の地震が発生しているものの、それ以前は  $M 6.0$  を超える地震は発生していない。

領域 c 内の M-T 図





## ○関東・中部地方の地震活動

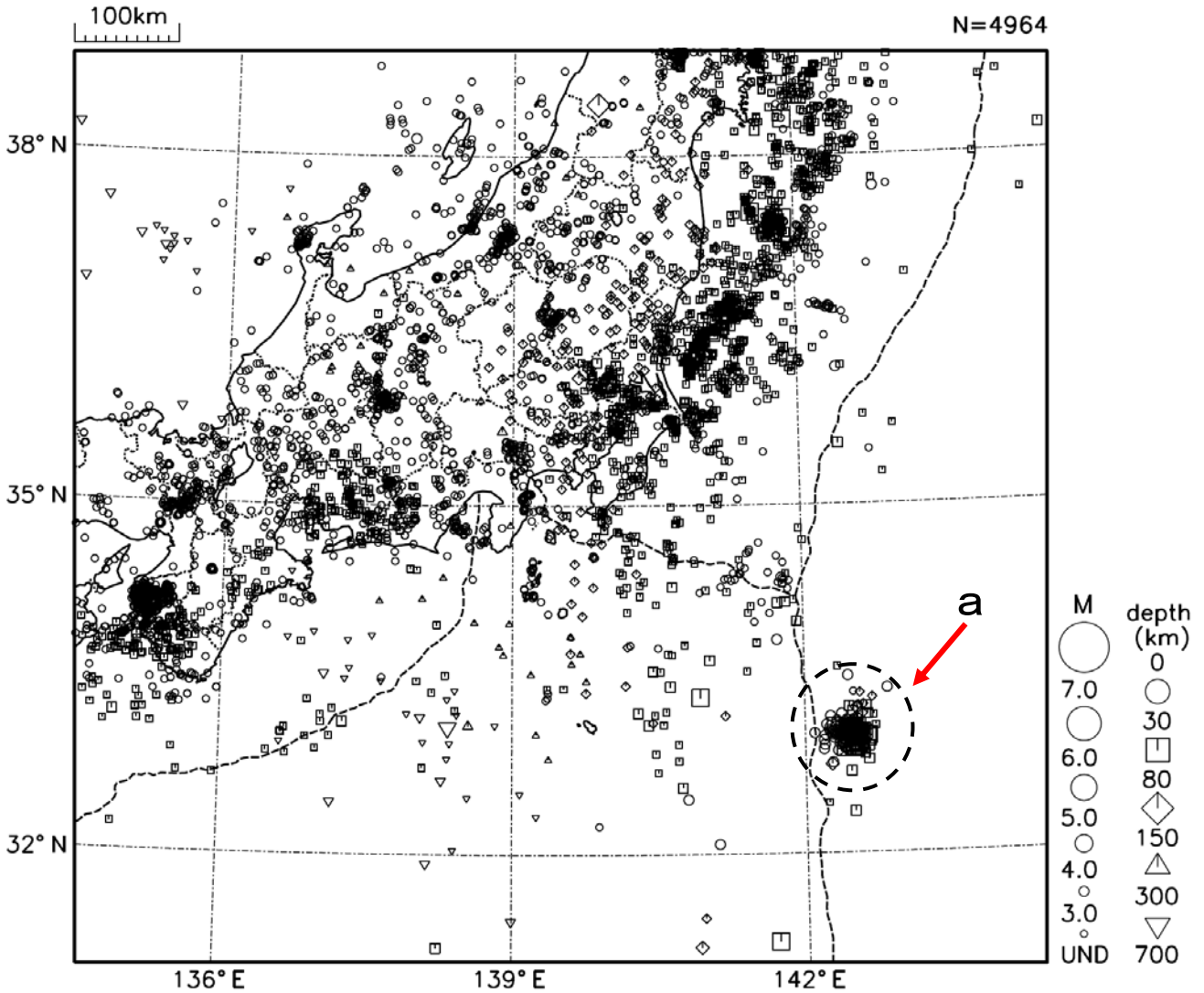


図5 関東・中部地方の震央分布図（2010年6月1日～6月30日）

### [概況]

6月に関東・中部地方で震度1以上を観測した地震は23回（5月は29回）であった。6月中の主な活動は次のとおりである。

5月29日頃から八丈島東方沖（海溝軸の東側）で、M4.8の地震（10日09時03分、28日22時00分に発生）を最大とする、やや活発な地震活動が発生している（図5中のa）。なお、震度1以上を観測したものはなかった。

## ○ 近畿・中国・四国地方の地震活動

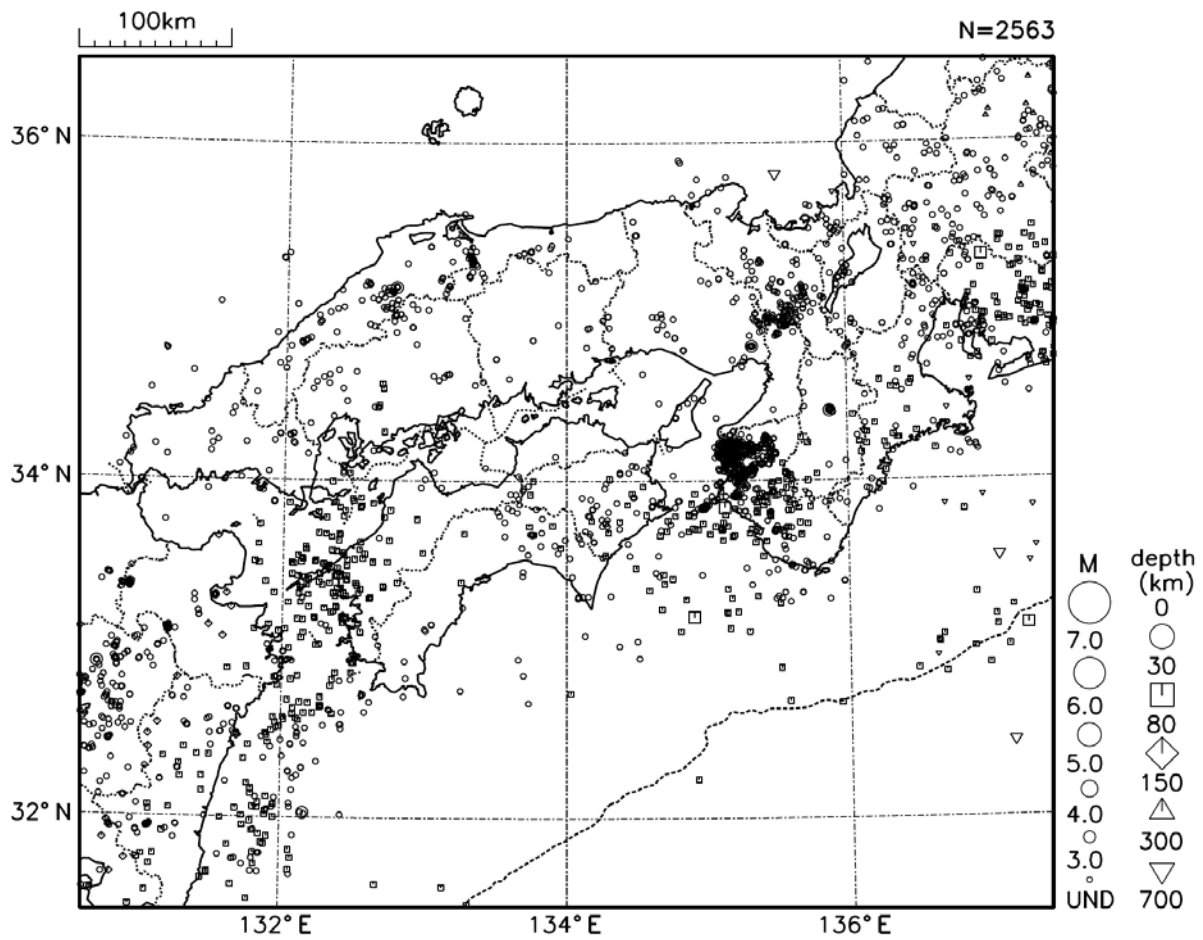


図 6 近畿・中国・四国地方の震央分布図（2010年6月1日～6月30日）

### [概況]

6月に近畿・中国・四国地方で震度1以上を観測した地震は11回（5月は17回）であった。6月中、特に目立った活動はなかった。



## ○九州地方の地震活動

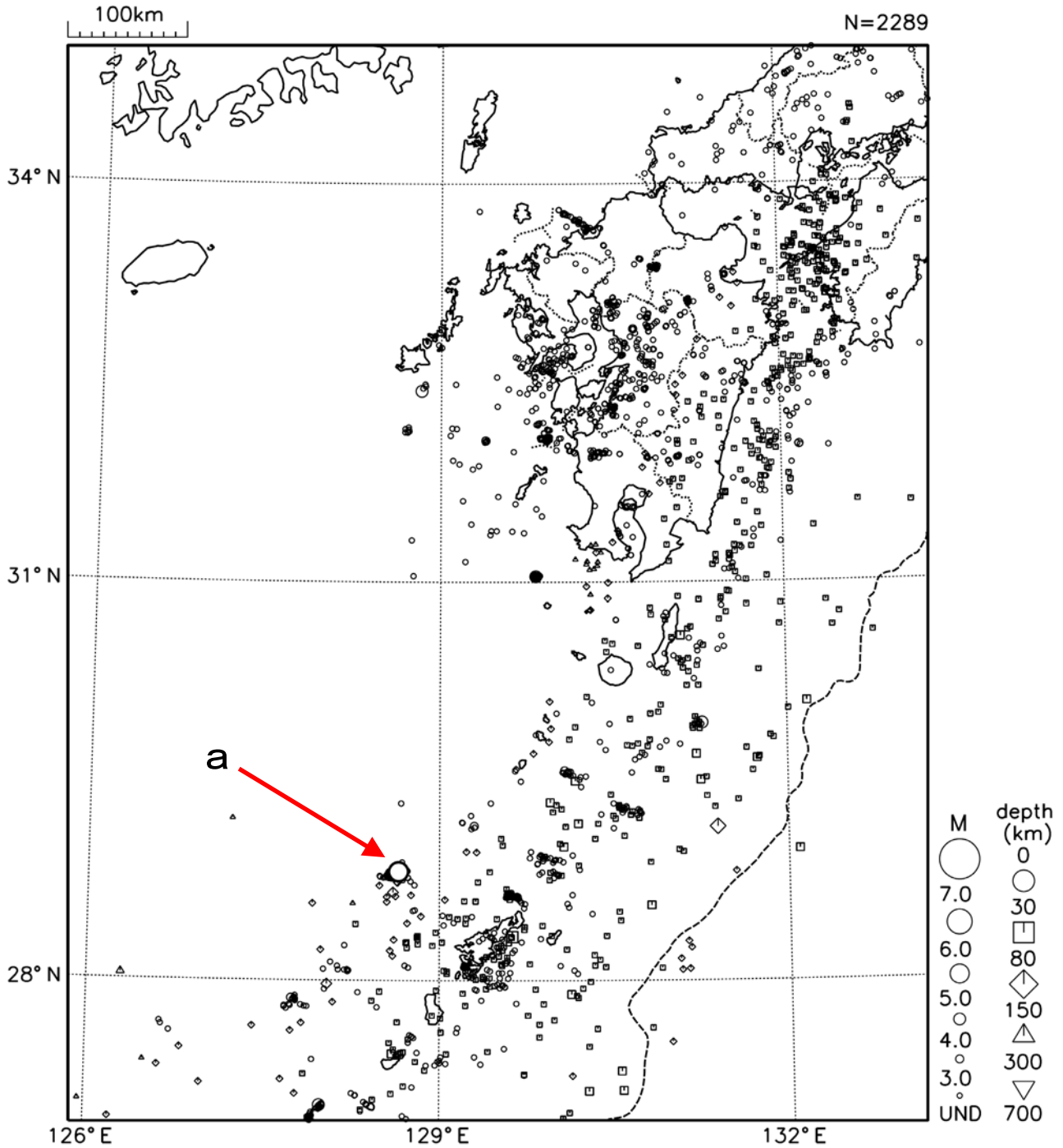


図7 九州地方の震央分布図（2010年6月1日～6月30日）

### [概況]

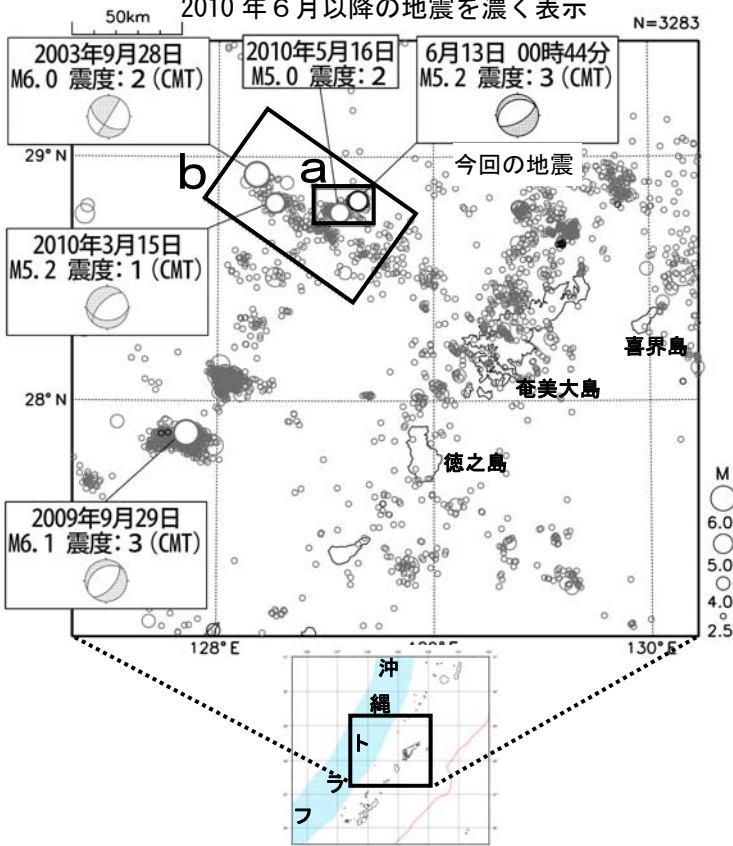
6月に九州地方で震度1以上を観測した地震は24回（5月は19回）であった。6月中の主な活動は次のとおりである。

13日00時44分に奄美大島北西沖（図7中のa）でM5.2の地震が発生し、鹿児島県奄美市で震度3を観測したほか、トカラ列島から奄美諸島にかけて震度2～1を観測した。（p.17参照）。

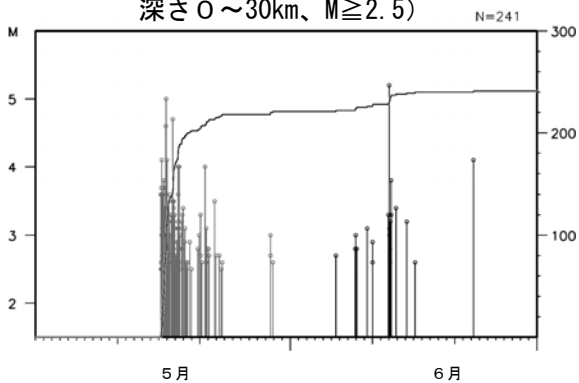
## 6 月 13 日 奄美大島北西沖の地震

震央分布図

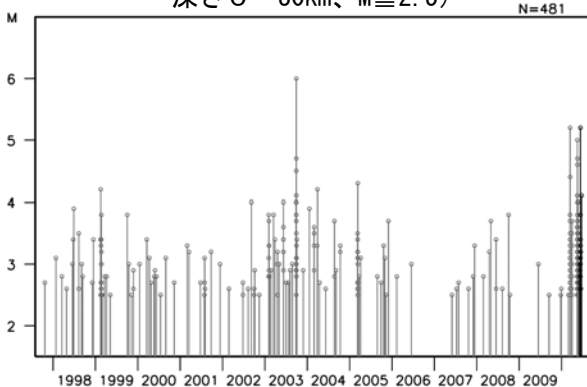
(1997 年 10 月 1 日～2010 年 6 月 30 日、  
深さ 0～30km、 $M \geq 2.5$ )  
2010 年 6 月以降の地震を濃く表示



領域 a 内の M-T 図、回数積算図  
(2010 年 5 月 1 日～6 月 30 日、  
深さ 0～30km、 $M \geq 2.5$ )



領域 b 内の M-T 図  
(1997 年 10 月 1 日～2010 年 6 月 30 日、  
深さ 0～30km、 $M \geq 2.5$ )



2010 年 6 月 13 日 00 時 44 分に奄美大島北西沖（奄美大島の北西約 70km）で  $M5.2$  の地震（最大震度 3）が発生した。この地震の発震機構（CMT 解）は北北西-南南東方向に張力軸を持つ型で、軸の方向は沖縄トラフの拡大方向と一致している。今回の地震の震央付近（領域 a）では、本年 5 月 16 日から地震活動が活発化していたが、活動は徐々に収まってきている。

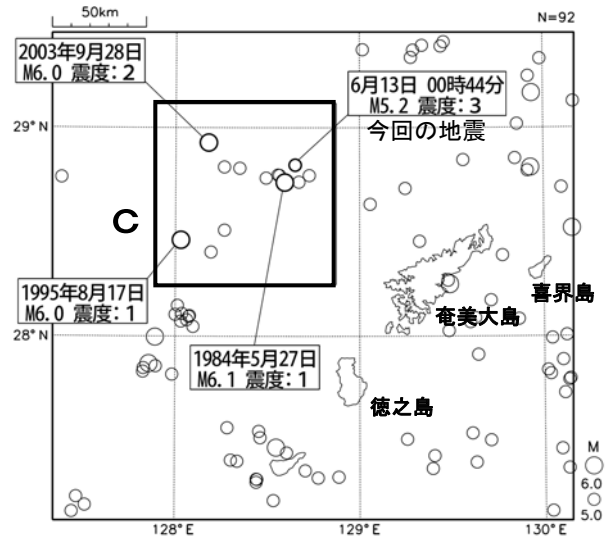
1997 年 10 月以降の地震活動を見ると、今回の地震の震央付近（領域 b）では、2003 年 9 月 28 日に  $M6.0$  の地震（最大震度 2）や、本年 3 月 15 日に  $M5.2$  の地震（最大震度 1）が発生している。

1984 年 1 月以降、今回の地震の震央周辺（領域 c）では、 $M6.0$  以上の地震が 3 回発生している。

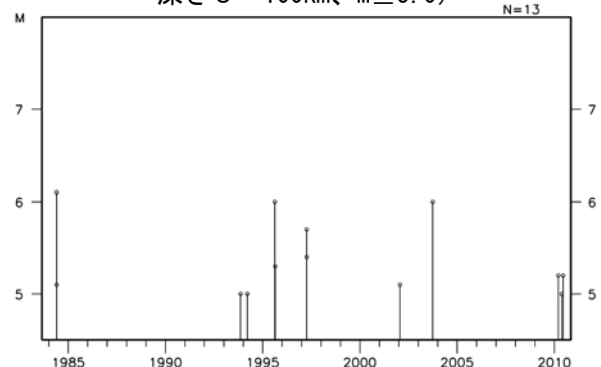
震央分布図

(1984 年 1 月 1 日～2010 年 6 月 30 日、  
深さ 0～100km、 $M \geq 5.0$ )

※領域 c 内の  $M6.0$  以上の地震と今回の地震にコメントを付した



領域 c 内の M-T 図  
(1984 年 1 月 1 日～2010 年 6 月 30 日、  
深さ 0～100km、 $M \geq 5.0$ )



## ○沖縄地方の地震活動

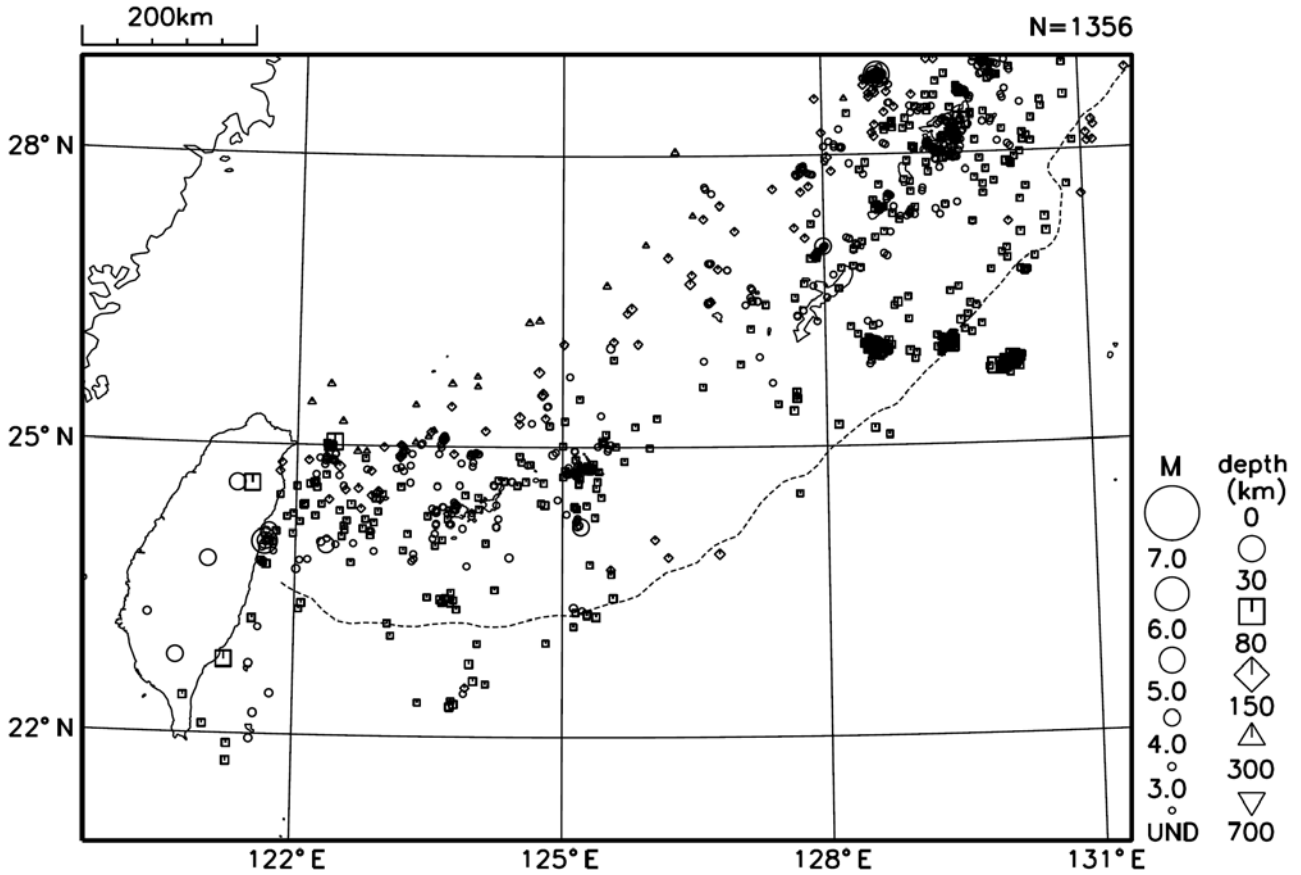


図 8 沖縄地方の震央分布図（2010 年 6 月 1 日～ 6 月 30 日）

### [概況]

6 月に沖縄地方で震度 1 以上を観測した地震は 3 回（5 月は 8 回）であった。  
6 月中、特に目立った活動はなかった。

## ○その他の地域の地震活動

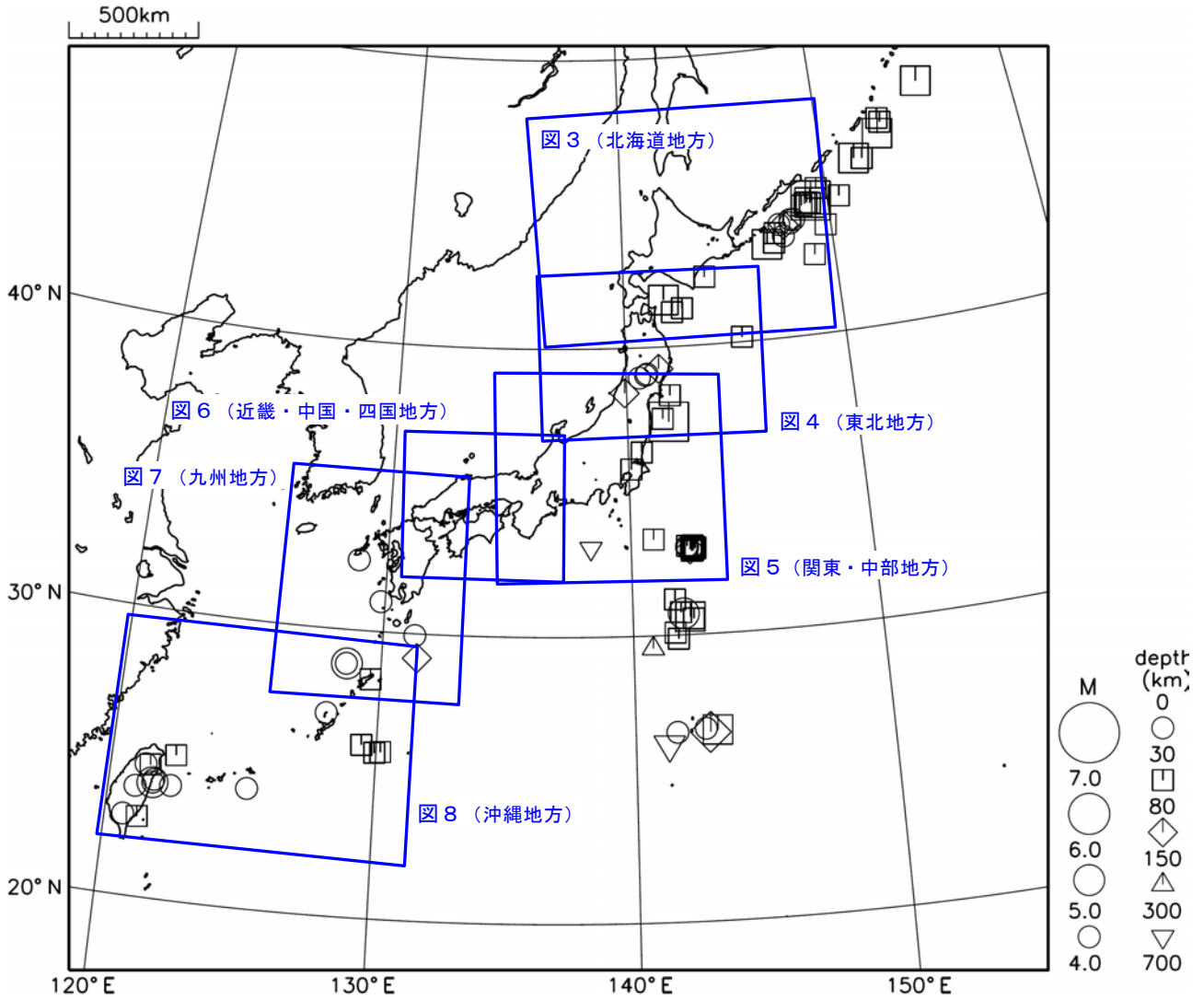


図9 日本周辺で発生した主な地震の震央分布図（2010年6月1日～6月30日、M≥4.0）

### [概況]

6月に日本周辺で発生したM6.0以上の地震は2回（5月も2回）であった。  
6月中に図3～8の領域外で特に目立った活動はなかった。

## ●東海地震の想定震源域及びその周辺の地震活動

### [概況]

特に目立った地震活動はなかった。

### [地震防災対策強化地域判定会委員打合せ会検討結果]

6月28日に気象庁において第290回地震防災対策強化地域判定会委員打合せ会（定例会）を開催し、気象庁は「最近の東海地域とその周辺の地震・地殻活動」として次のコメントを発表した（図2～図5）。

現在のところ、東海地震に直ちに結びつくような変化は観測されていません。

#### 1. 地震活動の状況

静岡県中西部の地殻内では、全体的にみて、2005年中頃からやや活発な状態が続いています。浜名湖周辺のフィリピン海プレート内では、引き続き地震の発生頻度のやや少ない状態が続いています。

その他の領域では概ね平常レベルです。

#### 2. 地殻変動の状況

全般的に注目すべき特別な変化は観測されていません。

G P S 観測及び水準測量の結果では、御前崎の長期的な沈降傾向はこれまでと同様に継続しています。

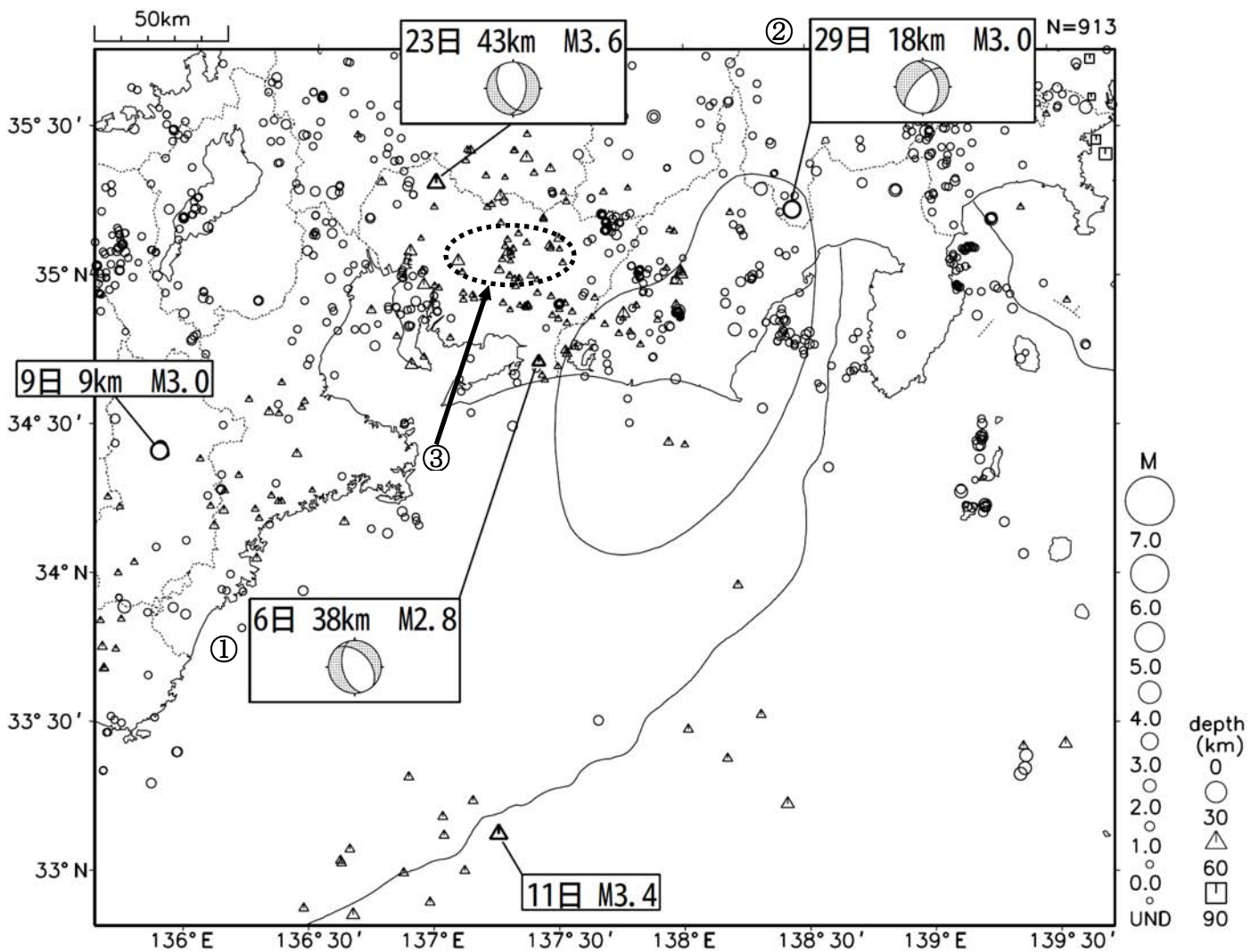


図1 震央分布図（2010年6月1日～30日：深さ0～90km、Mすべて。図中のナス型の領域は東海地震の想定震源域。）



- ① 6 日 08 時 52 分、愛知県東部の深さ 38km で M2.8 の地震(最大震度 1)が発生した。発震機構は東北東－西南西方向に張力軸を持つ正断層型で、フィリピン海プレート内部で発生した地震である。
- ② 29 日 04 時 13 分、山梨県中・西部の深さ 18km で M3.0 の地震(最大震度 3)が発生した。発

震機構は西北西－東南東方向に張力軸を持つ型である。

- ③ 愛知県で深部低周波地震活動が観測された。

注：本文中の番号は、図 1 中の数字に対応する。

**[東海地域の地震活動の頁で使われる用語]**

・「想定震源域」(図 1)と「固着域」(図 2)

東海地震発生時には、「固着域」(プレート間が強く「くっついている」と考えられている領域)あるいはその周辺の一部からゆっくりしたずれ(前兆すべり)が始まり、最終的には「想定震源域」全体が破壊すると考えられている。

・「クラスタ」、「クラスタ除去」(図 2)

地震は時間空間的に群(クラスタ: cluster)をなして起きることが多くある。「本震とその後に起きる余震」、「群発地震」などが典型的なクラスタで、余震活動等の影響を取り除いて地震活動全体の推移を見ることを「クラスタ除去」と言う。図 2 の静岡県中西部の場合、相互の震央間の距離が 3 km 以内で、相互の発生時間差が 7 日以内の地震群をクラスタとして扱い、その中の最大の地震をクラスタに含まれる地震の代表とし、地震が 1 つ発生したと扱う。

・「長期的ゆっくり滑り(長期的スロースリップ)」(図 2)

主に浜名湖周辺下のフィリピン海プレートと陸のプレートの境界で、2000 年秋頃～2005 年夏頃にかけて発生していたとされているゆっくりとした滑り。過去にも何回か同様の現象が発生していたと考えられている。

・「深部低周波地震」と「短期的ゆっくり滑り(短期的スロースリップ)」(図 1)

深さ約 30km～40km で発生する、長周期の波が卓越する地震を「深部低周波地震」と言う。長野県南部～日向灘にかけては帯状につながる「深部低周波地震」の震央分布が見られる。「深部低周波地震」の活動が観測されるときは、ほぼ同時に数日～1 週間程度継続する「短期的ゆっくり滑り(短期的スロースリップ)」が観測されることが多い。「短期的ゆっくり滑り」は、「深部低周波地震」の発生領域とほぼ同じ領域でのフィリピン海プレートと陸のプレートの境界の滑りと考えられている。

大規模な地震から国民の生命・財産を保護することを目的として、昭和 53 年(1978 年)12 月に施行された「大規模地震対策特別措置法」では、大規模な地震の発生のおそれがあり、その地震によって大きな被害が予想されるような地域をあらかじめ「地震防災対策強化地域」(以下、「強化地域」という。)として指定し、地震予知のための観測施設の整備を強化し、あらかじめ地震防災に関する計画をたてる等、各種の措置を講じることとしている。強化地域は平成 14 年(2002 年)4 月に見直しが行われ、現在、静岡県全域と東京都、神奈川・山梨・長野・岐阜・愛知及び三重の各県にまたがる 160 市町村(平成 22 年 4 月現在)が強化地域に指定されている。強化地域では、マグニチュード 8 クラスと想定されている大地震(東海地震)が起こった場合、震度 6 弱以上(一部地域では震度 5 強程度)になり、沿岸では大津波の来襲が予想されている。

気象庁では、いつ発生してもおかしくない状態にある「東海地震」を予知すべく、東海地域の地震活動や地殻変動等の状況を監視している。また、これらの状況を定期的に評価するため、地震防災対策強化地域判定会委員打合せ会を毎月開催して委員の意見提供等を受け、現在の状況を取りまとめたコメント「最近の東海地域とその周辺の地震・地殻活動」(前頁参照)を発表している。

(参考)

### 東海地域の地震活動指数 (クラスタを除いた地震回数による)

2010年6月23日 現在

	① 静岡県中西部		② 愛知県		③ 浜名湖周辺			④ 駿河湾
	地殻内	フィリ ピン海 プレート	地殻内	フィリ ピン海 プレート	フィリピン海プレート内			全域
					全域	西側	東側	
短期活動指数	5	5	5	4	3	5	2	6
短期地震回数 (平均)	7 (5.29)	9 (7.00)	16 (13.16)	15 (14.15)	4 (6.16)	3 (2.46)	1 (3.70)	9 (6.06)
中期活動指数	7	8	4	4	2	3	2	7
中期地震回数 (平均)	24 (15.87)	36 (21.00)	36 (39.48)	40 (42.44)	7 (12.32)	3 (4.93)	4 (7.39)	18 (12.12)

- \* Mしきい値： 静岡県中西部、愛知県、浜名湖周辺：M $\geq$ 1.1、駿河湾：M $\geq$ 1.4
- \* クラスタ除去：震央距離が $\Delta r$ 以内、発生時間差が $\Delta t$ 以内の地震をグループ化し、最大地震で代表させる。  
静岡県中西部、愛知県、浜名湖周辺： $\Delta r=3\text{km}$ 、 $\Delta t=7\text{日}$   
駿河湾： $\Delta r=10\text{km}$ 、 $\Delta t=10\text{日}$
- \* 対象期間： 静岡県中西部、愛知県：短期30日間、中期90日間  
浜名湖周辺、駿河湾：短期90日間、中期180日間
- \* 基準期間： おおむね長期的スロースリップ（ゆっくり滑り）発生前の地震活動を基準とする。  
静岡県中西部、愛知県：1997年－2001年（5年間）、  
浜名湖周辺：1998年－2000年（3年間）、駿河湾：1991年－2000年（10年間）

- [各領域の説明] ① 静岡県中西部：プレート間が強く「くっついている」と考えられている領域（固着域）。  
② 愛知県：フィリピン海プレートが沈み込んでいく先の領域。  
③ 浜名湖周辺：固着域の縁。長期的スロースリップ（ゆっくり滑り）が発生する場所であり、同期して地震活動が変化すると考えられている領域。  
④ 駿河湾：フィリピン海プレートが沈み込み始める領域。

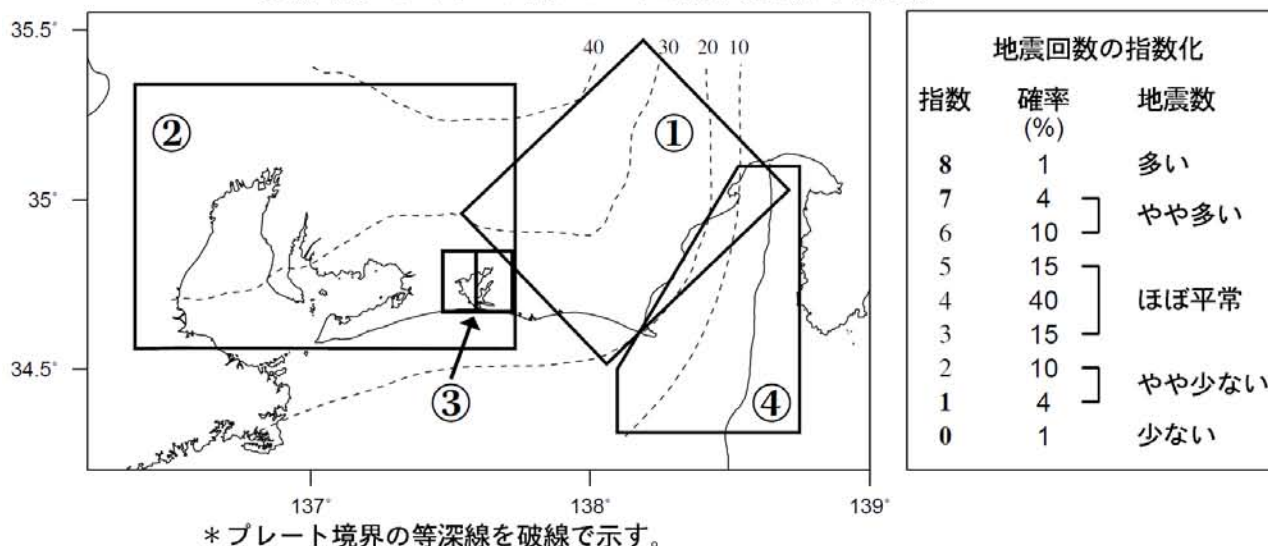


図 2 東海地域の地震活動指数

## 地震活動指数の推移（中期活動指数）

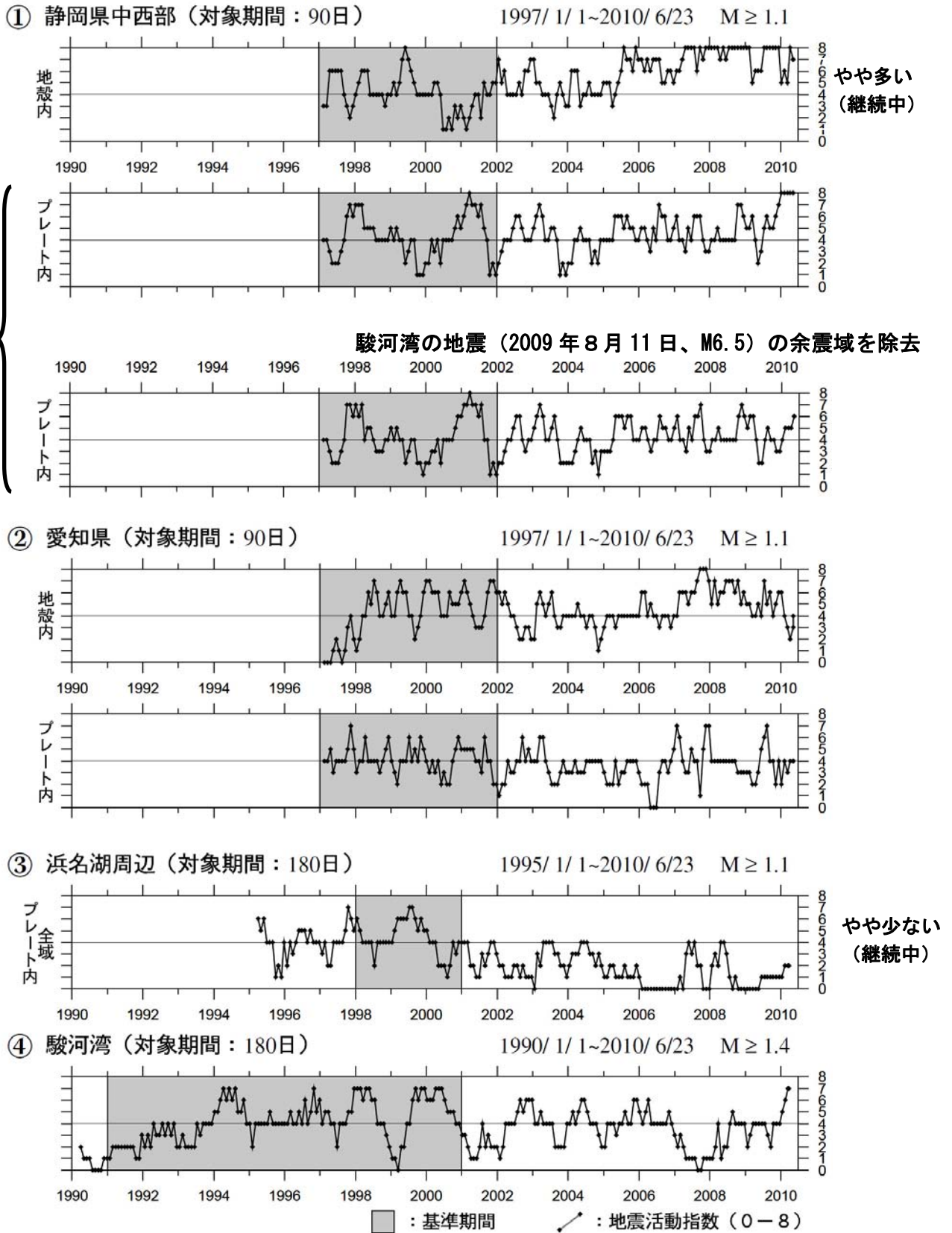


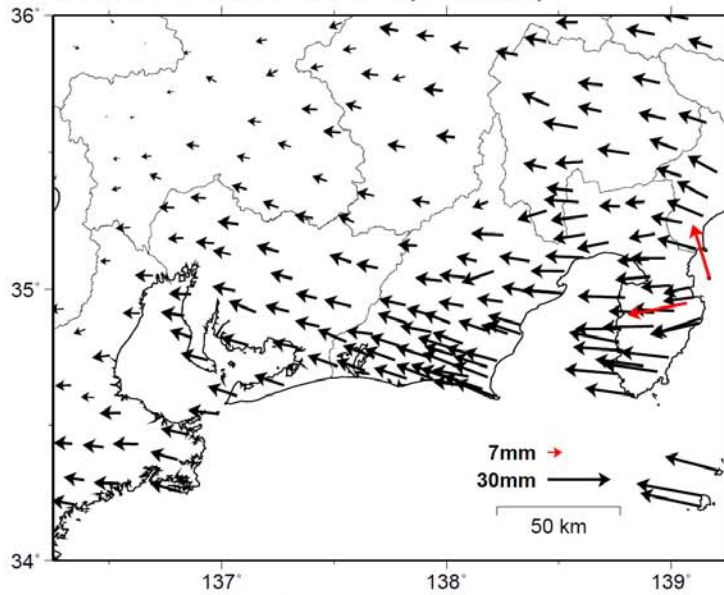
図3 東海地域の地震活動指数の推移

静岡県中西部の地殻内では、2005年中頃から地震活動がやや活発な状態が続いている。また、浜名湖周辺のフィリピン海プレート内では、地震の発生頻度がやや少ない。その他の地域では概ね平常レベルである。

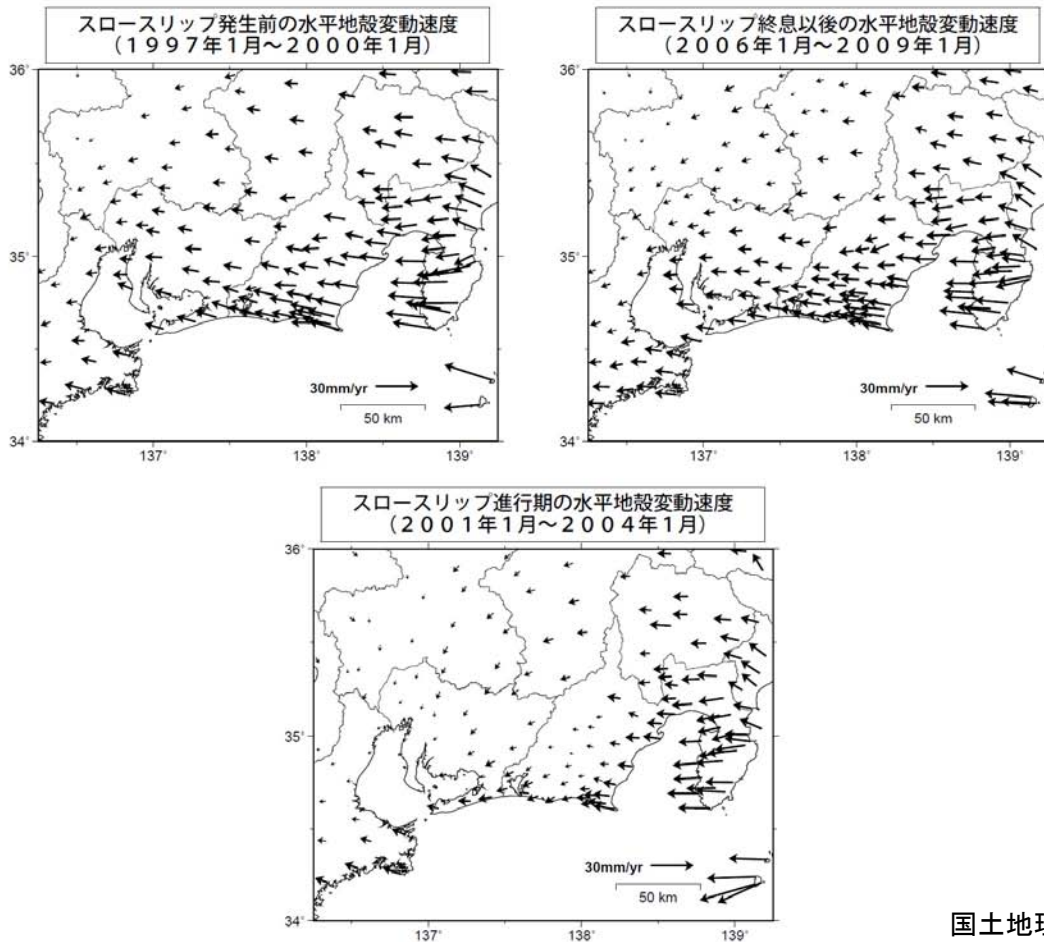


## 東海地方の最近の水平地殻変動【大湊固定】 （ 2009 年 6 月～ 2010 年 6 月）

基準期間：2009/5/22 - 2009/6/5 [F3：最終解]  
比較期間：2010/5/22 - 2010/6/5 [F3：最終解]



- ・スロースリップ終息後の変動速度ベクトル（右下図）との差の絶対値が7 mm 以上の変動ベクトルを赤矢印で表示している。
- ・2009 年 8 月 11 日に発生した駿河湾の地震による地殻変動の影響は取り除いている。
- ・2009 年 12 月の伊豆半島東方沖の地震活動に伴う地殻変動の影響は取り除いていない。



国土地理院資料

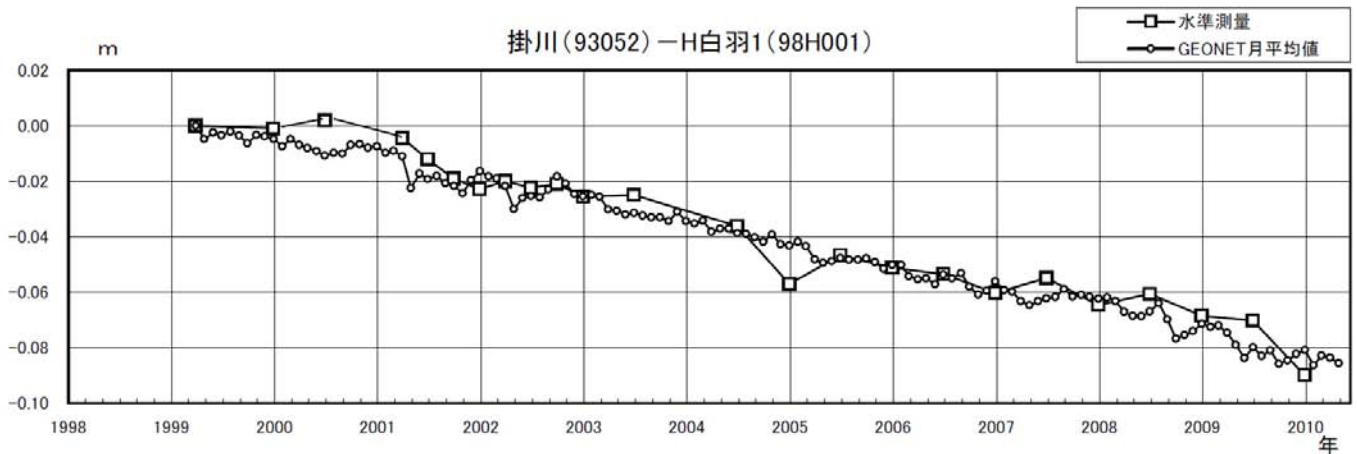
図 4 国土地理院のGPS観測結果による東海地域の最近の地殻変動

上図は、最近（2010年5月22日～2010年6月5日）のGPS観測点が1年前と比べて水平方向にどの程度動いたかを示したものである（新潟県のGPS観測点大湊を固定）。長期的ゆっくり滑り（スロースリップ）終息後の変動速度ベクトルとの差の絶対値が7mm以上の変動ベクトルを、赤矢印で表示している。伊豆半島東部に見られる赤矢印は、2009年12月に発生した伊豆半島東方沖の地震活動に伴う地殻変動の影響であると考えられる。

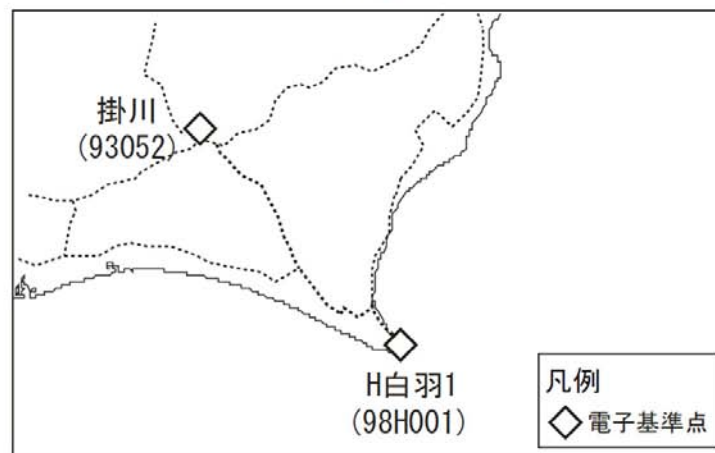
## 御前崎 電子基準点の上下変動

### 水準測量と GPS 観測の比較

水準測量と GPS 観測の結果は、よく一致している。  
掛川に対して、御前崎が沈降する長期的な傾向が続いている。



### 位置図



国土地理院資料

図5 国土地理院のGPS観測結果および水準測量による御前崎の上下変動

掛川から見た御前崎(H白羽1観測点)の上下変動を示したものである。GPS観測(○)および水準測量(□)による結果は良く一致しており、掛川に対して御前崎が沈降するという長期的な傾向が継続していることがわかる。



## ● 日本の主な火山活動

霧島山（新燃岳）では、6月27日、28日にごく小規模な噴火が発生した。火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）が継続している。

桜島の昭和火口では、2010年5月中旬から6月上旬まで爆発的噴火が一時的に減少したが、その後再び多い状態で経過した。火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）が継続している。

諏訪之瀬島では、噴火は観測されなかった。火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）が継続している。

6月30日現在の各火山の噴火警戒及び噴火予報等の発表状況は表1のとおり。

表1 6月30日現在の噴火警戒及び噴火予報等の発表状況

警報・予報	噴火警戒レベル* 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3（入山規制）	桜島
	レベル2（火口周辺規制）	三宅島、霧島山（新燃岳）、薩摩硫黄島、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	硫黄島
噴火警戒及び火山現象に関する海上警報	周辺海域警戒	福徳岡ノ場
噴火予報	レベル1（平常）	雌阿寒岳、十勝岳、樽前山、有珠山、北海道駒ヶ岳、岩手山、秋田駒ヶ岳、吾妻山、安達太良山、磐梯山、那須岳、草津白根山、浅間山、御嶽山、富士山、箱根山、伊豆大島、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山（御鉢）、口永良部島
	平常	上記以外の活火山

\*噴火警戒レベルは、その活用が地域防災計画等で予め定められており、レベル毎の防災対応がキーワードで示されている。



図1 6月30日現在、噴火警戒発表中の火山

表 2 平成 22 年 6 月の警報、予報及び情報の発表履歴（定期発表以外）

火山名	噴火警報及び 噴火予報の状況	発表した火山現象に関する警報・予報・情報		概 要
		種類、号数等	発表日時	
霧島山 (新燃岳)	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報第 21 号～27 号	4 日、7 日、11 日、 14 日、18 日、21 日、 25 日 16 時 00 分	地震・噴煙等火山活動の状況
		解説情報第 28 号	27 日 10 時 00 分	27 日 01 時 35 分に発生したごく小規模な噴火の状況
		解説情報第 29 号	28 日 16 時 00 分	地震・噴煙等火山活動の状況
		解説情報第 30 号	28 日 16 時 30 分	28 日 16 時 02 分に発生したごく小規模な噴火の状況
桜島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、入山規制)	解説情報第 44 号～46 号	4 日、7 日、11 日 16 時 00 分	噴火の状況、地震等火山活動の状況
		解説情報第 47 号	12 日 23 時 40 分	12 日 22 時 53 分に昭和火口で発生した爆発的噴火の状況 噴石が 3 合目まで飛散
		解説情報第 48 号～52 号	14 日、18 日、21 日、 25 日、28 日 16 時 00 分	噴火の状況、地震等火山活動の状況

注) 表中、解説情報とは「火山の状況に関する解説情報」のことである。

## 各火山の 6 月の活動解説

## 【北海道地方】

**雌阿寒岳** めあかんだげ **【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】**

5月31日～6月3日に実施した現地調査では、各火口の状況に変化はなかった。地震活動及び噴煙活動は低調で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められない。

**十勝岳** としかただげ **【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】**

25日～28日に実施した現地調査では、大正火口東側火口壁上部に新たな噴気が認められ、赤外熱映像装置<sup>1)</sup>による観測で、この噴気に対応する高温域が認められた。62-2火口及びその他の火口の状況に特段の変化は認められなかった。

GPS観測によると、62-2火口付近浅部の膨張を示す地殻変動は鈍化しながら継続している。

地震活動及び噴煙活動は低調で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められないが、GPSによる観測で62-2火口浅部の膨張を示す地殻変動が2006年以降継続していることから、今後の火山活動の推移に注意が必要である。

**樽前山** たるまえざん **【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】**

8日及び10日に実施した現地調査では、2009年9月に新たな噴気孔が確認されたドーム南東亀裂で温度の上昇が認められた（今回：555℃、前回2009年10月道総研地質研究所：398℃）。

前回の現地調査（2009年10月）で地熱域の拡大が見られたA火口周辺では、新たな地熱域<sup>1)</sup>の広がり認められず、その他の火口の状況にも特段の変化はなかった。

GPS観測によると、2006年以降認められていた山頂溶岩ドーム付近の局所的な膨張を示す地殻変動が鈍化しながらも継続している。

地震活動及び噴煙活動は低調で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められないが、今後の火山活動の推移には注意が必要である。

**倶多楽** くつたら **【噴火予報（平常）】**

地震活動及び噴煙活動は低調で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められない。

**有珠山** うすざん **【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】**

地震活動及び噴煙活動は低調で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められない。

**北海道駒ヶ岳** ほっかいどうこまがたけ**【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】**

地震活動及び噴煙活動は低調で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められない。

**恵山** えざん **【噴火予報（平常）】**

地震活動及び噴煙活動は低調で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められない。

## 【東北地方】

**岩木山** いわきざん **【噴火予報（平常）】**

地震活動及び噴煙活動は低調で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められない。

**岩手山** いわてざん **【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】**

9日に岩手県の協力により実施した現地調査では、岩手山山頂の噴気地熱域に特段の変化は認められなかった。

地震活動及び噴煙活動は低調で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められない。

**秋田駒ヶ岳** あきたこまがたけ **【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】**

2～4日にかけて実施した現地調査によると、女岳北東斜面では、4月に岩手県の協力により実施した上空からの観測と比較して、地熱域の広がり大きな変化は認められなかった。女岳南東火口では、地熱の高い箇所が確認された。

地震活動及び噴煙活動は低調で、ただちに噴火する兆候は認められないが、今後の火山活動の推移に注意する必要がある。

**栗駒山** くりこまやま **【噴火予報（平常）】**

地震活動及び噴煙活動は低調で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められない。

**吾妻山** あづまやま **【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】**

大穴火口の噴気は、80～300mで推移し、噴気活動はやや高まった状態が続いている。

地震回数は、5月75回、6月81回と引き続きやや多い状況で推移した。

5月21～31日（前期間）に大穴火口付近で実施したGPS繰り返し観測の結果では、前回（4月15～20日）の観測結果と比べて、大穴火口を挟む基線では縮みを示す変化が観測されたが、その南東よりの蓬萊山東ー浄土平の基線で伸びを示す

1) 赤外熱映像装置または赤外放射温度計による測定。これらは物体が放射する赤外線を感知して温度分布等を測定する測器である。熱源から離れた場所から測定することができる利点があるが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合がある。

変化が観測された。

ただちに火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められないが、火口内では噴気、火山ガスの噴出等がみられるので警戒が必要である。

#### **安達太良山** [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

17～18 日に実施した現地調査では、沼ノ平火口の噴気活動、熱活動は低調な状態が続いており、特段の変化は認められなかった。

地震活動及び噴煙活動は低調で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められない。

#### **磐梯山** [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

地震活動及び噴煙活動は低調で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められない。

### **【関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島】**

#### **那須岳** [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

地震活動及び噴煙活動は低調で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められない。

#### **草津白根山**

##### [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

20 日に湯釜火口周辺を震源とするとみられる振幅の小さな火山性地震が一時的に増加した。

地殻変動には特段の変化はみられなかったが、東京工業大学の観測によると、湯釜火口内北東部の噴気地帯の地中温度は、高温の状態が継続している。

山頂火口から概ね 500m の範囲では、ごく小規模な火山灰等の噴出に警戒が必要である。また、ところどころで火山ガスの噴出がみられ、周辺の窪地や谷などでは滞留した火山ガスが高濃度になることがあるため、注意が必要である。

#### **浅間山**

##### [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

山頂火口からの噴煙量に大きな変化はなく、噴煙高度は火口縁上 100～200m で推移した。

17 日に行った現地調査では、山頂火口からの二酸化硫黄放出量<sup>2)</sup>は、一日あたり 90～200 トンとやや少なく、2008 年 7 月以前の静穏な状態に戻っている。

山頂火口から 500m 以内に影響する程度の噴出

現象は突発的に発生する可能性があるため、火山灰噴出や火山ガス等に警戒が必要である。

#### **新潟焼山** [噴火予報（平常）]

地震活動は低調で、新潟県土木部砂防課の焼山温泉監視カメラでは噴気活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められない。

#### **御嶽山** [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

地震活動及び噴気活動は低調で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められない。

#### **白山** [噴火予報（平常）]

29 日 17 時から 30 日 03 時にかけて、白山付近の浅部を震源とする微小な地震がややまとまって発生した。白山では、これまでも同様な場所で地震が多発しており、最近では 2008 年 9 月から 2009 年 1 月にかけて今回と同程度の地震活動があった。

なお、今回の地震活動に伴って火山性微動の発生等、火山活動に特段の変化はみられなかった。

遠望カメラでは山頂部に噴気はみられず、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められない。

#### **富士山** [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

国土地理院の観測によると、山体周辺の GPS による地殻変動観測で、2008 年 8 月頃から地下深部の膨張を示すと考えられるわずかな伸びの変化が認められていたが、2010 年初め頃から一部の基線でその傾向が鈍化している。

遠望カメラでは山頂部に噴気は認められない。地震活動は低調で、その他の観測データで浅部の異常を示す変化はなく、噴火の兆候は認められない。

#### **箱根山** [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

地震活動は低調で、環境省インターネット自然研究所の箱根・大涌谷カメラでは大涌谷の噴気活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められない。

#### **伊豆東部火山群** [噴火予報（平常）]

地震活動は低調で、噴煙等の表面現象は認められず、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められない。

2) 小型紫外線スペクトロメータシステム (COMPUSS) による。COMPUSS は、紫外線のある波長帯の二酸化硫黄の吸収を利用して、二酸化硫黄濃度を測定する。

**伊豆大島** **〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）〕**

24 日に実施した現地調査では、三原山山頂火口内及びその周辺に引き続き弱い噴気が認められた。三原山山頂火口内の中央火孔の温度や地表面温度分布<sup>1)</sup> は前回（2010 年 5 月 27 日）の観測と比べて特段の変化はなかった。

GPS による連続観測では、地下深部へのマグマ注入によると考えられる島全体の長期的な膨張傾向が継続している。短期的には 2009 年秋頃から 2010 年 5 月にかけて収縮傾向がみられ、その後は膨張に転じている。

今後の活動に注意する必要があるが、現在は静穏な状況で、三原山山頂火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められない。

**三宅島**

**〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）〕**

噴煙高度は火口縁上100～200mで推移した。

1 日および17日に実施した現地調査では、二酸化硫黄放出量<sup>2)</sup> は一日あたり400～1,100トンで、前回（2010年5月31日、一日あたり600～1,100トン）と同様、依然として多量の火山ガス放出が続いている。

三宅島の火山ガス濃度観測によると、山麓で時々高濃度の二酸化硫黄が観測されている。

山頂火口直下を震源とする火山性地震は、増減を繰り返しながらやや多い状態が続いている。

地磁気連続観測<sup>4)</sup> では、火山体内部の熱の状況に大きな変化はなかった。

GPS 連続観測では、山体浅部の収縮を示す地殻変動が継続している。

火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されるので、山頂火口周辺（雄山環状線内側）では噴火に対する警戒が必要である。また、火山

ガス予報で火山ガスの濃度が高くなる可能性があるとして予想される地域では火山ガスに対する警戒が必要である。

**八丈島** **〔噴火予報（平常）〕**

八丈島付近を震源とする地震の発生は少なく、地震活動は静穏に経過した。火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められない。

**硫黄島** **〔火口周辺警報（火口周辺危険）〕**

独立行政法人防災科学技術研究所の観測によると、地震活動は落ち着いた状態で経過している。

国土地理院の観測によると、2006 年 8 月以降みられている島全体の隆起を示す地殻変動は、2009 年 10 月頃から一時停滞していたが、5 月以降再び隆起の傾向がみられる。島内南北方向の伸びの傾向は継続している。

火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されるので、これまで小規模な噴火が発生した島東部の海岸付近、島西部（井戸ヶ浜等）及び南東沖では警戒が必要である。

**福德岡ノ場** **〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕**

17 日に海上自衛隊が上空から行った観測によると、福德岡ノ場付近の海面に火山活動によるとみられる変色水が確認された。

なお、海上保安庁海洋情報部、第三管区海上保安本部及び海上自衛隊による上空からの観測で、福德岡ノ場付近の海面には長期にわたり火山活動によるとみられる変色水等が確認されている。

小規模な海底噴火が発生すると予想されるので、周辺海域では警戒が必要である。

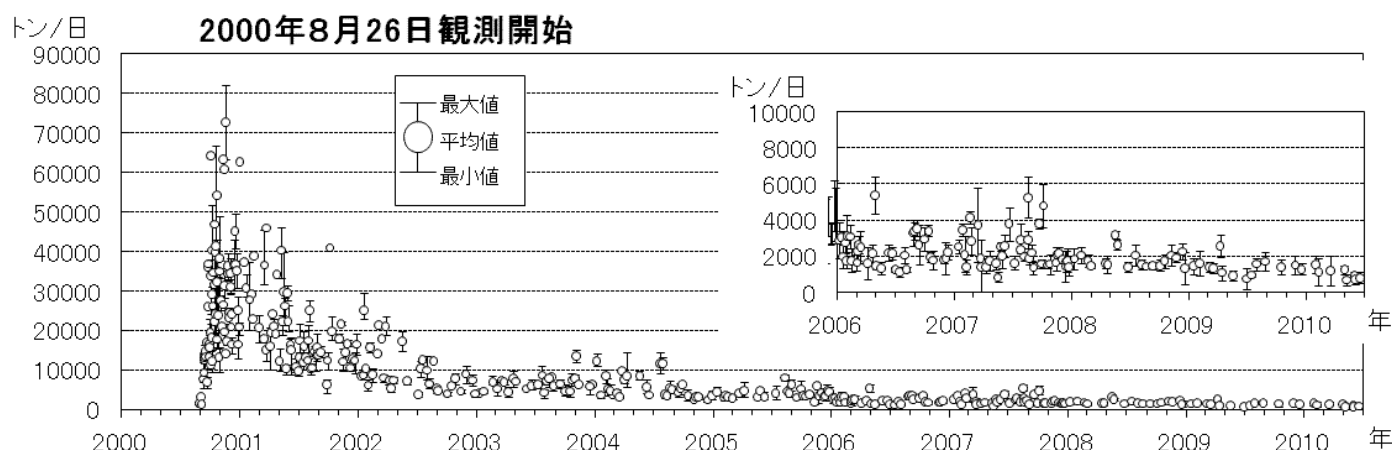


図 4 三宅島 二酸化硫黄の放出量<sup>3)</sup> の推移（2000 年 8 月～2010 年 6 月）  
海上保安庁、陸上自衛隊、海上自衛隊、航空自衛隊、東京消防庁及び警視庁の協力を得て観測を実施。

3) 三宅島では、2005 年 4 月までは紫外線関連スペクトロメータ（COSPEC）、同年 5 月以降は小型紫外線スペクトロメータシステム（COMPUS）を用いて観測した二酸化硫黄（SO<sub>2</sub>）の放出量の推移を示している。

4) プロトン磁力計による観測。火山は磁石のように磁気を帯びている。地下で温度上昇があると、熱源の北側で全磁力値が増加し、南側で減少がみられる。



## 【九州地方及び南西諸島】

**九重山** [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

地震活動及び噴煙活動は低調で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められない。

**阿蘇山** [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

孤立型微動は多い状態で経過した。

中岳第一火口の湯だまり量は、5月下旬以降、約7割で経過していたが、6月中旬には約5割に減少した。表面温度<sup>1)</sup>は73～78℃（2010年5月：65～73℃）で、3月下旬以降上昇傾向が続いている。また、30日に阿蘇火山博物館の火口カメラにより湯だまりの半分程度が黄色く変色しているのを確認した。南側火口壁の温度は、前期間（2010年5月）と比べてやや低下した。

2日、16日に実施した現地調査では、二酸化硫黄放出量<sup>2)</sup>は一日あたり600トン（2010年5月：300～600トン）と少ない状態であった。

その他の火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められないが、火口内では土砂や火山灰の噴出の可能性もある。また、火口付近では火山ガスに対する注意が必要である。

**雲仙岳** [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

地震活動及び噴気活動は低調で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められない。

**霧島山（新燃岳）**

## [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

27日01時35分頃及び28日16時02分にごく小規模な噴火が発生した。これらの噴火に伴い火山性微動を観測した。また、聞き取り調査によると、新燃岳火口の東側約10kmでごく微量の降灰が確認された。

火山性地震は増減を繰り返しながらやや多い状態が続いている。

火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性があるため、火口から概ね1kmの範囲では大きな噴石<sup>5)</sup>に警戒が必要である。風下側では降灰及び小さな噴石<sup>5)</sup>（火山れき<sup>6)</sup>）に注意が必要である。

**霧島山（御鉢）**

## [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

地震活動及び噴煙活動は低調で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められない。

**桜島**

## [火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）]

昭和火口では、5月中旬から6月上旬まで爆発的噴火<sup>7)</sup>が一時的に減少したが、その後は再び多い状態で経過した。噴火<sup>8)</sup>が107回（2010年5月：35回）発生し、そのうち爆発的噴火は99回（2010年5月：31回）であった。これらの噴火に伴い、最も遠くまで飛散した大きな噴石<sup>5)</sup>は3合目（昭和火口から1,300m～1,800m）まで達した。南岳山頂火口では、噴火は発生しなかった。

3日、11日に実施した現地調査では、二酸化硫黄放出量<sup>2)</sup>は一日あたり600～900トン（2010年5月：700～1,600トン）と少ない状態であった。

国土地理院によるGPS連続観測では、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の膨張による変化が引き続き観測されている。

桜島の噴火活動は、中旬以降活発な状態で経過した。今後、更に火山活動が活発化する可能性も考えられるので、火山活動の推移に注意が必要がある。

昭和火口及び南岳山頂火口から2km程度の範囲では、大きな噴石及び火砕流に警戒が必要である。風下側では降灰及び小さな噴石<sup>5)</sup>（火山れき<sup>6)</sup>）に注意が必要である。降雨時には土石流に注意が必要である。

**薩摩硫黄島**

## [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

火山性地震はやや多い状態で経過した。

噴煙活動は雲のため山頂部を確認できた時間が少なかったが、最高で火口縁上約100mの噴煙が時々観測された。

火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されるため、火口から概ね1kmの範囲では噴火に対する警戒が必要である。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石<sup>5)</sup>に注意が必要である。

5) 噴石については、大きさによる風の影響の程度の違いによって飛散範囲が大きく異なる。本文中「大きな噴石」とは、「弾道を描いて飛散する大きな噴石」のことであり、それより小さく風の影響を受ける噴石は、例えば「風の影響を受ける小さな噴石」という表現を用いる。

6) 霧島山・桜島では「火山れき」の用語が地元で定着していると考えられることから、付加表現している。

7) 桜島では、爆発地震を伴い、爆発音、体感空振、噴石の火口外への飛散、または气象台や島内の空振計で一定基準以上の空振のいずれかを観測した場合に爆発的噴火としている。

8) 桜島では噴火活動が活発なため、噴火のうち、爆発的噴火もしくは噴煙量が中量以上（概ね噴煙の高さが1,000m以上）の噴火の回数を計数している。基準に達しない噴火は、ごく小規模な噴火としている。

くちのえらぶじま  
**口永良部島**

**【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】**

地震活動及び噴煙活動は低調で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められない。ただし、火口内では引き続き噴気がみられており、火山灰等の噴出する可能性がある。また、火口付近では火山ガスに対する注意が必要である。

すわのせじま  
**諏訪之瀬島**

**【火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）】**

噴火は観測されなかった。

火山性地震及び火山性微動は消長を繰り返しながらやや多い状態が続いている。

諏訪之瀬島では長期にわたり噴火を繰り返しており、今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されるので、火口から概ね 1 km の範囲では大きな噴石<sup>5)</sup>に警戒が必要である。風下側では降灰及び小さな噴石<sup>5)</sup>に注意が必要である。

## 資料 1 全国の主な活火山の噴火警報及び噴火予報の発表状況のまとめ

## (1) 主な活火山

噴火警報及び噴火予報の発表履歴欄には、平成 19 年 12 月 1 日の噴火警報及び噴火予報の発表と噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示す。この表では、主な活火山として、警報を発表している、または連続的に監視を行っている火山を示している。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルである。

	火山名	噴火警報及び噴火予報の発表状況 (平成 22 年 6 月 30 日現在)	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
北海道地方	雌阿寒岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2008 年 9 月 29 日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008 年 10 月 17 日 噴火予報（平常） 2008 年 11 月 17 日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008 年 12 月 16 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2009 年 4 月 10 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	十勝岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2008 年 12 月 16 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	樽前山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	倶多楽	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	有珠山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2008 年 6 月 9 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	北海道駒ヶ岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	恵山	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
東北地方	岩木山	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	岩手山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	秋田駒ヶ岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2009 年 10 月 27 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	栗駒山	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	吾妻山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	安達太良山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2009 年 3 月 31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	磐梯山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2009 年 3 月 31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
関東・中部地方・伊豆・小笠原諸島	那須岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2009 年 3 月 31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	草津白根山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常） 2009 年 4 月 10 日 噴火予報（レベル 1、平常）切替
	浅間山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常） 2008 年 8 月 8 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2009 年 2 月 1 日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2009 年 2 月 3 日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制）切替 2009 年 4 月 7 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2010 年 4 月 15 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	新潟焼山	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	御嶽山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2008 年 3 月 31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	白山	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	富士山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	箱根山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2009 年 3 月 31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	伊豆東部火山群	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	伊豆大島	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	三宅島	火口周辺警報 （レベル 2、火口周辺規制）	2007 年 12 月 1 日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008 年 3 月 31 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制）
	八丈島	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	硫黄島	火口周辺警報（火口周辺危険）	2007 年 12 月 1 日 火口周辺警報（火口周辺危険）
福徳岡ノ場	噴火警報（周辺海域警戒）	2007 年 12 月 1 日 噴火警報（周辺海域警戒）	

	火山名	噴火警報及び噴火予報の発表状況 (平成 22 年 6 月 30 日現在)	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	九重山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	阿蘇山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	雲仙岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	霧島山 (新燃岳)	火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制)	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常） 2008 年 8 月 22 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2008 年 10 月 29 日 噴火予報（レベル 1、平常） 2010 年 3 月 30 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2010 年 4 月 16 日 噴火予報（レベル 1、平常） 2010 年 5 月 6 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制）
	霧島山（御鉢）	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	桜島	火口周辺警報 (レベル 3、入山規制)	2007 年 12 月 1 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2008 年 2 月 3 日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2008 年 2 月 20 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2008 年 4 月 8 日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2008 年 7 月 14 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2008 年 7 月 28 日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2008 年 8 月 28 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2009 年 2 月 2 日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2009 年 2 月 19 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2009 年 3 月 2 日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2009 年 3 月 10 日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制）切替 2009 年 4 月 24 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2009 年 7 月 19 日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制）
	薩摩硫黄島	火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制)	2007 年 12 月 1 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制）
	口永良部島	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2008 年 1 月 25 日 噴火予報（レベル 1、平常） 2008 年 9 月 4 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2008 年 10 月 27 日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2009 年 3 月 18 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2009 年 8 月 4 日 噴火予報（レベル 1、平常） 2009 年 9 月 27 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2009 年 10 月 30 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	諏訪之瀬島	火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制)	2007 年 12 月 1 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制）

## (2) その他の活火山

以下の活火山では平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表し、その後、火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はない。（平成 22 年 6 月 30 日現在）

	火山名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、摩周、アトサヌブリ、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八甲田山、十和田、秋田焼山、八幡平、鳥海山、鳴子、肘折、蔵王山、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方 及び伊豆・小笠原諸島	高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、焼岳、アカンダナ山、乗鞍岳、利島、新島、神津島、御蔵島、青ヶ島、ベヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、嬬婦岩、西之島、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方 及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山

## ●世界の主な地震

平成 22 年（2010 年）6 月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布を図 1 に示す。また、その震源要素等を表 1 に示す。

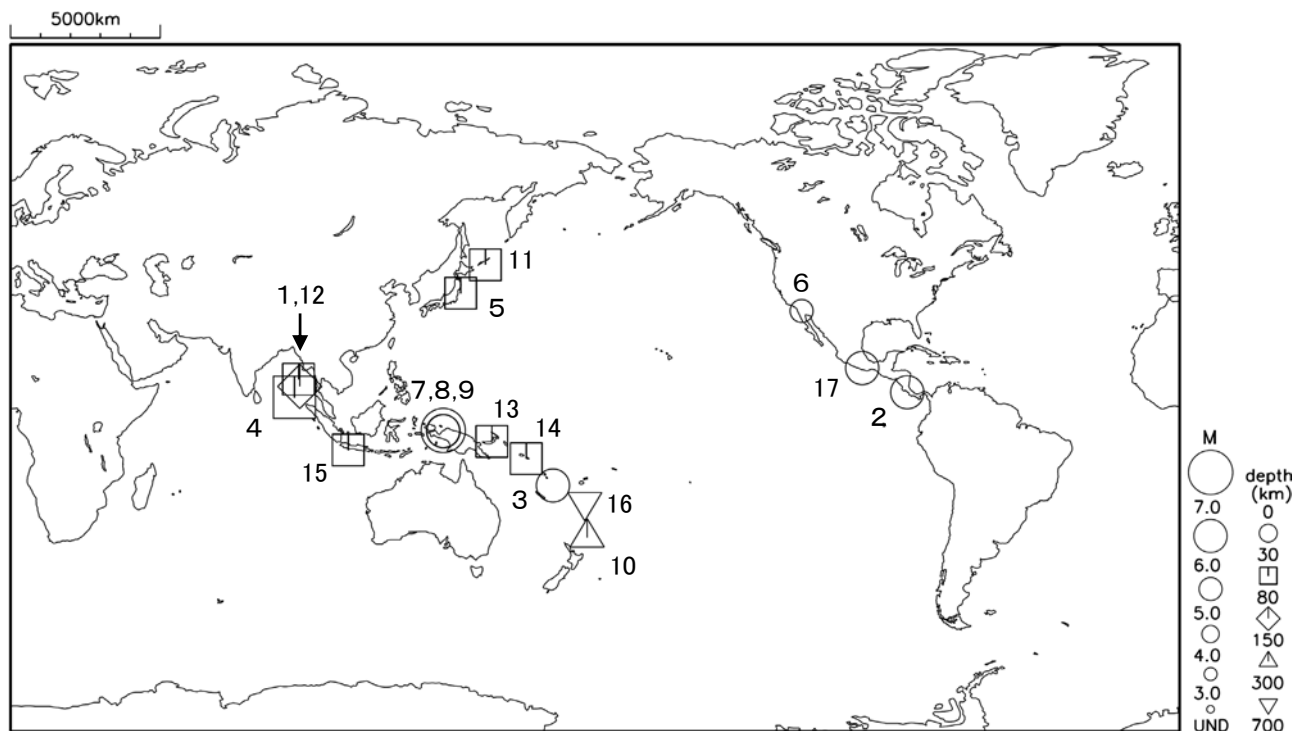


図 1 平成 22 年（2010 年）6 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布

\* : 震源要素は米国地質調査所 (USGS) 発表の QUICK EPICENTER DETERMINATIONS (QED) による。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素及びマグニチュードは気象庁による。

\*\* : 数字は、表 1 の番号に対応する。

\*\*\*: マグニチュードは表 1 の mb (実体波マグニチュード)、Ms (表面波マグニチュード)、Mw (モーメントマグニチュード) のいずれか大きい値を用いて表示している。

表 1 平成 22 年（2010 年）6 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Ms	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北西	印洋	遠地
1	06月01日04時51分	N11° 05.4'	E 93° 30.9'	105			6.5	インド、アンダマン諸島			○	
2	06月01日12時26分	N 9° 19.3'	W 84° 15.1'	18	5.7	5.6	6.0	コスタリカ				
3	06月10日08時23分	S18° 35.4'	E169° 27.9'	10	5.5	5.9	6.0	バヌアツ諸島				
4	06月13日04時26分	N 7° 50.8'	E 91° 55.1'	35	7.0	7.5	(7.4)	インド、ニコバル諸島	(p.36参照)		○	○
5	06月13日12時32分	N37° 23.7'	E141° 47.7'	40	6.3	(6.2)	(6.0)	福島県沖	土砂崩落1箇所 (p.12参照)			
6	06月15日13時26分	N32° 42.0'	W115° 55.2'	5	5.6	5.7	5.8	米国、カリフォルニア州南部	建物被害数棟			
7	06月16日12時06分	S 2° 23.5'	E136° 38.1'	13	5.9		6.2	インドネシア、パプア				
8	06月16日12時16分	S 2° 10.2'	E136° 33.1'	18	6.7	7.1	(7.0)	インドネシア、パプア	死者17人以上、建物被害2,556棟、公共設備に被害、地すべりなど (p.37参照)	○		○
9	06月16日12時58分	S 2° 19.4'	E136° 30.4'	10	6.2		(6.6)	インドネシア、パプア				
10	06月17日22時06分	S33° 12.4'	E179° 43.6'	197			6.0	ケルマデック諸島南方				
11	06月18日11時23分	N44° 35.8'	E149° 11.7'	30	5.9	(6.5)	(6.2)	択捉島南東沖	(p.7参照)			
12	06月19日08時09分	N13° 13.8'	E 93° 08.0'	35	6.1	5.9	5.9	インド、アンダマン諸島				
13	06月24日14時32分	S 5° 29.8'	E151° 09.3'	40	5.8	5.8	6.1	パプアニューギニア、ニューブリテン				
14	06月26日14時30分	S10° 37.6'	E161° 26.8'	35	6.4	6.8	(6.8)	ブーゲンビル-ソロモン諸島	(p.38参照)	○		○
15	06月26日18時50分	S 8° 04.0'	E108° 03.4'	75	6.0		5.8	インドネシア、ジャワ				
16	06月30日13時31分	S23° 19.9'	E179° 01.0'	614			6.4	フィジー諸島南方				
17	06月30日16時22分	N16° 31.6'	W 97° 45.6'	20			6.2	メキシコ、オアハカ州	死者1人			

・震源要素、被害状況等は米国地質調査所 (USGS) 発表の QUICK EPICENTER DETERMINATIONS (QED) による（平成 22 年 7 月 6 日現在）。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素及びマグニチュード (Ms) の欄に括弧を付して記載) は気象庁に、被害状況は総務省消防庁に、Mw の欄に括弧つきで記されている地震のモーメントマグニチュードは気象庁による。

・震源時は日本時間 [日本時間=協定世界時+9時間] である。

・「北西」、「印洋」各欄の○印はそれぞれ、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報 (NWPTA)、及び、インド洋沿岸諸国に暫定提供しているインド洋津波監視情報 (TWI) (地震・火山月報 (防災編) 2005 年 5 月号参照) を発表したことを表す。

・「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。



## 6月13日 インド、ニコバル諸島の地震

2010年6月13日04時26分（日本時間）、インド領のニコバル諸島で Mw7.4（Mw は気象庁によるモーメントマグニチュード）の地震が発生した。この地震は2004年12月26日の地震（M9.1）の震源域の中央付近で発生しているが、発震機構（気象庁による CMT 解）は東北東-西南西方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で、12月26日の地震のようなプレート境界の地震に見られる逆断層型とは異なることから、プレートの内部で発生していると考えられる。

気象庁は、同日04時47分に「インド洋津波監視情報」を公表し、04時54分に「遠地地震に関する情報」（日本国内向け、日本への津波の影響はなし）を公表した。

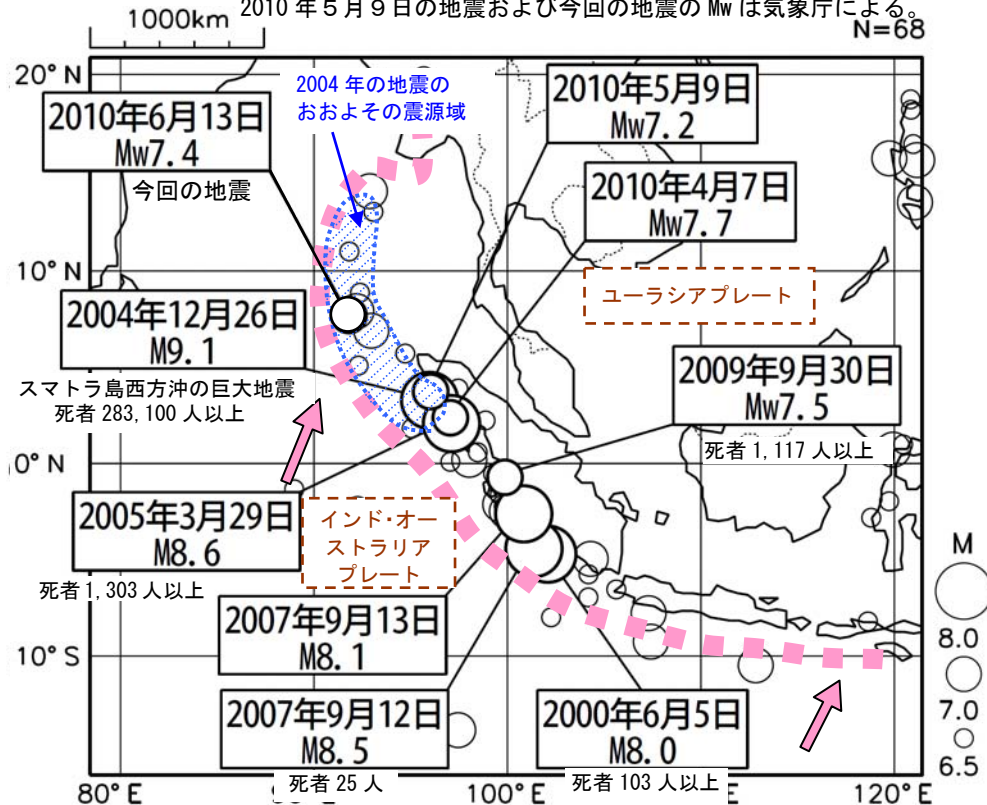
2004年以降の活動を見ると、この地震の震央周辺（領域 a）では、2005年7月25日にも横ずれ断層型の地震（M7.5）が発生し、震源地に近いインド領のニコバル諸島とアンダマン諸島で建物被害が生じた（米国地質調査所 [USGS] の資料による）。

震央分布図（1980年1月1日～2010年6月30日、深さ0～100km、 $M \geq 6.5$ ）

※ 震源要素、被害は米国地質調査所（USGS）による。

2009年9月30日の地震、2010年4月7日の地震、

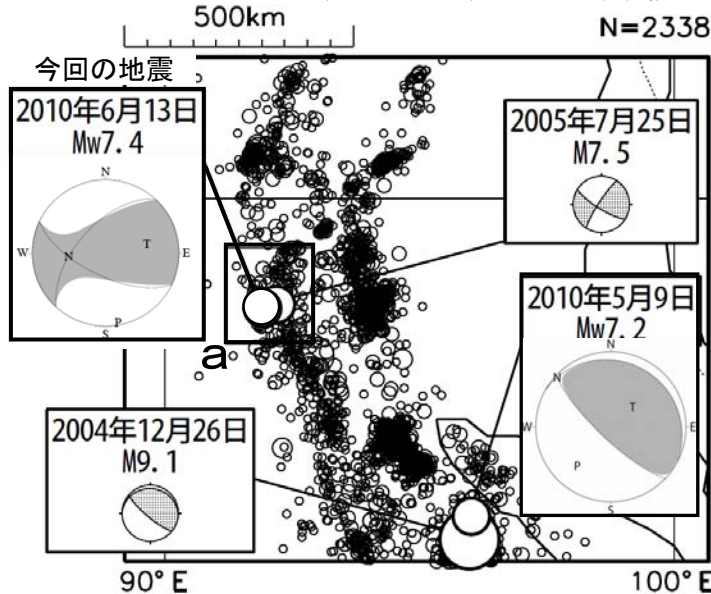
2010年5月9日の地震および今回の地震の Mw は気象庁による。



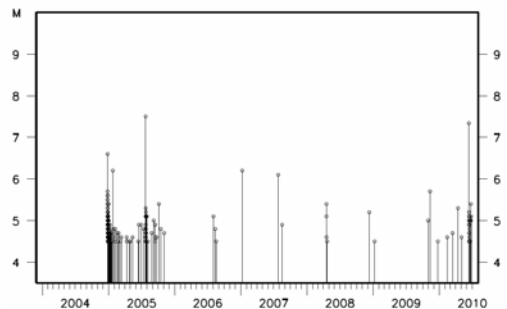
震央分布図（2004年1月1日～2010年6月30日、深さ0～100km、 $M \geq 4.5$ ）

※震源要素と発震機構は米国地質調査所（USGS）による。

2010年5月9日の地震と今回の地震の Mw と発震機構は気象庁による。



領域 a 内の M-T 図  
(2004年1月以降)

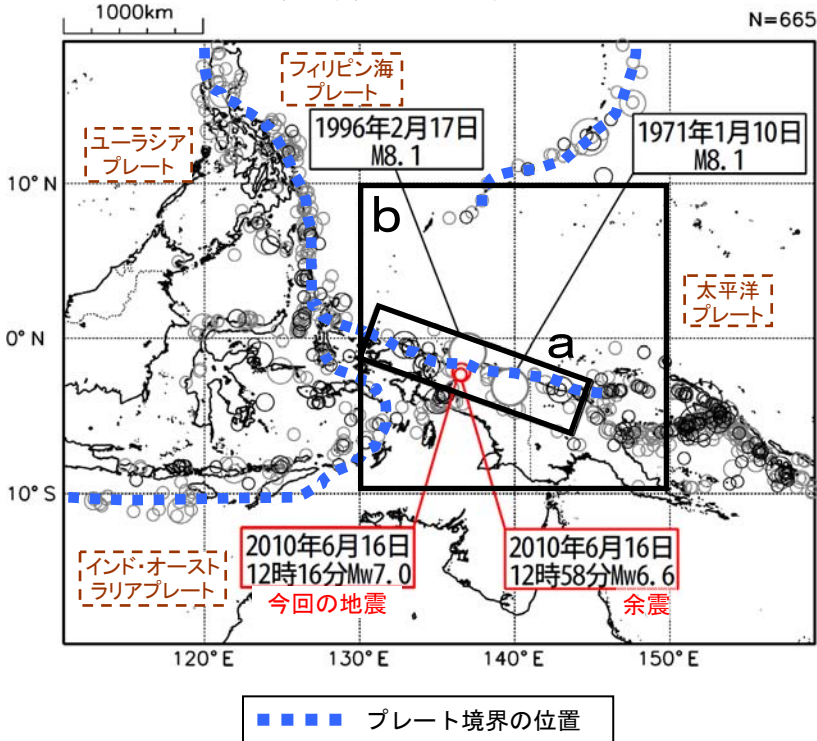


## 6 月 16 日 インドネシア、パプアの地震

震央分布図（1970 年 1 月～2010 年 6 月 16 日、  
深さ 0～100km、 $M \geq 6.0$ ）

2001 年 1 月以降の地震を濃く表示

※ 震源要素は米国地質調査所 (USGS) による。  
今回の地震と余震の  $M_w$  は気象庁による。

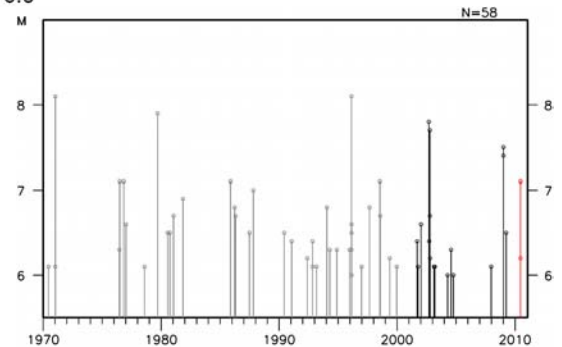


2010 年 6 月 16 日 12 時 16 分（日本時間）、インドネシアのパプアで  $M_w 7.0$  ( $M_w$  は気象庁によるモーメントマグニチュード) の地震が発生した。この地震の発震機構（気象庁による CMT 解）は南北方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型であった。この地震により、現地では死者 17 人以上、建物被害 2,556 棟などの被害が生じた（米国地質調査所 [USGS] の資料による）。

この地震の約 10 分前の 12 時 06 分には  $M 5.9$  の地震、12 時 58 分には  $M_w 6.6$  の余震が発生し、これらの地震の発震機構も南北方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型であった。

気象庁は、同日 12 時 29 分に「北西太平洋津波情報」を発表し、12 時 34 分と 13 時 46 分に「遠地地震に関する情報」（日本国内向け、日本への津波の影響はなし）を発表した。

領域 a 内の M-T 図

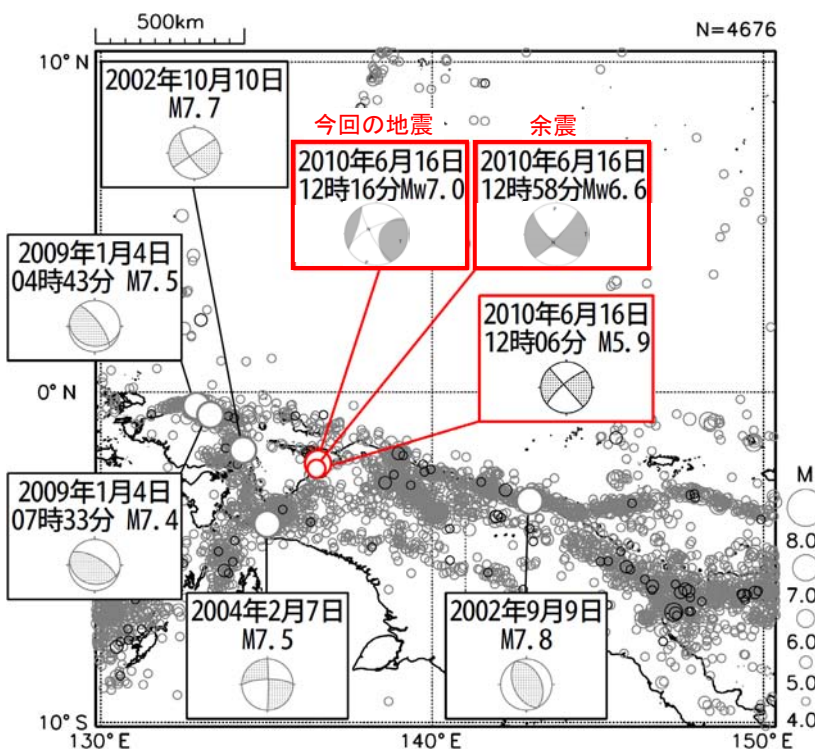


領域 b 内の震央分布図

（2000 年 1 月～2010 年 6 月 16 日、深さ 0～100km、 $M \geq 4.0$ ）

2010 年 1 月以降の地震を濃く表示

※ 震源要素と発震機構は米国地質調査所 (USGS) による。  
今回の地震と余震の  $M_w$  と発震機構は気象庁による



1970 年以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域 a）では  $M 7.0$  以上の地震が時々発生しており、1996 年 2 月 17 日の  $M 8.1$  の地震では、日本でも津波を観測した（最大は父島の 104cm）。2002 年 10 月 10 日の  $M 7.7$  の地震の発震機構は南北方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型であり、この地震では現地で死者 8 人、負傷者 632 人以上、津波による住宅への浸水などの被害が生じた（米国地質調査所 [USGS] の資料による）。最近では 2009 年 1 月 4 日に  $M 7.5$  と  $M 7.4$  の地震が発生しており、現地で死者 5 人以上、負傷者 250 人以上などの被害が生じた（米国地質調査所 [USGS] の資料による）ほか、日本でも伊豆・小笠原諸島、関東から九州にかけての太平洋沿岸、沖縄県で津波を観測した（最大は串本町袋港の 43cm）。



## 6 月 26 日 ソロモン諸島の地震

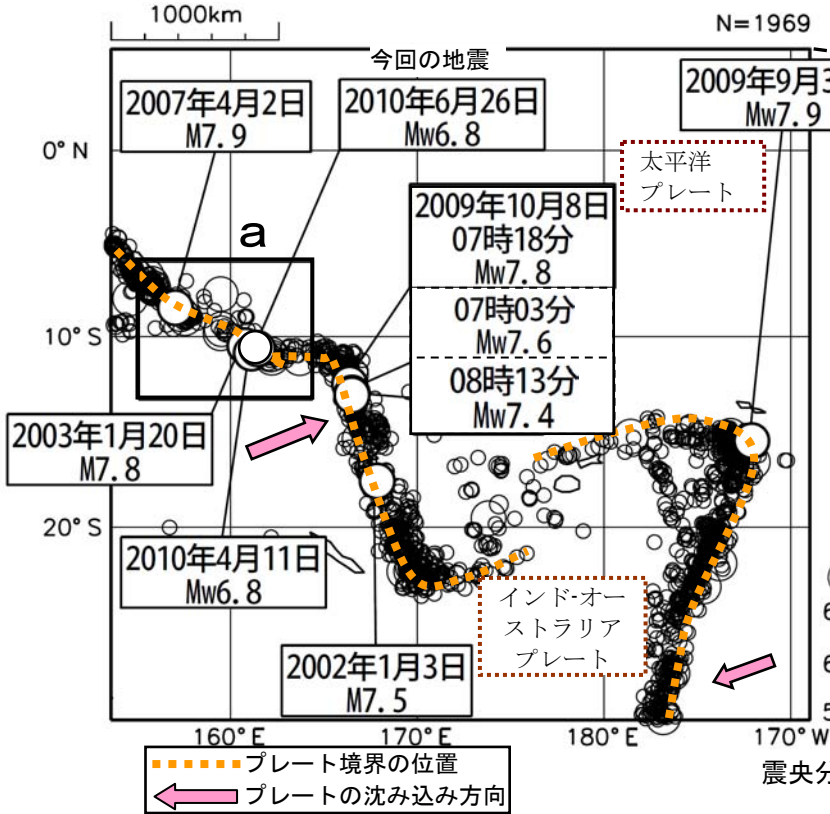
2010 年 6 月 26 日 14 時 30 分（日本時間）、ソロモン諸島で Mw6.8（Mw は気象庁によるモーメントマグニチュード）の地震が発生した。この地震の発震機構（気象庁による CMT 解）は東北東-西南西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートとインド-オーストラリアプレートのプレート境界で発生した。

気象庁は、同日 14 時 43 分に「北西太平洋津波情報」を、14 時 50 分に「遠地地震に関する情報」（日本国内向け、日本への津波の影響はなし）を発表した。

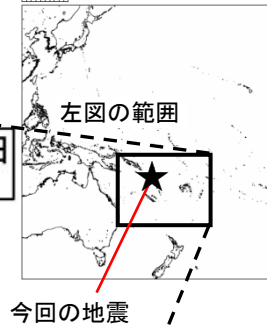
今回の地震の震央周辺では、2010 年 4 月 11 日に Mw6.8（Mw は気象庁によるモーメントマグニチュード）の地震が発生したほか、過去には M7.0 以上で津波を伴う地震が頻繁に発生し、死者を伴う被害が生じる場合もあった。

震央分布図（2000 年 1 月 1 日～2010 年 6 月 30 日、  
深さ 0～100km、M≥5.0）

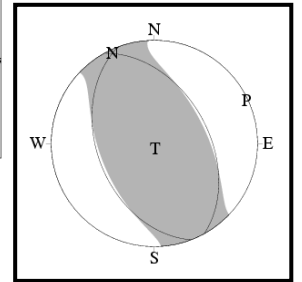
※ 震源要素は米国地質調査所による。今回の地震および 2009 年 9 月 30 日、10 月 8 日、2010 年 4 月 11 日の地震の Mw は気象庁による。



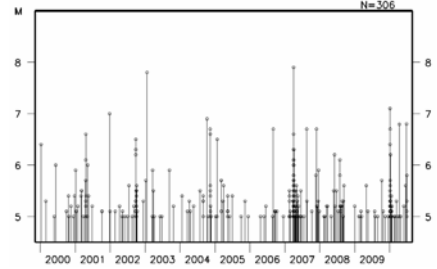
今回の地震の震央位置



今回の地震の発震機構  
(気象庁 CMT 解)



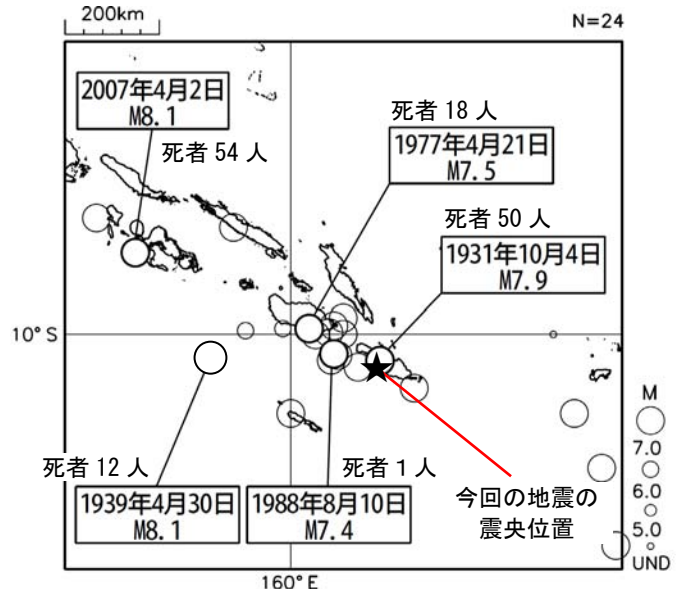
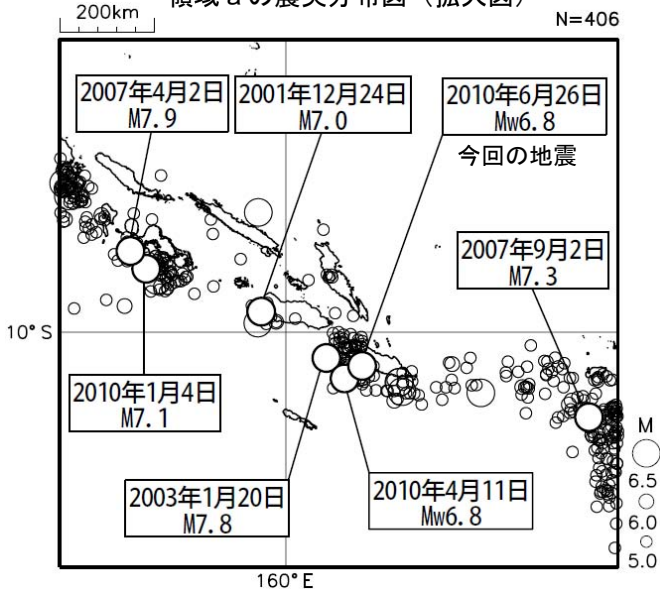
領域 a 内の M-T 図



震央分布図（1900 年 1 月 1 日～2008 年 12 月 31 日、  
深さ 0～100km、M すべて）

※震源要素及び被害は「宇津の世界の被害地震の表」による。  
(同じ地震でも震源要素が米国地質調査所と異なる場合がある。)

領域 a の震央分布図 (拡大図)



## ● 世界の主な火山活動

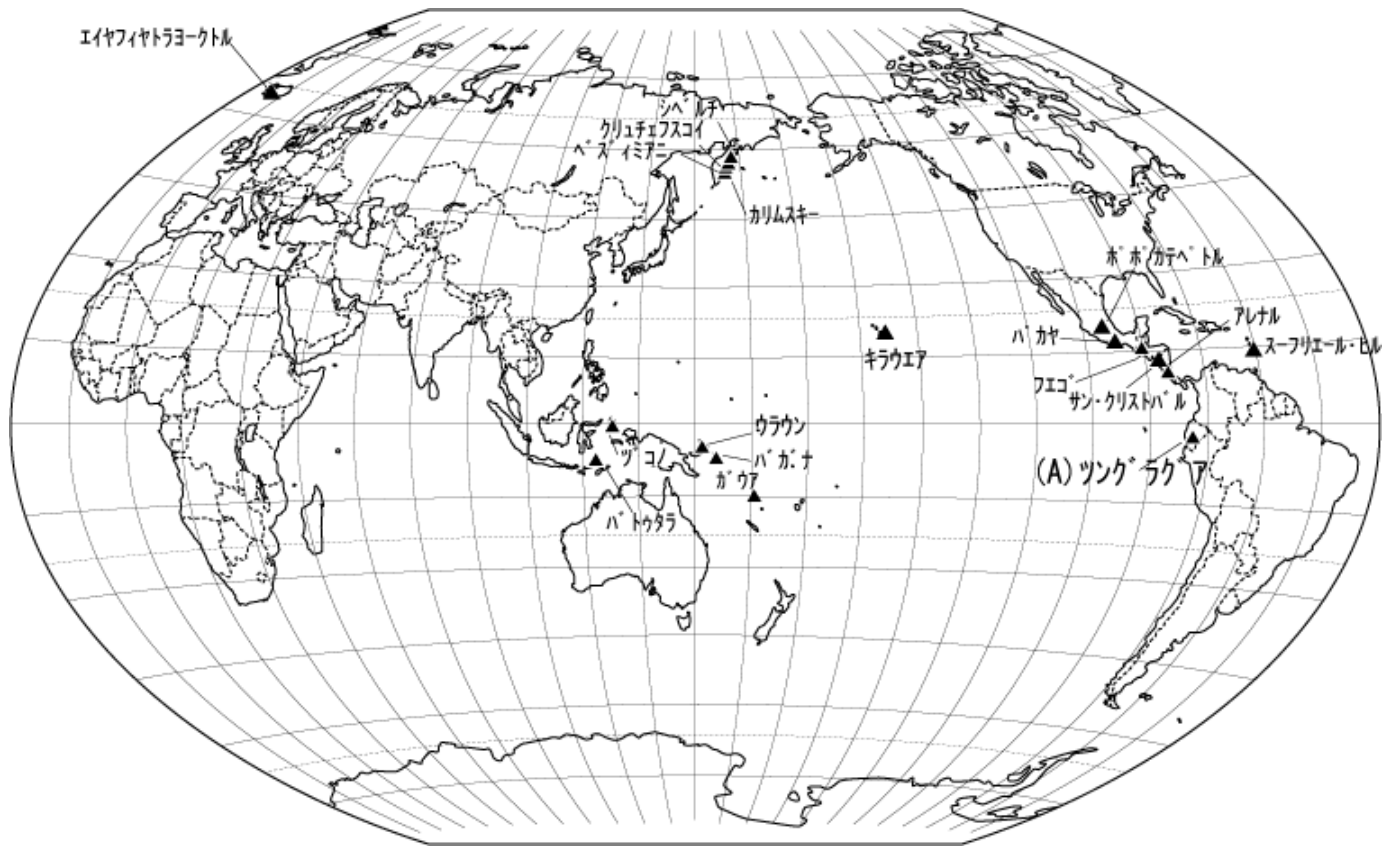
平成 22 年（2010 年）6 月に噴火したと報告された主な火山（日本を除く）は下図のとおりである。

ツングラグア（エクアドル）（図中 A）

5 月に活発化した火山活動は、6 月も継続した。上旬には時折、噴煙が海拔 9～10km（29,500～32,800 フィート）まで上がった。火山灰は風向きによって主に北西から南西の各方位へ流れた。

6 月 26 日には火山泥流が北西及び西へと流れ下り、直径 2 m の岩塊を押し流した。

（以上、米国スミソニアン自然史博物館の GVP（Global Volcanism Program）による。日付は全て現地時間。火山名の読み方は、原則として気象庁：「火山観測指針（参考編）」による。）



# ●付表 1. 震度 1 以上を観測した地震の表

※地震の震源要素及び震度は再調査後、修正することがある。確定した震源要素は「地震・火山月報（カタログ編）」、震度データは「地震年報」に掲載する。震度データは都道府県別に掲載し、各観測点の末尾に計測震度（各年の地震・火山月報（防災編）12月号の付録1参照）を記す。なお、\*のついている地点は、地方公共団体もしくは独立行政法人防災科学技術研究所の震度観測点、（注）を付した地震については、近接した地域でほぼ同時刻に発生した地震であるため震度の分離ができないことを示す。震源の深さの後に「F」を付した地震は、その深さに仮定して震源決定していることを示す。

※震度 3 以上を観測した地震については、震源要素を**太字**で表示する。

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
1	1 13 49	<b>福島県沖</b> 福島県	<b>37° 30.7' N</b>	<b>141° 32.3' E</b>	<b>45km</b>	<b>M: 4.8</b>
		3 浪江町幾世橋=2.8 相馬市中村*=2.6 2 富岡町本岡*=2.4 田村市都路町*=2.3 新地町谷地小屋*=2.3 双葉町新山*=2.2 楡葉町北田*=2.2 国見町藤田*=2.0 南相馬市原町区高見町*=2.0 南相馬市小高区*=2.0 いわき市平梅本*=1.9 南相馬市原町区三島町=1.9 福島広野町下北迫大谷地原*=1.8 南相馬市原町区本町*=1.8 田村市大越町*=1.8 福島伊達市月館町*=1.7 白河市郭内=1.7 大熊町下野上*=1.7 白河市表郷*=1.7 田村市滝根町*=1.7 南相馬市鹿島区*=1.7 福島伊達市梁川町*=1.7 本宮市糠沢*=1.6 いわき市三和町=1.6 桑折町東大隅*=1.6 川内村下川内=1.6 川俣町五百田*=1.6 棚倉町棚倉中居野=1.6 浅川町浅川*=1.6 小野町小野新町*=1.5 郡山市湖南町*=1.5 須賀川市八幡山*=1.5 福島伊達市保原町*=1.5 二本松市油井*=1.5 二本松市針道*=1.5 1 福島市飯野町*=1.4 白河市新白河*=1.4 天栄村下松本*=1.4 古殿町松川*=1.4 田村市常葉町*=1.4 本宮市本宮*=1.4 川内村上川内早渡*=1.4 大熊町野上*=1.4 須賀川市八幡町*=1.3 須賀川市岩瀬支所*=1.3 玉川村小高*=1.3 いわき市平四ツ波*=1.3 福島広野町下北迫苗代替*=1.3 葛尾村落合落合*=1.3 福島伊達市前川原*=1.2 白河市東*=1.2 二本松市金色*=1.1 田村市船引町=1.1 福島市桜木町*=1.1 福島市五老内町*=1.1 郡山市朝日=1.1 郡山市開成*=1.1 飯館村伊丹沢*=1.1 福島市松木町=1.0 川内村上川内小山平*=1.0 小野町中通*=1.0 いわき市錦町*=0.9 大玉村玉井*=0.9 猪苗代町千代田*=0.9 平田村永田*=0.8 石川町下泉*=0.7 いわき市小浜浜=0.7 大玉村曲藤=0.7 猪苗代町城南=0.6 三春町大町*=0.6 岩手県 2 一関市室根町*=1.6 陸前高田市高田町*=1.6 1 一関市千厩町*=1.4 一関市花泉町*=1.3 釜石市中妻町*=1.3 藤沢町藤沢*=1.3 大船渡市大船渡町=1.2 花巻市東和町*=1.2 大槌町新町*=1.1 矢巾町南矢幅*=1.0 山田町大沢*=1.0 盛岡市玉山区薮川*=1.0 平泉町平泉*=0.9 盛岡市山王町=0.9 奥州市前沢区*=0.9 奥州市胆沢区*=0.9 普代村銅屋*=0.9 一関市山目*=0.8 奥州市衣川区*=0.8 野田村野田*=0.8 遠野市松崎町*=0.7 八幡平市野駄*=0.6 宮古市五月町*=0.6 花巻市石鳥谷町*=0.6 宮古市門馬田代*=0.6 八幡平市田頭*=0.5 花巻市大迫町=0.5 北上市柳原町=0.5 宮城県 2 山元町浅生原*=2.3 石巻市桃生町*=2.3 角田市角田*=2.3 岩沼市桜*=2.2 亘理町下小路*=1.8 松島町高城=1.8 登米市迫町*=1.8 東松島市矢本*=1.7 登米市中田町=1.7 利府町利府*=1.7 名取市増田*=1.7 石巻市門脇*=1.7 宮城川崎町前川*=1.7 蔵王町円田*=1.6 丸森町鳥屋*=1.6 南三陸町志津川=1.6 大崎市古川三日町=1.6 仙台宮城野区五輪=1.6 登米市米山町*=1.6 登米市南方町*=1.6 大崎市松山*=1.5 東松島市小野*=1.5 大崎市田尻*=1.5 栗原市瀬峰*=1.5 丸森町上滝=1.5 栗原市金成*=1.5 塩竈市旭町*=1.5 1 涌谷町新町=1.4 栗原市築館*=1.4 仙台空港=1.4 大河原町新南*=1.4 大衡村大衡*=1.4 宮城加美町中新田*=1.3 仙台宮城野区苦竹*=1.3 大郷町柏川*=1.3 色麻町四籠*=1.3 栗原市志波姫*=1.3 登米市豊里町*=1.3 南三陸町歌津*=1.3 宮城美里町木間塚*=1.3 大崎市鹿島台*=1.3 仙台青葉区作並*=1.2 仙台青葉区落合*=1.2 気仙沼市赤岩=1.2 仙台太白区山田*=1.2 石巻市北上町*=1.2 七ヶ浜町東宮浜*=1.2 気仙沼市笹が陣*=1.2 栗原市若柳*=1.2 白石市亘理町*=1.2 仙台青葉区雨宮*=1.1 栗原市高清水*=1.1 大崎市古川北町*=1.1 栗原市栗駒=1.1 石巻市相野谷*=1.1 石巻市前谷地*=1.1 栗原市一迫*=1.1 気仙沼市唐桑町*=1.1 登米市登米町*=1.1 登米市石越町*=1.1 登米市東和町*=1.0 宮城美里町北浦*=1.0 七ヶ宿町関*=1.0 仙台泉区将監*=1.0 柴田町船岡=1.0 仙台青葉区大倉=0.9 石巻市鮎川浜*=0.9 大和町吉岡*=0.9 村田町村田*=0.9 女川町女川浜*=0.9 石巻市泉町=0.9 宮城加美町小野田*=0.8 富谷町富谷*=0.8 多賀城市中央*=0.8 大崎市三本木*=0.7 大崎市鳴子*=0.5 石巻市大瓜=0.5 山形県 1 米沢市林泉寺*=0.9 河北町谷地=0.5 茨城県 1 日立市役所*=1.0 日立市助川小学校*=0.7 大子町池田*=0.7 高萩市安良川*=0.5 常陸大宮市北町*=0.5 常陸大宮市山方*=0.5 土浦市常名=0.5 栃木県 1 那須町寺子*=0.9 大田原市黒羽田町=0.5 宇都宮市明保野町=0.5				
2	1 21 16	<b>新島・神津島近海</b> 東京都	<b>34° 26.2' N</b>	<b>139° 11.9' E</b>	<b>9km</b>	<b>M: 2.8</b>
		2 新島村式根島=1.5 1 東京利島村=1.3 新島村本村*=0.8				
3	1 23 40	<b>トカラ列島近海</b> 鹿児島県	<b>29° 51.1' N</b>	<b>129° 49.7' E</b>	<b>8km</b>	<b>M: 2.0</b>
		1 鹿児島十島村中之島徳之尾=0.7				
4	2 02 44	<b>十勝地方南部</b> 北海道	<b>42° 26.0' N</b>	<b>143° 09.8' E</b>	<b>48km</b>	<b>M: 3.9</b>
		2 浦幌町桜町*=2.4 1 十勝池田町西1条*=1.2 幕別町忠類錦町*=1.1 十勝大樹町生花*=1.0 鹿追町東町*=0.7 豊頃町茂岩本町*=0.6 本別町向陽町*=0.6 足寄町南1条*=0.6 更別村更別*=0.5 帯広市東6条*=0.5				



地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
5	2 21 16	浦河沖 北海道 1 新ひだか町三石旭町*1.2	42° 13.6' N	142° 30.1' E	27km	M: 3.2
6	3 07 39	<b>岩手県内陸南部</b> 岩手県 3 奥州市衣川区*3.1 2 平泉町平泉*2.3 奥州市胆沢区*2.3 一関市室根町*2.2 奥州市前沢区*2.2 金ヶ崎町西根*2.1 遠野市宮守町*1.8 一関市山目*1.8 一関市千厩町*1.8 藤沢町藤沢*1.7 一関市花泉町*1.6 奥州市水沢区大鐘町=1.5 1 花巻市東和町*1.4 北上市柳原町=1.3 奥州市水沢区佐倉河*1.3 奥州市江刺区*1.3 釜石市中妻町*1.1 一関市川崎町*1.0 西和賀町川尻*1.0 遠野市松崎町*1.0 大船渡市大船渡町=0.9 陸前高田市高田町*0.9 山田町大沢*0.8 八幡平市田頭*0.7 花巻市石鳥谷町*0.7 花巻市大迫町=0.6 大船渡市猪川町=0.6 宮古市鎌ヶ崎=0.6 宮古市川井*0.5 盛岡市玉山区藪川*0.5 西和賀町沢内太田*0.5 宮城県 3 栗原市栗駒=2.5 2 栗原市築館*2.0 栗原市鶯沢*1.9 栗原市一迫*1.8 栗原市金成*1.7 栗原市若柳*1.5 気仙沼市赤岩=1.5 栗原市志波姫*1.5 1 栗原市清水*1.4 登米市中田町=1.4 登米市石越町*1.4 南三陸町歌津*1.4 気仙沼市笹が陣*1.3 宮城美里町北浦*1.3 石巻市桃生町*1.3 大崎市田尻*1.2 登米市東和町*1.2 涌谷町新町=1.2 大崎市古川三日町=1.1 登米市南方町*1.1 大崎市古川北町*1.0 気仙沼市唐桑町*1.0 大崎市鳴子*1.0 登米市豊里町*0.9 栗原市瀬峰*0.9 登米市迫町*0.9 大崎市岩出山*0.9 栗原市花山*0.9 石巻市前谷地*0.9 石巻市門脇*0.8 南三陸町志津川=0.8 宮城加美町中新田*0.8 大崎市鹿島台*0.8 登米市米山町*0.8 登米市登米町*0.7 宮城川崎町前川*0.6 石巻市泉町=0.5 仙台青葉区大倉=0.5 秋田県 2 東成瀬村椿川*2.3 湯沢市皆瀬*1.9 湯沢市横堀*1.8 東成瀬村子内*1.8 湯沢市川連町*1.7 湯沢市沖鶴=1.7 湯沢市寺沢*1.7 1 横手市山内土沢*1.3 横手市安田柳堤地内*1.2 秋田美郷町土崎*1.1 横手市増田町増田*1.0 横手市平鹿町浅舞*1.0 横手市大雄*1.0 湯沢市佐竹町*1.0 大仙市高梨*1.0 仙北市西木町上桧木内*1.0 横手市大森町*0.9 横手市十字町*0.9 羽後町西馬音内*0.9 由利本荘市矢島町矢島町*0.8 北秋田市阿仁銀山*0.8 横手市雄物川町今宿=0.8 秋田美郷町六郷東根=0.7 由利本荘市鳥海町伏見*0.7 大仙市刈和野*0.7 横手市中央町*0.6 由利本荘市石脇=0.5	39° 02.6' N	140° 52.0' E	7km	M: 4.4
7	3 10 00	熊本県熊本地方 熊本県 1 菊池市旭志*1.3	32° 55.4' N	130° 52.0' E	12km	M: 2.4
8	4 00 36	伊豆半島東方沖 静岡県 1 熱海市泉*0.5	35° 05.5' N	139° 09.0' E	4km	M: 1.9
9	4 08 25	山形県庄内地方 岩手県 1 釜石市中妻町*0.7 山田町大沢*0.7 大船渡市大船渡町=0.6 宮城県 1 気仙沼市笹が陣*0.8 気仙沼市赤岩=0.7 南三陸町歌津*0.5	38° 26.6' N	139° 54.8' E	149km	M: 4.4
10	4 18 41	兵庫県南東部 兵庫県 2 西宮市平木*2.0 宝塚市東洋町*1.8 西宮市宮前町=1.5 1 三田市下里*1.4 西宮市名塩*1.3 神戸灘区神ノ木=1.3 川西市中央町*1.1 神戸中央区脇浜=1.1 芦屋市精道町*1.0 三田市下深田=0.9 篠山市宮田*0.7 神戸長田区神楽町=0.6 神戸東灘区魚崎北町=0.5 尼崎市昭和通*0.5 京都府 1 亀岡市安町=0.7 大阪府 1 能勢町今西*1.2 池田市城南*0.6 岸和田市土生町*0.5 箕面市箕面=0.5 箕面市粟生外院*0.5 香川県 1 小豆島町馬木*0.5	34° 47.6' N	135° 19.5' E	8km	M: 3.3
11	4 22 22	青森県東方沖 北海道 1 函館市泊町*1.0 恵庭市京町*0.6 青森県 1 東通村砂子又*1.4 東通村小田野沢*1.1	41° 32.8' N	142° 06.0' E	64km	M: 3.9
12	5 01 39	新島・神津島近海 東京都 2 新島村式根島=1.9 1 新島村本村*1.4	34° 20.2' N	139° 14.0' E	7km	M: 2.4
13	5 14 22	<b>北海道東方沖</b> 北海道 3 根室市瑠瑠瑠*2.9 根室市落石東*2.8 中標津町丸山*2.7 2 標津町北2条*2.4 標茶町塘路*2.3 浜中町霧多布*2.2 羅臼町岬町*2.2 根室市牧の内*2.2 別海町本別海*2.1 根室市厚床*2.1 別海町常盤=2.0 別海町西春別*1.9 鶴居村鶴居東*1.8 釧路市黒金町*1.8 中標津町養老牛=1.7 浦幌町桜町*1.6 釧路市幸町=1.6 斜里町本町=1.6 釧路市阿寒町中央*1.6 斜里町ウトロ香川*1.6 厚岸町尾幌=1.5 根室市弥栄=1.5 根室市豊里=1.5 十勝大樹町生花*1.5 羅臼町緑町*1.5 1 十勝池田町西1条*1.4 弟子屈町弟子屈*1.4 釧路市音別町直別*1.4 釧路町別保*1.4 白糠町西1条*1.4 標津町薫別*1.4 清里町羽衣町*1.3 厚岸町真栄町*1.3 弟子屈町美里=1.2 標茶町川上*1.2 十勝清水町南4条=1.1 弟子屈町サワチサップ*1.1 羅臼町春日=1.1 足寄町南1条*1.0 本別町向陽町*1.0 新得町2条*1.0 小清水町小清水*0.9 大空町東藻琴*0.8 釧路市阿寒町阿寒湖温泉*0.8 幕別町本町*0.7 足寄町上螺湾=0.7 本別町北2丁目=0.7 鹿追町東町*0.7 大空町女満別西3条*0.7 函館市新浜町*0.6	43° 16.2' N	146° 52.1' E	62km	M: 5.5

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		豊頃町茂岩本町*0.6 芽室町東2条*0.6 浦河町潮見*0.6 更別村更別*0.6 幕別町志類錦町*0.6 函館市川汲町*0.5 十勝大樹町東本通*0.5 青森県 1 東通村小田野沢*0.9 東通村砂子又*0.9 野辺地町田狭沢*0.8 八戸市湊町*0.8 八戸市内丸*0.7 五戸町古館*0.7 東北町上北南*0.6 野辺地町野辺地*0.5 七戸町森ノ上*0.5 岩手県 1 盛岡市玉山区藪川*1.0 軽米町軽米*0.7 八幡平市田頭*0.5				
14	5 19 37	五島列島近海 長崎県 2 五島市岐宿町*2.1 五島市富江町繁敷*1.9 五島市上大津町*1.6 1 五島市木場町*1.0 新上五島町若松*1.0 新上五島町有川*0.9 松浦市志佐町*0.6	32° 26.2' N	128° 49.5' E	16km	M: 4.1
15	6 01 25	天草灘 熊本県 1 天草市天草町*0.5	32° 27.9' N	129° 57.5' E	14km	M: 2.3
16	6 07 19	千葉県北西部 茨城県 2 鉾田市当間*1.8 取手市井野*1.5 つくば市小茎*1.5 取手市寺田*1.5 1 石岡市柿岡*1.3 つくば市谷田部*1.3 坂東市岩井*1.3 土浦市常名*1.3 土浦市下高津*1.3 石岡市八郷*1.2 牛久市中央*1.2 つくばみらい市福田*1.2 阿見町中央*1.1 小美玉市小川*1.1 稲敷市江戸崎甲*1.1 筑西市門井*1.1 茨城鹿嶋市鉢形*1.0 笠間市中央*1.0 つくばみらい市加藤*1.0 守谷市大柏*1.0 笠間市石井*1.0 小美玉市上玉里*1.0 稲敷市役所*1.0 常総市水海道諏訪町*0.9 つくば市天王台*0.9 桜川市真壁*0.9 桜川市羽田*0.9 桜川市岩瀬*0.8 美浦村受領*0.8 利根町布川*0.8 小美玉市堅倉*0.8 坂東市役所*0.7 かすみがうら市上土田*0.7 筑西市舟生*0.7 筑西市海老ヶ島*0.7 鉾田市鉾田*0.6 埼玉県 2 宮代町笠原*1.8 1 草加市高砂*1.1 春日部市中央*1.0 春日部市金崎*1.0 春日部市谷原新田*1.0 越谷市越ヶ谷*0.9 さいたま大宮区天沼町*0.9 久喜市下早見*0.8 さいたま浦和区高砂*0.8 戸田市上戸田*0.7 川口市中青木分室*0.7 久喜市青葉*0.6 埼玉三芳町藤久保*0.5 千葉県 2 千葉花見川区花島町*1.8 成田市花崎町*1.7 千葉中央区都町*1.7 千葉美浜区真砂*1.7 千葉緑区おゆみ野*1.6 市原市姉崎*1.5 千葉若葉区小倉台*1.5 1 千葉稲毛区園生町*1.4 千葉美浜区稲毛海岸*1.4 千葉佐倉市海隣寺町*1.4 市川市八幡*1.3 成田市中台*1.3 浦安市猫実*1.3 木更津市役所*1.3 千葉中央区中央港*1.3 船橋市湊町*1.2 成田国際空港*1.2 香取市佐原下川岸*1.2 柏市旭町*1.2 白井市復*1.2 君津市久留里市場*1.2 富津市下飯野*1.2 大多喜町大多喜*1.2 富里市七栄*1.1 東金市日吉台*1.1 芝山町小池*1.1 長南町長南*1.1 成田市役所*1.1 習志野市鷺沼*1.1 流山市平和台*1.1 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*1.1 南房総市富浦町青木*1.0 長柄町大津倉*1.0 香取市役所*1.0 印西市笠神*1.0 千葉栄町安食台*1.0 多古町多古*0.9 木更津市太田*0.9 香取市仁良*0.9 茂原市道表*0.9 八街市八街*0.9 東金市東新宿*0.9 東金市東岩崎*0.9 柏市大島田*0.8 我孫子市我孫子*0.8 四街道市鹿渡*0.8 印西市美瀬*0.8 千葉酒々井町中央*0.8 成田市松子*0.7 香取市佐原諏訪台*0.6 君津市久保*0.6 千葉一宮町一宮*0.6 館山市長須賀*0.6 長生村本郷*0.5 東京都 2 東京荒川区東尾久*1.8 東京葛飾区立石*1.8 東京中央区勝どき*1.7 東京台東区千束*1.7 東京墨田区東向島*1.7 東京江戸川区中央*1.7 東京江戸川区船堀*1.7 東京江戸川区鹿骨*1.6 東京墨田区吾妻橋*1.5 東京江東区枝川*1.5 東京大田区本羽田*1.5 東京荒川区荒川*1.5 1 東京文京区本郷*1.4 東京足立区神明南*1.4 東京千代田区大手町*1.3 東京江東区東陽*1.3 東京品川区北品川*1.3 東京北区西ヶ原*1.3 東京足立区千住*1.3 東京江東区森下*1.2 東京江東区亀戸*1.2 東京国際空港*1.2 東京世田谷区中町*1.2 東京渋谷区宇田川町*1.2 東京大田区多摩川*1.1 東京世田谷区三軒茶屋*1.1 東京足立区伊興*1.1 小平市小川町*1.1 東京千代田区九段南*1.1 東京港区南青山*1.1 東京目黒区中央町*1.1 東京新宿区上落合*1.0 東京文京区スポーツセンタ*1.0 東京文京区大塚*1.0 東京大田区大森東*0.9 東京中野区中野*0.9 町田市中町*0.9 東京中央区日本橋兜町*0.8 東京新宿区百人町*0.8 東京北区赤羽南*0.8 東京品川区広町*0.8 東京千代田区麴町*0.8 東大和市中央*0.7 東京杉並区高井戸*0.7 東京練馬区東大泉*0.7 八王子市堀之内*0.6 町田市役所*0.6 東京港区芝公園*0.6 西東京市中町(旧)*0.5 狛江市和泉本町*0.5 伊豆大島町波浮港*0.5 東京板橋区板橋*0.5 武蔵野市吉祥寺東町*0.5 三鷹市野崎*0.5 東京世田谷区世田谷*0.5 国分寺市戸倉*0.5 神奈川県 2 横浜神奈川区神大寺*1.7 横浜緑区白山*1.7 横浜鶴見区馬場*1.6 横浜中区山手町*1.6 川崎川崎区宮前町*1.6 横浜神奈川区白幡上町*1.5 横浜中区山下町*1.5 横浜港北区日吉本町*1.5 1 横浜青葉区市ヶ尾町*1.4 川崎川崎区千鳥町*1.4 川崎中原区小杉町*1.4 横浜西区浜松町*1.3 川崎川崎区中島*1.3 三浦市城山町*1.3 横浜中区山吹町*1.2 横浜保土ヶ谷区上菅田町*1.2 横浜緑区十日市場町*1.2 川崎宮前区宮前平*1.2 横浜南区別所*1.1 横浜港南区丸山台東部*1.1 川崎幸区戸手本町*1.1 横浜磯子区洋光台*1.0 横浜戸塚区平戸町*1.0 大和市下鶴間*1.0 横浜西区みなとみらい*0.9 横浜中区日本大通*0.9 横浜旭区今宿東町*0.9 横浜保土ヶ谷区神戸町*0.8 横浜金沢区白帆*0.8 横浜瀬谷区中屋敷*0.8 川崎中原区小杉陣屋町*0.8 横浜旭区大池町*0.7 横須賀市光の丘*0.7 茅ヶ崎市茅ヶ崎*0.6 箱根町湯本*0.6 栃木県 1 真岡市石島*1.2 宇都宮市明保野町*0.9 栃木市旭町*0.7 真岡市田町*0.7 芳賀町祖母井*0.7 益子町益子*0.5 山梨県 1 富士河口湖町船津*0.7 静岡県 1 東伊豆町奈良本*0.9				
17	6 08 52	愛知県東部 愛知県 1 新城市作手高里*1.1	34° 43.4' N	137° 24.6' E	38km	M: 2.8

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
18	6 09 07	<b>奄美大島近海</b> 鹿児島県 3 奄美市笠利町里* = 2.9 2 奄美市名瀬港町 = 2.2 奄美市名瀬幸町* = 2.0 瀬戸内町西古見 = 1.9 奄美市住用町西仲間* = 1.9 喜界町滝川 = 1.7 龍郷町屋入 = 1.7 喜界町湾* = 1.5 大和村思勝* = 1.5 1 宇検村湯湾* = 1.4 瀬戸内町古仁屋* = 1.3 瀬戸内町加計呂麻島* = 1.3 瀬戸内町与路島* = 1.1 天城町平土野* = 1.0 伊仙町伊仙* = 0.8	28° 19.7' N	129° 37.3' E	56km	M: 4.3
19	6 21 12	山梨県中・西部 静岡県 1 富士宮市野中* = 1.1	35° 14.2' N	138° 26.6' E	18km	M: 2.1
20	7 00 06	熊本県熊本地方 熊本県 1 菊池市旭志* = 1.1 菊池市泗水町* = 0.7	32° 59.2' N	130° 49.8' E	11km	M: 2.5
21	7 07 43	島根県東部 島根県 2 雲南市掛合町掛合* = 2.1 島根美郷町邑智高校* = 1.8 出雲市佐田町反辺* = 1.5 飯南町頓原* = 1.5 出雲市湖陵町二部* = 1.5 島根美郷町粕淵* = 1.5 1 雲南市吉田町吉田* = 1.3 奥出雲町三成* = 1.3 邑南町下口羽* = 0.9 雲南市三刀屋町三刀屋* = 0.8 広島県 1 庄原市高野町* = 0.9 広島三次市三次町* = 0.6 広島三次市作木町* = 0.5	35° 07.4' N	132° 44.3' E	10km	M: 3.5
22	7 13 22	橘湾 長崎県 1 雲仙市小浜町雲仙 = 0.5	32° 41.9' N	130° 09.4' E	15km	M: 1.9
23	7 14 01	岩手県内陸南部 岩手県 2 奥州市衣川区* = 2.4 奥州市胆沢区* = 2.1 一関市山目* = 2.0 平泉町平泉* = 1.5 一関市花泉町* = 1.5 1 一関市千厩町* = 1.4 一関市室根町* = 1.4 奥州市前沢区* = 1.3 奥州市水沢区大鐘町 = 1.3 陸前高田市高田町* = 1.0 奥州市水沢区佐倉河* = 1.0 奥州市江刺区* = 1.0 金ヶ崎町西根* = 0.9 藤沢町藤沢* = 0.9 釜石市中妻町* = 0.8 遠野市宮守町* = 0.8 大船渡市大船渡町 = 0.7 山田町大沢* = 0.5 一関市川崎町* = 0.5 宮城県 2 栗原市栗駒 = 2.1 栗原市築館* = 1.7 栗原市高清水* = 1.7 栗原市鶯沢* = 1.7 栗原市金成* = 1.7 栗原市一迫* = 1.6 登米市中田町 = 1.6 大崎市古川三日町 = 1.5 1 栗原市志波姫* = 1.4 登米市迫町* = 1.4 南三陸町歌津* = 1.4 石巻市桃生町* = 1.4 涌谷町新町 = 1.3 大崎市岩出山* = 1.3 栗原市若柳* = 1.3 仙台青葉区作並* = 1.2 気仙沼市赤岩 = 1.2 登米市石越町* = 1.2 気仙沼市笹ヶ陣* = 1.1 大崎市古川北町* = 1.1 登米市南方町* = 1.1 大崎市田尻* = 1.1 気仙沼市唐桑町* = 1.0 仙台青葉区大倉 = 1.0 宮城加美町中新田* = 1.0 色麻町四籠* = 1.0 宮城美里町北浦* = 1.0 登米市登米町* = 0.9 栗原市花山* = 0.9 名取市増田* = 0.9 宮城川崎町前川* = 0.9 登米市東和町* = 0.9 大衡村大衡* = 0.8 登米市豊里町* = 0.8 登米市米山町* = 0.8 大崎市鳴子* = 0.8 宮城加美町小野田* = 0.8 栗原市瀬峰* = 0.7 蔵王町円田* = 0.7 石巻市門脇* = 0.7 石巻市前谷地* = 0.7 大河原町新南* = 0.7 東松島市矢本* = 0.7 仙台泉区将監* = 0.6 柴田町船岡 = 0.6 南三陸町志津川 = 0.5 秋田県 1 東成瀬村田子内* = 1.4 東成瀬村椿川* = 1.2 横手市山内土淵* = 1.1 湯沢市皆瀬* = 1.1 湯沢市川連町* = 1.0 湯沢市横堀* = 0.9 湯沢市沖鶴 = 0.6 湯沢市寺沢* = 0.6	39° 05.0' N	140° 55.8' E	7km	M: 4.2
24	8 06 42	千葉県北東部 千葉県 1 勝浦市新官* = 1.0 千葉一宮町一宮 = 0.6 勝浦市墨名 = 0.5	35° 23.3' N	140° 21.5' E	59km	M: 3.1
25	8 18 36	岩手県内陸南部 岩手県 1 奥州市衣川区* = 0.6	39° 03.5' N	140° 51.7' E	8km	M: 2.8
26	8 19 47	<b>十勝沖</b> 北海道 3 広尾町西 4 条* = 2.6 2 釧路市音別町直別* = 2.2 十勝大樹町生花* = 1.8 浦幌町桜町* = 1.8 十勝池田町西 1 条* = 1.7 1 えりも町目黒* = 1.4 広尾町並木通 = 1.3 幕別町忠類錦町* = 1.1 本別町向陽町* = 1.0 幕別町本町* = 0.9 十勝大樹町東本通* = 0.9 豊頃町茂岩本町* = 0.9 更別村更別* = 0.5 標茶町塘路* = 0.5	42° 20.4' N	143° 47.6' E	55km	M: 4.1
27	9 06 49	岩手県内陸南部 岩手県 1 奥州市衣川区* = 1.4	39° 04.9' N	140° 55.7' E	7km	M: 3.2
28	9 12 53	静岡県西部 静岡県 1 浜松天竜区春野町* = 0.5	34° 53.7' N	137° 58.8' E	16km	M: 2.5
29	9 18 00	島根県東部 島根県 2 雲南市掛合町掛合* = 1.9 出雲市佐田町反辺* = 1.8 飯南町頓原* = 1.7 奥出雲町三成* = 1.6 島根美郷町邑智高校* = 1.5 1 雲南市吉田町吉田* = 1.4 雲南市三刀屋町三刀屋* = 1.4 島根美郷町粕淵* = 1.1 雲南市木次町木次* = 1.0 出雲市湖陵町二部* = 1.0 島根美郷町都賀本郷* = 0.9 奥出雲町横田* = 0.8 出雲市塩冶有原町* = 0.6 出雲市大社町杵築南* = 0.6 広島県 2 庄原市高野町* = 2.0 鳥取県 1 日南町生山* = 0.7 日南町霞* = 0.5	35° 08.5' N	132° 46.9' E	9km	M: 3.6
30	9 22 30	島根県東部 島根県 1 雲南市掛合町掛合* = 0.5	35° 08.6' N	132° 46.9' E	9km	M: 2.5
31	9 22 41	奈良県 1 34° 24.7' N 135° 52.4' E	34° 24.7' N	135° 52.4' E	9km	M: 3.0

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
		奈良県 2 吉野町上市*=2.4 1 高取町観覚寺*=1.2 東吉野村小川*=1.2 天川村沢谷*=1.1 宇陀市大字陀区迫間*=1.0 黒滝村寺戸*=0.8 大淀町椋本=0.6				
32	10 01 56	奄美大島北東沖 鹿児島県 1 鹿児島十島村悪石島*=0.6	29° 34.9' N	130° 04.4' E	23km	M: 3.5
33	10 15 43	熊本県熊本地方 熊本県 1 熊本市東町*=0.6	32° 46.0' N	130° 49.2' E	12km	M: 2.5
34	10 16 27	鹿児島湾 鹿児島県 1 鹿児島市喜入町*=0.7	31° 20.4' N	130° 34.4' E	7km	M: 2.6
35	10 18 40	沖縄本島近海 沖縄県 2 伊是名村仲田*=1.7 伊平屋村我喜屋=1.6 本部町役場*=1.5 1 伊平屋村役場*=1.4 今帰仁村仲宗根*=0.7 国頭村辺土名*=0.6 鹿児島県 1 与論町茶花*=0.5	27° 03.5' N	127° 59.3' E	16km	M: 4.1
36	11 12 18	<b>秋田県内陸南部</b> 秋田県 3 湯沢市横堀*=2.6 1 湯沢市寺沢*=1.4 湯沢市沖鶴=1.2 羽後町西馬音内*=1.1 湯沢市皆瀬*=1.0 湯沢市佐竹町*=0.7 宮城県 1 大崎町鳴子*=0.7 山形県 1 舟形町舟形*=1.2 戸沢村古口*=0.8 山形金山町金山*=0.6	<b>38° 57.3' N</b>	<b>140° 34.9' E</b>	<b>2km</b>	<b>M: 4.0</b>
37	11 12 29	秋田県内陸南部 秋田県 1 湯沢市横堀*=0.9	38° 57.3' N	140° 34.9' E	3km	M: 2.8
38	12 01 37	父島近海 東京都 2 小笠原村父島三日月山=1.7 小笠原村父島西町=1.5 1 小笠原村母島=1.1	26° 38.8' N	143° 09.3' E	56km	M: 5.3
39	12 01 58	父島近海 東京都 2 小笠原村父島三日月山=1.7 1 小笠原村父島西町=1.3 小笠原村母島=1.1	26° 34.8' N	142° 52.4' E	93km	M: 5.0
40	12 14 00	徳島県北部 徳島県 1 美馬市木屋平*=0.6	33° 59.1' N	134° 16.9' E	7km	M: 2.2
41	13 00 44	<b>奄美大島北西沖</b> 鹿児島県 3 奄美市名瀬港町=2.5 2 奄美市名瀬幸町*=2.1 奄美市笠利町里*=1.9 瀬戸内町与路島*=1.5 1 宇検村湯湾*=1.4 瀬戸内町西古見=1.2 鹿児島十島村悪石島*=0.9 大和村思勝*=0.9 喜界町滝川=0.9	<b>28° 49.2' N</b>	<b>128° 38.9' E</b>	<b>17km</b>	<b>M: 5.2</b>
42	13 06 12	福島県会津 福島県 1 檜枝岐村上河原*=0.7	37° 04.9' N	139° 22.7' E	9km	M: 2.1
43	13 12 32	<b>福島県沖</b> 福島県 5 弱 相馬市中村*=4.5 浪江町幾世橋=4.5 4 南相馬市小高区*=4.4 川内村上川内早渡*=4.2 葛尾村落合落合*=4.2 田村市都路町*=4.1 国見町藤田*=4.0 榊葉町北田*=4.0 双葉町新山*=4.0 南相馬市原町区高見町*=4.0 南相馬市鹿島区*=4.0 福島伊達市月館町*=3.9 田村市滝根町*=3.9 大熊町下野上*=3.8 南相馬市原町区三島町=3.8 川内村上川内小山平*=3.8 福島広野町下北迫大谷地原*=3.7 小野町小野新町*=3.7 飯館村伊丹沢*=3.7 川俣町五百田*=3.6 新地町谷地小屋*=3.6 いわき市三和町=3.6 南相馬市原町区本町*=3.6 福島市松木町=3.6 白河市新白河*=3.6 大熊町野上*=3.6 平田村永田*=3.5 古殿町松川*=3.5 田村市大越町*=3.5 福島市五老内町*=3.5 本宮市糠沢*=3.5 いわき市平梅本*=3.5 二本松市針道*=3.5 桑折町東大隅*=3.5 郡山市朝日=3.4 郡山市湖南町*=3.4 須賀川市八幡山*=3.4 玉川村小高*=3.4 田村市常葉町*=3.4 本宮市本宮*=3.4 いわき市平四ツ波*=3.4 富岡町本岡*=3.4 川内村下川内=3.4 白河市東*=3.3 二本松市油井*=3.3 中島村滑津*=3.3 田村市船引町=3.3 福島伊達市前川原*=3.3 いわき市小名浜=3.3 福島広野町下北迫苗代替*=3.3 福島市桜木町*=3.3 白河市表郷*=3.3 小野町中通*=3.2 猪苗代町千代田*=3.2 福島伊達市保原町*=3.2 福島伊達市霊山町*=3.2 天栄村下松本*=3.1 福島市飯野町*=3.1 郡山市開成*=3.1 福島伊達市梁川町*=3.1 須賀川市八幡町*=3.1 須賀川市岩瀬支所*=3.1 いわき市錦町*=3.1 大玉村玉井*=3.1 鏡石町不時沼*=3.0 石川町下泉*=3.0 猪苗代町城南=3.0 浅川町浅川*=3.0 会津美里町新鶴庁舎*=3.0 大玉村曲藤=2.9 二本松市金色*=2.8 白河市郭内=2.8 西郷村熊倉*=2.8 矢吹町一本木*=2.8 三春町大町*=2.7 会津坂下町市中三番甲*=2.7 湯川村笈川*=2.7 泉崎村泉崎*=2.7 棚倉町棚倉中居野=2.7 矢祭町東館下上野内*=2.7 矢祭町東館本*=2.7 須賀川市長沼支所*=2.6 磐梯町磐梯*=2.5 2 白河市八幡小路*=2.4 白河市大信*=2.3 二本松市小浜*=2.3 西会津町登世島*=2.3 会津若松市北会津町*=2.2 喜多方市塩川町*=2.2 会津若松市材木町=2.2 会津若松市東栄町*=2.2 柳津町柳津*=2.1 喜多方市高郷町*=2.1 下郷町高陸*=2.1 西会津町野沢=2.0 会津美里町高田庁舎*=2.0 会津美里町本郷庁舎*=2.0 鮫川村赤坂中野*=2.0 棚倉町棚倉ヶ丘*=1.9 塙町塙*=1.9 会津若松市河東町*=1.8 下郷町塩生*=1.8 喜多方市山都町*=1.7 南会津町田島=1.7	<b>37° 23.7' N</b>	<b>141° 47.7' E</b>	<b>40km</b>	<b>M: 6.2</b>

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		喜多方市御清水*=1.6 1 喜多方市熱塩加納町*=1.4 南会津町界*=1.4 喜多方市松山町*=1.3 只見町只見*=1.3 北塩原村北山*=1.3 福島昭和村下中津川*=1.3 南会津町滝原*=1.2 柳津町大沢=1.1 三島町宮下*=1.1 南会津町古町*=1.0 檜枝岐村上河原*=0.8 福島金山町川口*=0.7 4 角田市角田*=4.3 宮城川崎町前川*=4.2 山元町浅生原*=4.2 岩沼市桜*=4.2 丸森町鳥屋*=4.1 蔵王町円田*=4.1 松島町高城=4.0 利府町利府*=4.0 大河原町新南*=4.0 互理町下小路*=4.0 白石市互理町*=4.0 仙台青葉区作並*=4.0 仙台宮城野区苦竹*=3.8 仙台若林区遠見塚*=3.8 石巻市桃生町*=3.8 仙台空港=3.8 大崎市松山*=3.8 宮城美里町木間塚*=3.7 仙台青葉区雨宮*=3.7 仙台宮城野区五輪=3.7 東松島市矢本*=3.6 名取市増田*=3.6 仙台青葉区落合*=3.6 栗原市金成*=3.6 大崎市鹿島台*=3.5 宮城加美町中新田*=3.5 登米市迫町*=3.5 村田町村田*=3.5 色麻町四竈*=3.5 涌谷町新町=3.5 3 大崎市古川三日町=3.4 丸森町上滝=3.4 仙台太白区山田*=3.4 塩竈市旭町*=3.4 大衡村大衡*=3.4 大崎市田尻*=3.3 大郷町粕川*=3.3 七ヶ宿町関*=3.3 登米市中田町=3.3 仙台青葉区大倉=3.3 大崎市古川北町*=3.3 石巻市門脇*=3.3 栗原市若柳*=3.2 栗原市志波姫*=3.2 仙台泉区将監*=3.2 宮城加美町小野田*=3.2 登米市米山町*=3.2 登米市南方町*=3.2 富谷町富谷*=3.1 石巻市前谷地*=3.1 登米市豊里町*=3.1 七ヶ浜町東宮浜*=3.1 栗原市瀬峰*=3.1 栗原市築館*=3.0 東松島市小野*=3.0 大和町吉岡*=3.0 大崎市三本木*=3.0 南三陸町志津川=3.0 宮城美里町北浦*=3.0 石巻市北上町*=3.0 石巻市相野谷*=3.0 柴田町船岡=3.0 女川町女川浜*=2.9 栗原市一迫*=2.9 登米市登米町*=2.8 栗原市高清水*=2.8 気仙沼市笹が陣*=2.7 宮城加美町宮崎*=2.7 南三陸町歌津*=2.7 登米市東和町*=2.6 栗原市栗駒=2.6 登米市石越町*=2.6 多賀城市中央*=2.6 石巻市泉町=2.6 大崎市鳴子*=2.6 気仙沼市赤岩=2.5 石巻市鮎川浜*=2.5 2 大崎市岩出山*=2.4 石巻市大瓜=2.4 気仙沼市唐桑町*=2.3 栗原市鶯沢*=2.3 栗原市花山*=2.3 登米市津山町*=2.2 石巻市雄勝町*=2.2 気仙沼市本吉町*=1.9 4 上山市河崎*=3.6 中山町長崎*=3.6 3 米沢市林泉寺*=3.4 高島町高島*=3.4 天童市老野森*=3.3 山辺町緑ヶ丘*=3.2 山形市薬師町*=3.1 米沢市駅前=3.1 南陽市三間通*=3.1 山形市旅籠町*=3.0 東根市中央*=3.0 山形川西町上小松*=2.9 河北町役場*=2.8 米沢市金池*=2.8 山形市緑町=2.8 河北町谷地=2.8 寒河江市中央*=2.7 村山市中央*=2.7 最上町向町*=2.6 2 大蔵村肘折*=2.4 西川町大井沢*=2.4 山形朝日町宮宿*=2.4 長井市ままの上*=2.4 酒田市飛鳥*=2.3 三川町横山*=2.3 大江町左沢*=2.3 尾花沢市若葉町*=2.3 白鷹町黒鴨=2.3 遊佐町遊佐=2.2 遊佐町舞鶴*=2.2 寒河江市西根*=2.2 大石町緑町*=2.2 鶴岡市藤島*=2.2 山形小国町岩井沢=2.1 山形小国町小国小坂町*=2.1 庄内町余目*=2.1 飯豊町椿*=2.1 大蔵村清水*=2.1 酒田市亀ヶ崎=2.1 酒田市山田*=2.1 舟形町舟形*=2.0 新庄市沖の町*=2.0 庄内町狩川*=1.9 新庄市東谷地田町=1.9 真室川町新町*=1.9 戸沢村古口*=1.9 西川町海味*=1.8 新庄市堀端町*=1.8 鶴岡市温海川=1.8 飯豊町上原*=1.8 鶴岡市道田町*=1.8 酒田市宮野浦*=1.8 鮭川村佐渡*=1.8 酒田市本町*=1.8 鶴岡市上山添*=1.5 1 鶴岡市馬場町=1.3 山形金山町金山*=1.3 山形金山町中田=0.9 庄内町清川*=0.8 4 日立市役所*=3.8 笠間市石井*=3.5 大子町池田*=3.5 3 日立市十王町友部*=3.4 常陸大宮市野口*=3.4 水戸市内原町*=3.3 日立市助川小学校*=3.3 常陸太田市高柿町*=3.3 常陸太田市金井町*=3.2 那珂市瓜連*=3.2 笠間市中央*=3.1 常陸大宮市山方*=3.1 桜川市岩瀬*=3.1 鉾田市当間*=3.1 高萩市安良川*=3.0 高萩市本町*=3.0 北茨城市磯原町*=3.0 城里町石塚*=3.0 城里町阿波山*=3.0 小美玉市堅倉*=3.0 常陸太田市大中町*=2.9 つくば市谷田部*=2.9 桜川市真壁*=2.9 桜川市羽田*=2.9 ひたちなか市南神敷台*=2.8 東海村東海*=2.8 那珂市福田*=2.8 水戸市金町=2.8 水戸市中央*=2.8 土浦市常名=2.8 筑西市舟生=2.8 笠間市下郷*=2.7 茨城町小堤*=2.7 常陸大宮市北町*=2.7 水戸市千波町*=2.7 小美玉市小川*=2.7 小美玉市上玉里*=2.7 石岡市柿岡=2.7 石岡市八郷*=2.7 取手市井野*=2.7 稲敷市役所*=2.7 鉾田市波上*=2.6 常陸大宮市上小瀬*=2.6 取手市藤代*=2.6 坂東市馬立*=2.6 坂東市山*=2.6 筑西市門井*=2.6 常陸大宮市中富町=2.5 鉾田市鉾田=2.5 石岡市石岡*=2.5 常総市水海道諏訪町*=2.5 つくばみらい市福田*=2.5 取手市寺田*=2.5 常陸大宮市高部*=2.5 つくば市天王台*=2.5 茨城鹿嶋市鉢形=2.5 美浦村受領*=2.5 稲敷市結佐*=2.5 ひたちなか市東石川*=2.5 2 常陸太田市町田町*=2.4 下妻市鬼怒*=2.4 五霞町小福田*=2.4 守谷市大柏*=2.4 稲敷市江戸崎甲*=2.4 かすみがうら市上土田*=2.4 行方市麻生*=2.4 行方市山田*=2.4 常総市新石下*=2.4 つくばみらい市加藤*=2.4 結城市結城*=2.3 つくば市小莖*=2.3 茨城鹿嶋市宮中*=2.3 潮来市辻*=2.3 筑西市海老ヶ島*=2.3 行方市玉造*=2.3 鉾田市造谷*=2.3 常陸太田市町屋町=2.3 阿見町中央*=2.2 河内町源清田*=2.2 利根町布川=2.2 筑西市下山*=2.2 神栖市溝口*=2.2 茨城古河市下大野*=2.1 龍ヶ崎市寺後*=2.1 下妻市本城町*=2.1 牛久市中央*=2.1 境町旭町*=2.1 坂東市岩井=2.1 坂東市役所*=2.1 稲敷市柴崎*=2.1 城里町徳蔵*=2.0 稲敷市須賀津*=1.9 八千代町菅谷*=1.9 茨城古河市長谷町*=1.8 神栖市波崎*=1.6 大洗町磯浜町*=1.5 4 大田原市湯津上*=3.8 高根沢町石末*=3.7 3 市貝町市塙*=3.4 宇都宮市白沢町*=3.3 宇都宮市明保野町=3.2 鹿沼市晃望台*=3.2 芳賀町祖母井*=3.2 那須烏山市中央=3.2 日光市今市本町*=3.1 那須町寺子*=3.1 真岡市石島*=3.1 栃木那珂川町小川*=3.1 日光市瀬川=3.0 塩谷町玉生*=3.0 茂木町茂木*=3.0 矢板市本町*=2.9 那須烏山市大金*=2.9 栃木那珂川町馬頭*=2.9 大田原市本町*=2.9 真岡市田町*=2.8 真岡市荒町*=2.8 栃木さくら市氏家*=2.8 栃木さくら市喜連川*=2.8 日光市鬼怒川温泉大原*=2.7 大田原市黒羽田町=2.7 那須塩原市あたご町*=2.7 宇都宮市中里町*=2.7 鹿沼市今宮町*=2.7 益子町益子=2.6 宇都宮市塙田*=2.6 下野市小金井*=2.6 宇都宮市旭*=2.6 小山市神鳥谷*=2.5 那須烏山市役所*=2.5 那須塩原市鍋掛*=2.5 那須塩原市共興社*=2.5 那須塩原市塩原庁舎*=2.5 2 那須塩原市暮沼=2.3 岩舟町静*=2.3 下野市田中*=2.3 日光市中鉢石町*=2.2 下野市石橋*=2.2 足利市大正町*=2.1 栃木市旭町=2.1 鹿沼市口栗野*=2.1 野木町丸林*=2.1 那須塩原市中塩原*=2.0 栃木市大平町富田*=2.0 栃木市藤岡町藤岡*=2.0 佐野市葛生東*=2.0 小山市中央町*=2.0 佐野市高砂町*=1.9 壬生町通町*=1.9 栃木市都賀町家中*=1.8 上三川町しらさぎ*=1.8				

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		<p>佐野市田沼町*1.7 西方町本城*1.7 日光市足尾町中才*1.7 日光市足尾町松原*1.7                      栃木市入舟町*1.7 佐野市中町*1.6 日光市湯元*1.6 日光市日蔭*1.6 日光市藤原*1.6                      1 日光市中宮祠=1.4                      3 矢巾町南矢幅*3.0 藤沢町藤沢*2.9 陸前高田市高田町*2.9 一関市室根町*2.9                      大槌町新町*2.8 奥州市前沢区*2.8 花巻市東和町*2.7 一関市花泉町*2.7                      盛岡市玉山区薮川*2.7 普代村銅屋*2.7 一関市千厩町*2.6 金ヶ崎町西根*2.5                      平泉町平泉*2.5 一関市山目*2.5 野田村野田*2.5 奥州市胆沢区*2.5 釜石市中妻町*2.5                      遠野市松崎町*2.5</p> <p>2 大船渡市大船渡町=2.4 滝沢村鶴飼*2.4 花巻市材木町*2.4 奥州市衣川区*2.4                      花巻市石鳥谷町*2.3 八幡平市野駄*2.3 奥州市水沢区大鐘町=2.3 紫波町日詰*2.2                      盛岡市山王町=2.2 盛岡市玉山区洪民*2.2 北上市柳原町=2.2 遠野市宮守町*2.2                      奥州市水沢区佐倉河*2.2 奥州市江刺区*2.2 八幡平市田頭*2.1 山田町大沢*2.1                      岩手町五日市*2.1 久慈市川崎町=2.0 花巻市大迫町=1.9 久慈市長内町*1.9 八幡平市大更=1.9                      宮古市五月町*1.8 宮古市門馬田代*1.8 一関市川崎町*1.8 雫石町刈田=1.8 釜石市只越町=1.7                      八幡平市叭田*1.7 二戸市浄法寺町*1.7 山田町八幡町=1.7 大船渡市猪川町=1.6                      一戸町高善寺*1.6 一関市大東町=1.6 一関市東山町*1.6 大船渡市盛町*1.6 住田町世田米*1.6                      軽米町軽米*1.6 宮古市田老*1.6 宮古市川井*1.6 二戸市福岡=1.5 盛岡市馬場町*1.5</p> <p>1 宮古市鎌ヶ崎=1.4 岩手洋野町種市=1.4 九戸村伊保内*1.4 花巻市大迫総合支所*1.4                      西和賀町沢内川舟*1.4 宮古市茂市*1.3 岩泉町岩泉*1.3 西和賀町川尻*1.3                      二戸市石切所*1.2 葛巻町葛巻元木=1.2 西和賀町沢内太田*1.2 宮古市長沢=1.2                      葛巻町消防分署*1.1 田野畑村田野畑=0.9 岩手洋野町大野*0.8</p> <p>3 前橋市富士見町*2.7 桐生市黒保根町*2.6 渋川市赤城町*2.6 邑楽町中野*2.6                      沼田市白沢町*2.5 渋川市吹屋*2.5</p> <p>2 高崎市高松町*2.4 大泉町日の出*2.4 桐生市元宿町*2.3 太田市西本町*2.3                      群馬千代田町赤岩*2.3 沼田市西倉内町=2.2 沼田市利根町*2.2 中之条町小雨*2.2                      前橋市粕川町*2.2 伊勢崎市西久保町*2.2 渋川市北橋町*2.2 前橋市堀越町*2.0                      桐生市織姫町=2.0 館林市城町*2.0 吉岡町下野田*2.0 群馬明和町新里*2.0                      沼田市下久屋町*2.0 みどり市笠懸町*1.9 伊勢崎市境*1.9 太田市浜町*1.8                      太田市粕川町*1.8 館林市美園町*1.8 安中市安中*1.8 板倉町板倉=1.8 太田市新田金井町*1.7                      片品村東小川=1.7 玉村町下新田*1.6 群馬昭和村糸井*1.6 太田市大原町*1.5                      渋川市伊香保町*1.5 藤岡市中栗須*1.5 高崎市足門町*1.5 みどり市大間々町*1.5</p> <p>1 前橋市駒形町*1.4 高崎山下室田*1.4 片品村鎌田*1.3 川場村谷地*1.3 前橋市昭和町=1.3                      前橋市大手町*1.3 渋川市石原*1.3 榛東村新井*1.3 みどり市東町*1.3 群馬高山村中山*1.2                      東吾妻町原町=1.2 高崎市新町*1.2 高崎市吉井町吉井川*1.2 富岡市妙義町*1.2                      安中市松井田町*1.2 甘楽町小幡*1.2 東吾妻町本宿*1.1 中之条町日影=1.0                      中之条町中之条町*1.0 渋川市村上*1.0 草津町草津*1.0 みなかみ町鹿野沢*1.0                      みなかみ町後閑*1.0 神流町生利*0.9 長野原町長野原*0.9 嬭恋村大前*0.9 富岡市七日市=0.9                      神流町神ヶ原*0.8 みなかみ町布施*0.7 群馬上野村川和*0.7 藤岡市鬼石*0.6</p> <p>3 宮代町笠原*2.6</p> <p>2 熊谷市大里*2.4 加須市大利根*2.4 春日部市中央*2.4 春日部市金崎*2.3                      春日部市谷原新田*2.3 久喜市下早見=2.2 久喜市青葉*2.2 久喜市栗橋*2.2 杉戸町清地*2.2                      さいたま中央区下落合*2.2 加須市騎西*2.1 加須市北川辺*2.1 鴻巣市中央*2.1                      鴻巣市吹上富士見*2.1 さいたま宮区天沼町*2.1 幸手市東*2.0 川島町平沼*2.0                      白岡町千駄野*2.0 行田市本丸*2.0 行田市南河原*2.0 加須市下三俣*2.0 鴻巣市川里*2.0                      久喜市鷲宮*2.0 吉見町下細谷*2.0 草加市高砂*2.0 吉川市吉川*1.9 熊谷市妻沼*1.9                      松伏町松伏*1.9 ときがわ町桃木*1.9 川口市中青木分室*1.9 戸田市上戸田*1.9                      志木市中宗岡*1.9 和光市広沢*1.9 八潮市中央*1.9 富士見市鶴馬*1.9                      さいたま岩槻区本町*1.8 東松山市松葉町*1.8 羽生市東*1.8 川口市青木*1.8                      越谷市越ヶ谷*1.8 桶川市泉*1.8 三郷市幸房*1.8 鶴ヶ島市三ツ木*1.8 熊谷市江南*1.8                      秩父市上町=1.7 上尾市本町*1.7 蓮田市黒浜*1.7 深谷市川本*1.7 久喜市菖蒲*1.7                      埼玉美里町木部*1.7 坂戸市千代田*1.6 毛呂山町岩井*1.6 深谷市花園*1.6                      さいたま浦和区高砂=1.6 秩父市近戸町*1.6 川越市新宿町*1.6 蕨市中央=1.6                      鳩ヶ谷市三ツ和*1.6 新座市野火止*1.6 熊谷市桜町=1.5 熊谷市宮町*1.5 滑川町福田*1.5                      伊奈町小室*1.5 埼玉三芳町藤久保*1.5 狭山市入間川*1.5 本庄市児玉町=1.5 本庄市本庄*1.5                      東松山市市ノ川*1.5 朝霞市本町*1.5 深谷市岡部*1.5 北本市本町*1.5</p> <p>1 嵐山町杉山*1.4 上里町七本木*1.4 秩父市熊木町*1.4 横瀬町横瀬*1.4 深谷市仲町*1.3                      鳩山町大豆戸=1.3 所沢市北有楽町*1.3 さいたま浦和区常盤*1.3 長瀨町野上下郷*1.3                      埼玉神川町植竹*1.2 入間市豊岡*1.2 日高市南平沢*1.2 越生町越生*1.2                      ふじみ野市福岡*1.2 川越市旭町=1.1 小川町大塚*1.1 飯能市名栗*1.0 小鹿野町小鹿野*1.0                      埼玉神川町下阿久原*1.0 ふじみ野市大井中央*0.9 東秩父村御堂*0.9 長瀨町本野上*0.8                      小鹿野町役場両神庁舎*0.8 寄居町寄居*0.7 所沢市並木*0.7 秩父市中津川*0.6                      飯能市征矢町*0.5 小鹿野町両神薄=0.5</p> <p>3 香取市佐原下川岸=2.6 千葉花見川区花島町*2.6 印西市大森*2.6 印西市美瀬*2.6                      千葉若葉区小倉台*2.5 八千代市大和田新田*2.5 印西市笠神*2.5</p> <p>2 香取市役所*2.4 成田市花崎町=2.4 旭市南堀之内*2.3 千葉中央区都町*2.3                      千葉美浜区真砂*2.3 野田市東宝珠花*2.3 香取市羽根川*2.2 千葉佐倉市海隣寺町*2.2                      習志野市鷺沼*2.2 千葉神崎町神崎本宿*2.1 野田市鶴奉*2.1 成田国際空港=2.1 柏市旭町=2.1                      白井市復*2.1 千葉栄町安食台*2.1 東金市日吉台*2.0 多古町多古=2.0 香取市仁良*2.0                      千葉中央区中央港=2.0 千葉中央区千葉市役所*2.0 千葉稲毛区園生町*2.0                      千葉美浜区稲毛海岸*2.0 成田市中台*2.0 成田市役所*2.0 四街道市鹿渡*2.0                      香取市佐原諏訪台*1.9 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*1.9 浦安市猫実*1.9 旭市萩園*1.8                      成田市松子*1.8 流山市平和台*1.8 我孫子市我孫子*1.8 富里市七栄*1.8                      いすみ市岬町長者*1.8 市原市姉崎*1.7 旭市ニ*1.7 八街市八街*1.7 東庄町笹川*1.7</p>				
		<p>岩手県</p>				
		<p>群馬県</p>				
		<p>埼玉県</p>				
		<p>千葉県</p>				



地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		<p>匠瑛市八日市場ハ*1.7 山武市蓮沼ハ*1.7 市川市八幡*1.7 柏市大島田*1.6 銚子市川口町*1.6 銚子市若宮町*1.6 銚子市南町*1.6 銚子市久間*1.6 旭市高生*1.6 九十九里町片貝*1.6 芝山町小池*1.6 白子町関*1.6 匠瑛市今泉*1.6 香取市岩部*1.6 横芝光町宮川*1.6 山武市殿台*1.6 山武市塩谷*1.6 船橋市湊町*1.6 千葉酒々井町中央*1.5 松戸市根本*1.5 東金市東新宿*1.5 柏市柏*1.5 長生村本郷*1.5</p> <p>1 東金市東岩崎*1.4 睦沢町下之郷*1.4 千葉緑区おゆみ野*1.4 成田市猿山*1.4 君津市久留里市場*1.4 市原市国分寺台中央*1.3 館山市北条*1.3 いすみ市国府台*1.3 長南町長南*1.3 横芝光町横芝*1.3 山武市松尾町松尾*1.3 茂原市道表*1.2 大網白里町大網*1.2 鴨川市横渚*1.2 君津市久保*1.1 富津市下飯野*1.1 千葉一宮町一宮*1.1 長柄町大津倉*1.1 木更津市太田*1.0 大多喜町大多喜*1.0 館山市長須賀*0.9 鴨川市八色*0.8 銚子市天王台*0.6 勝浦市新官*0.5</p> <p>3 見附市昭和町*3.3</p> <p>2 長岡市中之島*2.3 長岡市小島谷*2.3 村上市今宿*2.3 新潟北区葛塚*2.3 新発田市乙次*2.2 新発田市中央町*2.2 長岡市上岩井*2.1 長岡市山古志竹沢*2.1 新発田市住田*2.1 聖籠町諏訪山*2.1 三条市新堀*2.0 加茂市幸町*2.0 刈羽村割町新田*2.0 南魚沼市六日町*2.0 新発田市本町*2.0 阿賀野市岡山町*2.0 阿賀野市姥ヶ橋*2.0 阿賀町鹿瀬中学校*2.0 新潟南区白根*2.0 長岡市浦*1.9 長岡市金町*1.9 村上市岩沢*1.9 新潟東区古川町*1.9 新潟西区寺尾上*1.9 村上市府屋*1.8 五泉市太田*1.8 新潟中央区幸西*1.8 新潟秋葉区新津東町*1.8 長岡市寺泊敦ヶ菅根*1.7 村上市片町*1.7 弥彦村矢作*1.7 関川村下関*1.7 阿賀野市山崎*1.7 阿賀町津川*1.7 新潟秋葉区程島*1.7 上越市三和区井ノ口*1.6 長岡市与板町与板*1.6 柏崎市中央町*1.6 村上市山口*1.6 燕市分水桜町*1.6 阿賀町鹿瀬支所*1.6 新潟中央区新潟市役所*1.6 上越市吉川区原之町*1.5 三条市西裏館*1.5 田上町原ヶ崎新田*1.5 村上市三之町*1.5 阿賀町豊川*1.5 胎内市大川町*1.5 新潟江南区泉町*1.5</p> <p>1 三条市萩堀*1.4 南魚沼市塩沢庁舎*1.4 新発田市稲荷岡*1.4 燕市白山町*1.4 上越市頸城区百間町*1.3 長岡市千手*1.3 長岡市小国町法坂*1.3 出雲崎町米田*1.3 魚沼市須原*1.3 村上市寒川*1.3 胎内市新和町*1.3 新潟西蒲区役所*1.3 新潟西蒲区巻甲*1.3 長岡市幸町*1.2 小千谷市城内*1.2 阿賀野市保田*1.2 十日町市松代*1.1 小千谷市旭町*1.0 十日町市千歳町*1.0 佐渡市両津湊*1.0 十日町市上山*0.9 村上市塩町*0.9 五泉市村松乙*0.9 五泉市愛宕甲*0.9 阿賀町白崎*0.9 上越市大手町*0.7 上越市安塚区安塚*0.7 十日町市高山*0.7</p>				
		<p>青森県</p> <p>2 八戸市南郷区*2.4 六戸町大落瀬*2.2 おいらせ町中下田*2.2 東北町上北南*2.1 五戸町古館*2.1 青森南部町苦米地*2.0 おいらせ町上明堂*2.0 七戸町森ノ上*2.0 東通村小田野沢*1.9 七戸町七戸*1.8 青森市中央*1.8 十和田市西二番町*1.8 十和田市西十二番町*1.7 藤崎町水木*1.7 平川市猿賀*1.7 五戸町倉石中市*1.7 青森南部町平*1.7 青森市浪岡*1.6 田子町田子*1.6 藤崎町西豊田*1.6 青森市花園*1.6 野辺地町田狭沢*1.5 八戸市内丸*1.5</p> <p>1 青森鶴田町鶴田*1.4 三沢市桜町*1.4 野辺地町野辺地*1.4 外ヶ浜町蟹田*1.3 つがる市木造*1.3 つがる市柏*1.3 新郷村戸来*1.3 五所川原市敷島町*1.2 三戸町在府小路*1.2 蓬田村蓬田*1.2 むつ市金曲*1.2 東通村砂子又*1.2 板柳町板柳*1.2 十和田市奥瀬*1.2 大間町大間*1.1 平川市柏木町*1.1 八戸市湊町*1.1 横浜町寺下*1.0 つがる市車力町*1.0 青森南部町沖田面*1.0 弘前市五所*1.0 つがる市森田町*0.9 むつ市大畑町中島*0.9 弘前市賀田*0.9 むつ市川内町*0.8 五所川原市金木町*0.8 外ヶ浜町平館*0.8 中泊町小泊*0.8 西目屋村田代*0.7 八戸市島守*0.7 今別町今別*0.7 深浦町岩崎*0.6 中泊町中里*0.5 平川市碓ヶ関*0.5</p>				
		<p>秋田県</p> <p>2 由利本荘市前郷*2.4 秋田市雄和妙法*2.3 大仙市高梨*2.3 由利本荘市西目町沼田*2.1 仙北市西木町上桧木内*2.0 井川町北川尻*2.0 羽後町西馬音内*2.0 大仙市大曲花園町*2.0 大仙市刈和野*2.0 にかほ市平沢*1.9 横手市大雄*1.9 秋田市河辺和田*1.9 五城目町西磯ノ目*1.8 秋田美郷町土崎*1.8 由利本荘市岩城内道川*1.8 三種町豊岡*1.7 秋田市消防庁舎*1.7 湯沢市川連町*1.6 大仙市北長野*1.6 大仙市協和境野田*1.6 大仙市太田町太田*1.6 秋田市山王*1.6 由利本荘市桜小路*1.6 由利本荘市矢島町矢島*1.6 由利本荘市島海町伏見*1.6 仙北市田沢湖生保内宮ノ後*1.5 湯沢市横堀*1.5 能代市上町*1.5 秋田美郷町六郷東根*1.5 由利本荘市岩谷町*1.5 横手市雄物川町今宿*1.5 湯沢市沖鶴*1.5 秋田市雄和女米木*1.5</p> <p>1 八郎潟町大道*1.4 由利本荘市尾崎*1.4 横手市中央町*1.4 横手市平鹿町浅舞*1.4 東成瀬村椿川*1.4 大仙市南外*1.4 大館市桜町*1.3 大館市城中*1.3 横手市十文字町*1.3 東成瀬村田子内*1.3 大仙市神宮寺*1.3 仙北市西木町上荒井*1.3 北秋田市花園町*1.2 北秋田市阿仁銀山*1.2 横手市増田町増田*1.2 横手市大森町*1.2 湯沢市佐竹町*1.2 湯上市天王*1.2 由利本荘市石巻*1.2 にかほ市金浦*1.2 横手市安田柳堤地内*1.1 能代市緑町*1.1 にかほ市象潟町浜ノ田*1.1 湯上市昭和久保*1.1 大館市比内町扇田*1.1 大仙市協和境唐松岳*1.1 秋田市八橋運動公園*1.1 北秋田市新田目*1.1 仙北市角館町東勝楽丁*1.1 仙北市田沢湖生保内上清水*1.1 仙北市角館町小勝田*1.1 上小阿仁村小沢田*1.0 横手市山内土割*1.0 由利本荘市東由利老方*1.0 三種町鶴川*0.9 藤里町藤琴*0.9 北秋田市米内沢*0.9 仙北市田沢湖田沢*0.9 湯沢市皆瀬*0.9 湯上市飯田川下蛇川*0.8 三種町鹿渡*0.8 大館市早口*0.8 男鹿市船川*0.8 湯沢市寺沢*0.8 大湯村中央*0.7 八峰町峰浜目名湯*0.5</p>				
		<p>東京都</p> <p>2 東京杉並区高井戸*2.3 町田市中町*2.2 東京千代田区大手町*2.1 東京江東区枝川*2.1 東京港区南青山*2.0 東京杉並区桃井*2.0 東京荒川区東尾久*2.0 東京千代田区麴町*1.9 東京文京区大塚*1.9 東京中野区中野*1.9 東京中野区江古田*1.9 東京荒川区荒川*1.9 東京足立区千住*1.9 東京江戸川区船堀*1.9 調布市つつじヶ丘*1.9 東京墨田区東向島*1.8 東京江東区森下*1.8 東京北区西ヶ原*1.8 東京足立区伊興*1.8 東京足立区神明南*1.8 東京葛飾区金町(旧)*1.8 東京江戸川区中央*1.8 武蔵野市吉祥寺東町*1.8 東京中央区勝どき*1.8 東京新宿区上落合*1.8 三鷹市野崎*1.7 東大和市中央*1.7</p>				

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		<p>東京文京区スポーツセンタ * = 1.7 東京文京区本郷 * = 1.7 東京江東区東陽 * = 1.7                      東京品川区北品川 * = 1.7 東京国際空港 = 1.7 東京大田区多摩川 * = 1.7 東京世田谷区三軒茶屋 * = 1.7                      東京北区赤羽南 * = 1.7 東京板橋区相生町 * = 1.7 東京練馬区東大泉 * = 1.7 東京葛飾区立石 * = 1.7                      東京江戸川区鹿骨 * = 1.6 武蔵野市緑町 * = 1.6 小平市小川町 * = 1.6 東京千代田区九段南 * = 1.6                      東京中央区築地 * = 1.6 東京中央区日本橋兜町 * = 1.6 東京目黒区中央町 * = 1.6 東京大田区本羽田 * = 1.6                      東京世田谷区世田谷 * = 1.6 東京渋谷区宇田川町 * = 1.6 東京練馬区豊玉北 * = 1.6 東京板橋区板橋 * = 1.5                      東京練馬区光が丘 * = 1.5 八王子市堀之内 * = 1.5 東京港区白金 * = 1.5 東京新宿区歌舞伎町 * = 1.5                      町田市忠生 * = 1.5 西東京市中町(旧) * = 1.5 狛江市和泉本町 * = 1.5 多摩市関戸 * = 1.5                      稲城市東長沼 * = 1.5 東京世田谷区中町 * = 1.5 東京中野区中央 * = 1.5</p> <p>1 東京台東区千束 * = 1.4 東京江東区亀戸 * = 1.4 八王子市石川町 * = 1.4 東京府中市白糸台 * = 1.4                      日野市神明 * = 1.4 国分寺市戸倉 = 1.4 国分寺市本多 * = 1.4 清瀬市中里 * = 1.4 東京新宿区百人町 * = 1.3                      東京大田区大森東 * = 1.3 東京足立区中央本町 * = 1.3 町田市役所 * = 1.3 東京墨田区吾妻橋 * = 1.2                      東京杉並区阿佐谷 = 1.2 立川市錦町 * = 1.2 調布市小島町 * = 1.2 青梅市日向和田 * = 1.2                      東京港区芝公園 * = 1.1 東京品川区広町 * = 1.1 八王子市大横町 = 1.1 立川市泉町 * = 1.1                      武蔵村山市本町 * = 1.1 瑞穂町箱根ヶ崎 * = 1.1 東京豊島区東池袋 * = 1.0 あきる野市伊奈 * = 0.9                      東京大田区蒲田 * = 0.9 多摩市鶴牧 * = 0.9 昭島市田中町 * = 0.7 三宅村神着 = 0.6 羽村市緑ヶ丘 * = 0.6</p> <p>2 横浜港北区日吉本町 * = 2.2 横浜神奈川区神大寺 * = 2.1 川崎宮前区宮前平 * = 2.0 二宮町中里 * = 2.0                      横浜中区山手町 = 1.9 横浜中区山下町 * = 1.9 横浜保土ヶ谷区上菅田町 * = 1.9 川崎宮前区野川 * = 1.9                      小田原市荻窪 * = 1.9 横浜緑区十日市場町 * = 1.8 横浜中区山吹町 * = 1.7 横浜南区別所 * = 1.7                      横浜青葉区榎が丘 * = 1.7 川崎川崎区宮前町 * = 1.7 綾瀬市深谷 * = 1.7 横浜西区浜松町 * = 1.6                      川崎川崎区中島 * = 1.6 川崎幸区戸手本町 * = 1.6 寒川町宮山 * = 1.6 中井町比奈窪 * = 1.6                      相模原緑区久保沢 * = 1.6 厚木市中町 * = 1.5 愛川町角田 * = 1.5 相模原中央区水郷田名 * = 1.5                      相模原緑区中野 * = 1.5 横浜青葉区市ヶ尾町 * = 1.5 川崎中原区小杉陣屋 = 1.5 川崎中原区小杉町 * = 1.5                      座間市緑ヶ丘 * = 1.5</p> <p>1 横浜鶴見区馬場 * = 1.4 横浜西区みなとみらい * = 1.4 横浜中区日本大通 * = 1.4 横浜都筑区池辺町 * = 1.4                      川崎川崎区千鳥町 * = 1.4 川崎多摩区登戸 * = 1.4 大和市下鶴間 * = 1.4 海老名市大谷 * = 1.4                      厚木市寿町 * = 1.4 厚木市下津古久 * = 1.4 神奈川大井町金子 * = 1.4 清川村煤ヶ谷 * = 1.4                      相模原緑区相原 * = 1.4 横浜磯子区洋光台 * = 1.3 横浜港北区太尾町 * = 1.3 横浜戸塚区戸塚町 * = 1.3                      横浜港南区丸山台東部 * = 1.3 横浜瀬谷区中屋敷 * = 1.3 横浜栄区小菅ヶ谷 * = 1.3                      川崎麻生区万福寺 * = 1.3 平塚市浅間町 * = 1.3 茅ヶ崎市茅ヶ崎 = 1.3 松田町松田惣領 * = 1.3                      相模原南区相模大野 * = 1.3 川崎高津区下作延 * = 1.2 横浜鶴見区鶴見 * = 1.2 横浜戸塚区平戸町 * = 1.2                      横浜旭区上白根町 * = 1.2 横浜泉区岡津町 * = 1.2 横浜神奈川区白幡上町 * = 1.1 横浜金沢区白帆 * = 1.1                      横浜旭区大池町 * = 1.1 横浜旭区今宿東町 * = 1.1 横浜泉区和泉町 * = 1.1 神奈川山北町山北 * = 1.1                      秦野市曾屋 = 1.0 三浦市城山町 * = 0.9 横須賀市光の丘 = 0.8 秦野市平沢 * = 0.7 鎌倉市御成町 * = 0.7                      相模原緑区小淵 * = 0.6</p> <p>2 忍野村忍草 * = 1.9 南アルプス市寺部 * = 1.6 笛吹市役所 * = 1.6 山梨北杜市長坂町 * = 1.6                      中央市成島 * = 1.6 市川三郷町岩間 * = 1.5 富士河口湖町長浜 * = 1.5</p> <p>1 南アルプス市鮎沢 * = 1.4 笛吹市春日居町寺本 * = 1.4 笛吹市境川町藤袋 * = 1.4 山梨北杜市高根町 * = 1.4                      甲府市相生 * = 1.3 昭和町押越 * = 1.3 甲斐市下今井 * = 1.3 甲州市塩山上於曾 * = 1.3 甲州市役所 * = 1.3                      中央市大鳥居 * = 1.3 小菅村役場 * = 1.3 甲府市飯田 = 1.2 山梨北杜市明野町 * = 1.2                      甲州市勝沼町勝沼 * = 1.2 中央市臼井阿原 * = 1.2 富士河口湖町役場 * = 1.2 笛吹市八代町南 * = 1.1                      甲州市塩山下於曾 = 1.1 富士吉田市上吉田 * = 1.1 富士河口湖町船津 = 0.9 上野原市上野原 = 0.8                      山梨北杜市健康ランド須玉 * = 0.8 大月市御太刀 * = 0.7 身延町大磯小磯 = 0.7 富士河口湖町本栖 * = 0.7                      丹波山村丹波 * = 0.5</p> <p>2 佐久市中込 * = 1.7 長野南牧村海ノ口 * = 1.7</p> <p>1 佐久市白田 * = 1.4 軽井沢町追分 = 1.4 軽井沢町長倉 * = 1.4 御代田町御代田 * = 1.4                      茅野市葛井公園 * = 1.3 諏訪市湖岸通り = 1.1 諏訪市高島 * = 1.0 佐久穂町畑 * = 1.0                      長野川上村大深山 * = 0.8 富士見町落合 * = 0.8 飯田市高羽町 = 0.8 木曾町開田高原西野 * = 0.8                      佐久市甲 * = 0.7 飯島町飯島 = 0.7 坂城町坂城 * = 0.7 上田市大手 = 0.6 小海町豊里 * = 0.6</p> <p>1 釧路市音別町直別 * = 1.2 函館市新浜町 * = 1.0 上ノ国町大留 * = 1.0 渡島北斗市中央 * = 0.9                      別海町常盤 = 0.8 知内町重内 * = 0.7 厚岸町真栄 * = 0.6 様似町栄 * = 0.5</p> <p>石川県                      1 能登町宇出津 = 0.7</p> <p>静岡県                      1 伊豆の国市長岡 * = 1.3 御殿場市萩原 = 1.1 東伊豆町奈良本 * = 1.0 西伊豆町宇久須 * = 1.0                      伊豆の国市四日町 * = 1.0 沼津市戸田 * = 1.0 富士宮市弓沢町 = 1.0 富士宮市野中 * = 0.9                      牧之原市相良 * = 0.8 西伊豆町仁科 * = 0.7 沼津市御幸町 * = 0.7 沼津市高島本町 * = 0.7                      静岡清水町堂庭 * = 0.7 小山町藤曲 * = 0.6 静岡菊川市赤土 * = 0.6 静岡清水区千歳町 = 0.5                      静岡清水区旭町 * = 0.5 牧之原市静波 * = 0.5 袋井市浅名 * = 0.5</p>				
44	13 16 16	種子島近海 鹿児島県	30° 35.9' N	131° 05.3' E	30km	M: 3.2
		1 中種子町野間 * = 0.9				
45	13 17 58	薩摩半島西方沖 鹿児島県	31° 02.5' N	129° 49.8' E	9km	M: 4.1
		2 枕崎市高見町 = 2.1 枕崎市若葉町 * = 1.5				
		1 南さつま市大浦町 * = 1.1 鹿児島市下福元 = 1.0 鹿児島市喜入町 * = 0.8 南九州市川辺町平山 * = 0.8 南九州市穎娃町牧之内 * = 0.7 南さつま市坊津町久志 * = 0.7 薩摩川内市樋脇町 * = 0.6 南さつま市加世田川畑 * = 0.6				
46	13 22 21	宮城県沖 宮城県	38° 12.8' N	141° 36.2' E	60km	M: 3.2
		1 南三陸町歌津 * = 0.9				
47	14 07 58	神奈川県東部 東京都 神奈川県	35° 33.8' N	139° 39.4' E	23km	M: 2.6
		1 東京千代田区大手町 = 0.5				
		1 川崎川崎区宮前町 * = 1.0 横浜神奈川区白幡上町 * = 0.9 川崎中原区小杉町 * = 0.9				

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		川崎中原区小杉陣屋町=0.8 川崎宮前区宮前平*=0.7 横浜青葉区榎が丘*=0.5 大和市下鶴間*=0.5				
48	14 20 10	薩摩半島西方沖 鹿児島県 1 枕崎市高見町=1.1 三島村竹島*=1.1 三島村黒島*=0.6 枕崎市若葉町*=0.5	31° 02.2' N	129° 50.0' E	11km	M: 3.9
49	14 21 46	青森県東方沖 青森県 2 東通村小田野沢*=1.5 1 八戸市湊町=1.2 東通村砂子又*=1.1 野辺地町野辺地*=1.0 野辺地町田狭沢*=1.0 東北町上北南*=0.9 七戸町森ノ上*=0.9 八戸市内丸*=0.8 五戸町古館=0.8 東通村尻屋*=0.8 三沢市桜町*=0.6 横浜町林ノ脇*=0.5 青森南部町苫米地*=0.5 むつ市金曲=0.5 北海道 1 函館市泊町*=1.3 函館市新浜町*=0.8 岩手県 1 軽米町軽米*=0.6	41° 11.2' N	142° 12.0' E	54km	M: 4.1
50	15 01 20	薩摩半島西方沖 鹿児島県 1 枕崎市高見町=0.5	31° 02.7' N	129° 50.2' E	11km	M: 3.3
51	16 10 59	宮崎県南部山沿い 熊本県 1 錦町一武*=0.7 宮崎県 1 小林市真方=0.7	32° 06.8' N	130° 54.7' E	9km	M: 2.8
52	16 13 28	宮城県沖 宮城県 1 南三陸町歌津*=0.6	38° 39.9' N	142° 10.0' E	40km	M: 3.6
53	16 19 14	苫小牧沖 北海道 1 函館市新浜町*=1.4 安平町追分柏が丘*=0.8 恵庭市京町*=0.8 函館市川汲町*=0.7 函館市泊町*=0.7 千歳市若草*=0.7 鹿部町宮浜*=0.6 青森県 1 東通村小田野沢*=1.1 東通村砂子又*=0.5	42° 11.9' N	141° 49.2' E	90km	M: 3.8
54	16 19 44	茨城県北部 福島県 2 矢祭町東館館本*=1.6 1 玉川村小高*=1.4 浅川町浅川*=1.2 棚倉町棚倉中居野=1.2 白河市表郷*=1.1 白河市新白河*=1.1 檜枝岐村上河原*=1.1 白河市東*=1.0 泉崎村泉崎*=0.8 白河市郭内=0.7 矢祭町東館下上野内*=0.7 田村市都路町*=0.7 須賀川市八幡山*=0.5 茨城県 2 土浦市常名=2.3 水戸市金町=2.0 大子町池田*=1.9 ひたちなか市南神敷*=1.9 鉾田市当間*=1.9 かすみがうら市上土田*=1.7 小美玉市堅倉*=1.7 水戸市中央*=1.6 小美玉市小川*=1.5 ひたちなか市東石川*=1.5 日立市助川小学校*=1.5 土浦市下高津*=1.5 茨城鹿嶋市宮中*=1.5 潮来市辻*=1.5 稲敷市江戸崎甲*=1.5 常陸大宮市山方*=1.5 城里町石塚*=1.5 1 水戸市千波町*=1.4 笠間市石井*=1.4 常陸大宮市北町*=1.4 城里町阿波山*=1.4 つくば市谷田部*=1.4 行方市麻生*=1.4 常陸太田市町屋町=1.3 常陸太田市高柿町*=1.3 常陸大宮市野口*=1.3 石岡市八郷*=1.2 つくば市小釜*=1.2 茨城鹿嶋市鉢形=1.2 桜川市羽田*=1.2 鉾田市汲上*=1.2 石岡市柿岡=1.2 筑西市門井*=1.1 桜川市岩瀬*=1.1 日立市役所*=1.1 小美玉市上玉里*=1.1 稲敷市柴崎*=1.1 常陸大宮市上小瀬*=1.0 取手市寺田*=1.0 笠間市下郷*=1.0 日立市十王町友部*=1.0 土浦市藤沢*=1.0 石岡市石岡*=0.9 筑西市海老ヶ島*=0.9 那珂市福田*=0.9 大洗町磯浜町*=0.9 つくば市天王台*=0.9 常陸太田市町田町*=0.9 笠間市中央*=0.9 高萩市安良川*=0.9 美浦村受領*=0.9 鉾田市造谷*=0.8 神栖市溝口*=0.7 行方市玉造*=0.7 東海村東海*=0.7 桜川市真壁*=0.7 鉾田市鉾田=0.7 阿見町中央*=0.7 五霞町小福田*=0.7 牛久市中央*=0.7 水戸市内原町*=0.7 下妻市本城町*=0.6 稲敷市結佐*=0.6 坂東市山*=0.5 常陸大宮市中富町=0.5 北茨城市磯原町*=0.5 栃木県 2 真岡市石島*=1.5 1 宇都宮市明保野町=1.3 日光市中鉢石町*=1.2 市貝町市塙*=1.2 日光市足尾町松原*=1.1 真岡市田町*=1.1 茂木町茂木*=1.1 鹿沼市晃望台*=1.0 鹿沼市今宮町*=1.0 日光市鬼怒川温泉大原*=1.0 那須町寺子*=0.9 足利市大正町*=0.9 鹿沼市口栗野*=0.9 益子町益子=0.9 栃木さくら市喜連川*=0.9 那須烏山市中央=0.9 栃木那珂川町馬頭*=0.9 日光市足尾町中才*=0.9 日光市今市本町*=0.9 芳賀町祖母井*=0.8 栃木市藤岡町藤岡*=0.7 宇都宮市旭*=0.6 日光市日蔭*=0.6 岩舟町静*=0.6 佐野市高砂町*=0.5 日光市藤原*=0.5 塩谷町玉生*=0.5 栃木那珂川町小川*=0.5 那須塩原市共墾社*=0.5 那須塩原市塩原庁舎*=0.5 日光市瀬川=0.5 群馬県 1 桐生市黒保根町*=1.1 桐生市元宿町*=1.0 大泉町日の出*=1.0 沼田市利根町*=0.9 片品村東小川=0.9 太田市西本町*=0.8 片品村鎌田*=0.7 邑楽町中野*=0.7 川場村谷地*=0.6 千葉県 1 成田市花崎町=1.0 香取市佐原下川岸=0.9 旭市高生*=0.8 香取市仁良*=0.7 千葉中央区都町*=0.7 成田市松子*=0.7 印西市美瀬*=0.7 香取市佐原諏訪台*=0.6 成田国際空港=0.6 柏市旭町=0.5	36° 22.2' N	140° 34.4' E	63km	M: 4.0
55	18 06 29	能登半島沖 石川県 2 穴水町大町*=1.7 1 輪島市鳳至町=1.2	37° 15.3' N	136° 41.5' E	8km	M: 3.4
56	18 06 48	伊予灘 大分県 1 別府市鶴見=0.6	33° 18.4' N	131° 31.2' E	10km	M: 2.3
57	18 11 23	択捉島南東沖 北海道 3 新冠町北星町*=2.8 釧路町別保*=2.8 浦幌町桜町*=2.6 別海町常盤=2.6 白糠町西 1 条*=2.5 2 釧路市黒金町*=2.4 標津町北 2 条*=2.4 中標津町丸山*=2.3 別海町本別海*=2.3 釧路市音別町直別*=2.2 厚岸町真栄町*=2.2 清里町羽衣町*=2.2 釧路市幸町=2.2	44° 35.8' N	149° 11.7' E	30km F	M: 6.5

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		函館市新浜町*2.2 標茶町塘路*2.1 新ひだか町静内御幸町*2.0 羅臼町緑町*2.0 別海町西春別*2.0 釧路市阿寒町中央*2.0 むかわ町松風*1.9 標茶町川上*1.9 更別村更別*1.9 新ひだか町静内山手町*1.9 根室市落石東*1.9 十勝大樹町東本通*1.8 鶴居村鶴居東*1.8 大空町東藻琴*1.7 浜中町霧多布*1.7 羅臼町岬町*1.7 浦河町潮見*1.7 十勝清水町南4条*1.7 根室市厚床*1.7 幕別町本町*1.7 厚真町京町*1.7 浦河町野深*1.6 新ひだか町三石旭町*1.6 幕別町忠類錦町*1.6 根室市瑠瑠瑠*1.6 浦河町築地*1.6 様似町栄町*1.6 弟子屈町美里*1.6 弟子屈町弟子屈*1.6 新得町2条*1.5 音更町元町*1.5 札幌北区太平*1.5 函館市日ノ浜町*1.5 上ノ国町大留*1.5 安平町早来北進*1.5 南幌町栄町*1.5 斜里町本町*1.5 1 新篠津村第47線*1.4 白老町大町*1.4 日高地方日高町門別*1.4 えりも町目黒*1.4 鹿追町東町*1.4 芽室町東2条*1.4 釧路市阿寒町阿寒湖温泉*1.4 標津町薫別*1.4 羅臼町春日*1.3 小清水町小清水*1.3 十勝大樹町生花*1.3 新ひだか町静内農屋*1.3 帯広市東6条*1.3 根室市弥栄*1.2 中札内村東2条*1.2 渡島北斗市中央*1.2 弟子屈町サワンチサブ*1.2 帯広市東4条*1.2 厚岸町尾幌*1.2 大空町女満別西3条*1.2 長沼町中央*1.2 倶知安町南1条*1.1 石狩市花川*1.1 豊頃町茂岩本町*1.1 本別町北2丁目*1.1 新千歳空港*1.1 根室市牧の内*1.1 石狩市花咲*1.1 赤井川村赤井川*1.1 えりも町本町*1.0 苫小牧市末広町*1.0 本別町向陽町*1.0 当別町白樺*1.0 幕別町忠類明和*1.0 広尾町並木通*1.0 美幌町東3条*0.9 足寄町上螺湾*0.9 洞爺湖町洞爺町*0.9 上士幌町上士幌*0.9 釧路市音別町尺別*0.9 土幌町土幌*0.9 中富良野町市街地*0.8 根室市豊里*0.8 中標津町養老牛*0.8 千歳市支笏湖温泉*0.7 札幌中央区北2条*0.5 2 外ヶ浜町平箱*1.8 東通村小田野沢*1.7 東通村砂子又*1.7 大間町大間*1.6 青森市花園*1.5 むつ市金曲*1.5 1 青森市浪岡*1.4 外ヶ浜町蟹田*1.4 平川市猿賀*1.4 おいらせ町中下田*1.4 青森市中央*1.3 五所川原市敷島町*1.3 七戸町森ノ上*1.3 藤崎町西豊田*1.2 東北町上北南*1.2 おいらせ町上明堂*1.2 今別町今別*1.1 蓬田村蓬田*1.1 七戸町七戸*1.1 横浜町寺下*1.1 むつ市大畑町中島*1.1 つがる市車力町*1.0 板柳町板柳*1.0 青森鶴田町鶴田*1.0 つがる市木造*1.0 つがる市柏*1.0 野辺地町野辺地*0.9 中泊町小泊*0.9 五所川原市金木町*0.8 五戸町古館*0.8 青森南部町苫米地*0.8 八戸市内丸*0.7 風間浦村易国間*0.7 十和田市西十二番町*0.7 三沢市桜町*0.7 弘前市賀田*0.6 平川市柏木町*0.6 佐井村佐井*0.6 外ヶ浜町三厩*0.5 中泊町中里*0.5 2 盛岡市玉山区薮川*1.7 1 栗原市金成*0.8 登米市迫町*0.8 登米市登米町*0.7 登米市米山町*0.6 登米市南方町*0.6				
58	18 15 38	岩手県沖 青森県	40° 23.2' N	142° 09.6' E	33km	M: 3.8
		1 八戸市内丸*0.7 八戸市湊町*0.6				
59	18 20 44	茨城県沖 茨城県	36° 10.6' N	140° 54.0' E	44km	M: 3.1
		1 日立市助川小学校*0.5				
60	19 11 39	択捉島南東沖 北海道	44° 31.9' N	149° 08.2' E	30km F	M: 5.3
		1 別海町常盤*0.7 根室市落石東*0.6 別海町本別海*0.5				
61	19 19 00	青森県東方沖 青森県	41° 18.4' N	142° 39.9' E	33km	M: 4.9
		3 野辺地町野辺地*2.7 七戸町森ノ上*2.5 2 野辺地町田狭沢*2.4 八戸市南郷区*2.3 東通村小田野沢*2.3 青森南部町平*2.2 東北町上北南*2.2 五戸町古館*2.1 東通村砂子又*2.1 平内町小湊*2.0 東北町塔ノ沢山*1.9 七戸町七戸*1.9 八戸市内丸*1.8 八戸市湊町*1.8 青森南部町苫米地*1.7 むつ市金曲*1.6 むつ市金谷*1.6 むつ市大畑町中島*1.6 五戸町倉石中市*1.6 青森南部町沖田面*1.6 外ヶ浜町蟹田*1.5 三沢市桜町*1.5 むつ市川内町*1.5 1 平内町東田沢*1.4 十和田市西十二番町*1.3 十和田市奥瀬*1.3 六ヶ所村尾駈*1.3 おいらせ町中下田*1.3 十和田市西十二番町*1.2 大間町大間*1.2 青森市花園*1.1 横浜町林ノ脇*1.1 おいらせ町上明堂*1.1 蓬田村蓬田*1.1 青森市中央*1.0 むつ市脇野沢*1.0 中泊町中里*0.9 青森市浪岡*0.8 五所川原市金木町*0.8 つがる市柏*0.8 七戸町天間館*0.8 横浜町寺下*0.8 つがる市車力町*0.7 外ヶ浜町三厩*0.7 五所川原市敷島町*0.7 中泊町小泊*0.7 青森鶴田町鶴田*0.6 つがる市木造*0.6 藤崎町西豊田*0.6 八戸市島守*0.6 つがる市森田町*0.6 むつ市大畑町*0.6 今別町今別*0.6 東通村尻屋*0.6 佐井村長後*0.6 五所川原市相内*0.5 板柳町板柳*0.5 三戸町在府小路*0.5 田子町田子*0.5 新郷村戸来*0.5 2 函館市泊町*1.9 函館市新浜町*1.7 むかわ町松風*1.7 新冠町北星町*1.7 様似町栄町*1.5 新ひだか町静内山手町*1.5 1 安平町早来北進*1.4 南幌町栄町*1.2 千歳市支笏湖温泉*1.2 新ひだか町三石旭町*1.2 浦河町潮見*1.2 浦河町築地*1.2 函館市日ノ浜町*1.2 新ひだか町静内御幸町*1.1 えりも町えりも岬*1.1 むかわ町穂別*1.0 千歳市若草*1.0 浦河町野深*0.9 函館市美原*0.9 日高地方日高町門別*0.9 壮瞥町滝之町*0.9 千歳市北栄*0.9 新千歳空港*0.8 苫小牧市末広町*0.8 苫小牧市旭町*0.8 登別市桜木町*0.8 白老町大町*0.8 鹿部町宮浜*0.8 安平町追分柏が丘*0.8 函館市大森町*0.8 三笠市若松町*0.7 恵庭市京町*0.7 岩見沢市栗沢町東本町*0.7 洞爺湖町洞爺町*0.7 渡島北斗市中央*0.6 当別町白樺*0.6 胆振伊達市梅本*0.5 江別市高砂町*0.5 2 盛岡市玉山区薮川*1.5 二戸市浄法寺町*1.5 八幡平市野駄*1.5 軽米町軽米*1.5 1 二戸市石切所*1.3 八幡平市田頭*1.3 岩手町五日市*1.2 一戸町高善寺*1.1 矢巾町南矢幅*1.0 盛岡市山王町*0.9 二戸市福岡*0.9 八幡平市吠田*0.9 滝沢村鶴飼*0.8 葛巻町葛巻元木*0.7 八幡平市大更*0.7 岩手洋野町種市*0.7 宮古市門馬田代*0.6 花巻市石鳥谷町*0.6 奥州市胆沢区*0.6				
		北海道				
		岩手県				

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
62	19 19 53	沖縄本島近海 鹿児島県 1 知名町瀬利覚=1.4 和泊町国頭=0.8 伊仙町伊仙*=0.8 知名町知名*=0.6	27° 26.8' N	128° 35.8' E	45km	M: 3.7
63	19 23 51	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村悪石島*=0.8	29° 20.2' N	129° 26.3' E	19km	M: 2.2
64	20 17 23	宮城県沖 岩手県 1 一関市千厩町*=0.8 一関市室根町*=0.7 藤沢町藤沢*=0.7 宮城県 1 南三陸町歌津*=1.4 登米市豊里町*=1.1 石巻市北上町*=1.0 気仙沼市笹が陣*=0.8 石巻市鮎川浜*=0.8 石巻市桃生町*=0.8 南三陸町志津川=0.6 涌谷町新町=0.6 石巻市門脇*=0.6 女川町女川浜*=0.6 気仙沼市唐桑町*=0.5 気仙沼市赤岩=0.5	38° 18.6' N	141° 54.1' E	46km	M: 4.0
65	21 02 43	青森県下北地方 青森県 1 東通村小田野沢*=0.6 横浜町林ノ脇*=0.5	41° 10.9' N	141° 17.3' E	7km	M: 2.6
66	21 11 53	北海道東方沖 北海道 1 根室市落石東*=0.5	43° 37.7' N	147° 17.2' E	31km	M: 4.4
67	21 22 35	宮古島近海 沖縄県 1 宮古島市平良西仲宗根=0.8 宮古島市平良下里=0.6 宮古島市平良狩俣*=0.5	24° 45.6' N	125° 19.3' E	42km	M: 3.7
68	22 15 19	岩手県沖 岩手県 1 山田町大沢*=1.0 釜石市中妻町*=0.6	39° 44.1' N	142° 14.7' E	38km	M: 3.5
69	23 04 22	青森県東方沖 青森県 1 東通村砂子又*=0.5	41° 28.9' N	142° 00.8' E	61km	M: 3.3
70	23 06 52	奄美大島北西沖 鹿児島県 1 奄美市名瀬港町=1.4	28° 49.3' N	128° 37.4' E	15km	M: 4.1
71	23 15 12	宮城県沖 宮城県 1 南三陸町歌津*=0.6	38° 38.2' N	141° 54.7' E	47km	M: 3.2
72	23 22 17	愛知県西部 福井県 1 大野市川合*=0.6 長野県 1 長野高森町下市田*=1.0 岐阜県 1 本巣市下真桑*=1.3 揖斐川町谷汲*=1.3 可児市広見*=1.2 恵那市上矢作町*=1.1 白川町河岐*=1.1 揖斐川町東杉原*=1.0 北方町北方*=1.0 美濃市役所*=0.9 養老町高田*=0.9 中津川市本町*=0.9 岐阜山県市高木*=0.8 関ヶ原町関ヶ原*=0.8 笠松町司町*=0.8 大垣市墨俣町*=0.7 多治見市笠原町*=0.7 中津川市福岡*=0.7 瑞浪市上平町*=0.7 岐阜山県市谷合*=0.7 美濃加茂市太田町=0.6 揖斐川町東津汲*=0.6 各務原市川島河田町*=0.6 八百津町八百津*=0.6 恵那市山岡町*=0.6 岐阜市京町*=0.6 本巣市根尾*=0.6 輪之内町四郷町*=0.6 中津川市かやの木町=0.5 岐阜川辺町中川辺*=0.5 海津市平田町*=0.5 愛知県 1 豊田市小原町*=1.4 愛西市石田町*=1.3 あま市七宝町*=1.0 岡崎市若宮町=0.9 知多市緑町*=0.9 一宮市木曾川町*=0.8 豊田市小渡町*=0.8 一宮市緑*=0.8 豊田市大洞町=0.7 知多市八幡*=0.7 一宮市西五城*=0.6 北名古屋市西之保*=0.5 滋賀県 1 東近江市君ヶ畑町=0.6	35° 19.3' N	136° 59.2' E	43km	M: 3.6
73	25 12 47	茨城県南部 茨城県 1 鉾田市当間*=1.3 土浦市常名=0.6 埼玉県 1 東松山市松葉町*=1.0 滑川町福田*=0.8 久喜市下早見=0.5 東松山市市ノ川*=0.5	36° 12.3' N	139° 47.2' E	57km	M: 3.3
74	25 15 56	熊本県熊本地方 熊本県 1 熊本市京町=1.2 山鹿市老人福祉センター*=1.1 山鹿市鹿央町*=1.1 山鹿市鹿本町*=0.8 玉東町木葉*=0.8 和水町江田*=0.8 熊本市植木町*=0.7 山鹿市菊鹿町*=0.7 益城町宮園*=0.6 合志市御代志*=0.6 玉名市横島町*=0.6	32° 54.3' N	130° 42.0' E	15km	M: 3.1
75	26 00 23	奄美大島北東沖 鹿児島県 1 鹿児島十島村悪石島*=0.9	29° 09.4' N	131° 23.3' E	83km	M: 4.6
76	26 06 49	長野県南部 長野県 1 長野高森町下市田*=1.3 飯田市上郷黒田*=0.5 飯田市高羽町=0.5	35° 32.8' N	137° 52.8' E	7km	M: 2.3
77	26 23 01	紀伊水道 和歌山県 2 有田市初島町*=1.5 1 海南市下津*=1.2 海南市日方*=1.0 有田市箕島=0.9 湯浅町湯浅*=0.9 和歌山広川町広*=0.5	34° 07.5' N	135° 08.4' E	7km	M: 3.0
78	27 12 37	和歌山県北部 和歌山県 1 湯浅町湯浅*=1.4 有田市初島町*=1.1 和歌山広川町広*=1.1 海南市下津*=1.0 日高川町高津尾*=1.0 有田市箕島=0.9 由良町里*=0.7	33° 59.6' N	135° 13.3' E	7km	M: 3.0
79	27 15 24	千葉県北東部 千葉県 2 香取市佐原下川岸=1.8 香取市仁良*=1.5 成田市花崎町=1.5	35° 42.5' N	140° 37.1' E	49km	M: 3.5

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
80	28 06 03	<p>1 旭市南堀之内*1.3 旭市高生*1.3 多古町多古=1.3 旭市二*1.2 匝瑳市八日市場ハ*1.2 芝山町小池*1.1 香取市佐原諏訪*1.1 香取市役所*1.1 成田市松子*1.0 匝瑳市今泉*0.9 成田市中台*0.9 東金市日吉台*0.9 成田国際空港=0.7 東金市東新宿=0.7 横芝光町横芝*0.6 山武市蓮沼ハ*0.6 千葉栄町安食台*0.5</p> <p>1 茨城鹿嶋市鉢形=1.2 土浦市常名=0.8 潮来市辻*0.8 茨城鹿嶋市宮中*0.7 稲敷市江戸崎甲*0.7 稲敷市結佐*0.7 かすみがうら市上土田*0.7 行方市麻生*0.7 稲敷市須賀津*0.6 小美玉市堅倉*0.6 土浦市下高津*0.6</p>	41° 37.5' N	141° 49.9' E	57km	M: 5.1
		<p>茨城県</p> <p>4 函館市泊町*3.5 3 千歳市北栄=2.7 千歳市若草*2.6 安平町早来北進*2.6 2 恵庭市京町*2.4 函館市新浜町*2.4 新千歳空港=2.3 苫小牧市末広町=2.2 浦幌町桜町*2.2 壮瞥町滝之町*2.2 室蘭市寿町*2.2 むかわ町松風*2.1 渡島森町砂原*2.1 鹿部町宮浜*2.1 苫小牧市旭町*2.1 胆振伊達市大滝区本町*2.0 新冠町北星町*2.0 函館市日ノ浜町*2.0 北広島市共栄*2.0 千歳市支笏湖温泉*2.0 南幌町栄町*2.0 登別市鉦山=2.0 洞爺湖洞爺町*1.9 様似町栄町*1.9 洞爺湖町栄町*1.9 むかわ町穂別*1.9 胆振伊達市梅本=1.8 木古内町木古内*1.8 浦河町潮見=1.8 三笠市若松町*1.8 江別市緑町*1.8 安平町追分柏が丘*1.8 長沼町中央*1.8 新ひだか町三石旭町*1.7 渡島森町上台町*1.7 浦河町築地*1.7 日高地方日高町門別*1.7 登別市桜木町*1.7 新ひだか町静内山手町*1.7 新ひだか町静内御幸町*1.6 幕別町忠類錦町*1.6 豊浦町大岸*1.6 胆振伊達市末永町*1.6 函館市大森町*1.6 えりも町えりも岬*1.5 真狩村真狩*1.5 渡島森町御幸町=1.5 釧路市音別町直別*1.5 函館市川汲町*1.5 新篠津村第4 7線*1.5 栗山町松風*1.5 福島町福島*1.5 函館市美原=1.5</p>				
		<p>北海道</p> <p>1 札幌北区太平*1.4 長万部町平里*1.4 七飯町本町*1.4 知内町重内*1.4 月形町円山公園*1.4 平取町振内*1.4 広尾町並木通=1.4 十勝大樹町生花*1.3 江別市高砂町=1.3 ニセコ町中央通*1.3 留寿都村留寿都*1.3 岩見沢市5条=1.3 由仁町新光*1.3 渡島北斗市中央*1.3 渡島北斗市本町*1.3 岩見沢市栗沢町東本町*1.2 白老町大町=1.2 美唄市西3条*1.2 帯広市東4条=1.2 帯広市東6条*1.2 十勝大樹町東本通*1.2 七飯町桜町=1.2 室蘭市山手町=1.1 今金町今金*1.1 十勝池田町西1条*1.1 白老町緑丘*1.1 厚沢部町新町*1.1 浦河町野深=1.1 本別町向陽町*1.0 更別町更別*1.0 美唄市西5条=1.0 函館市尾札部町=1.0 岩見沢市鳩が丘*1.0 当別町白樺*1.0 豊頃町茂岩本町*1.0 音更町元町*0.9 釧路市阿寒町中央*0.9 白糠町西1条*0.9 黒松内町黒松内*0.9 小樽市勝納町=0.9 石狩市花畔*0.9 足寄町南1条*0.9 上ノ国町大留*0.9 喜茂別町喜茂別*0.9 倶知安町北4条*0.8 石狩市花川=0.8 平取町本町*0.8 十勝清水町南4条=0.8 芽室町東2条*0.7 幕別町本町*0.7 札幌白石区本郷通*0.7 札幌中央区北2条=0.7 本別町北2丁目=0.7 奈井江町奈井江*0.7 中札内村東2条*0.7 厚沢部町木間内*0.7 恵庭市漁平=0.7 乙部町緑町*0.7 倶知安町南1条=0.7 中富良野町市街地*0.6 増毛町岩尾*0.6 浦臼町ウラスナイ*0.6 鹿追町東町*0.6 夕張市若菜=0.6 寿都町新栄=0.6 上ノ国町小砂子*0.5 余市町浜中町*0.5 石狩市厚田*0.5 島牧村江ノ島=0.5 上士幌町上士幌*0.5 石狩市浜益*0.5</p>				
<p>青森県</p> <p>4 東通村小田野沢*3.6 3 東通村砂子又*3.2 階上町道仏*2.9 青森南部町平*2.9 野辺地町田狭沢*2.8 むつ市金曲=2.8 外ヶ浜町蟹田*2.8 七戸町森ノ上*2.7 横浜町寺下*2.6 平内町小湊=2.6 むつ市金谷*2.6 青森市浪岡*2.6 野辺地町野辺地*2.5 藤崎町水木*2.5 横浜町林ノ脇*2.5 2 八戸市湊町=2.4 三沢市桜町*2.4 東北町塔ノ沢山*2.4 東北町上北南*2.4 五戸町古館=2.4 むつ市川内町*2.4 大間町大間*2.4 六ヶ所村尾駈=2.3 八戸市内丸*2.3 五所川原市金木町*2.3 つがる市木造*2.3 つがる市柏*2.2 五戸町倉中市*2.2 むつ市大畑町中島*2.2 中泊町中里*2.1 藤崎町西豊田*2.1 おいらせ町中下田*2.1 蓬田村蓬田*2.1 佐井村佐井*2.1 五所川原市栄町=2.0 七戸町七戸*2.0 東通村尻屋*2.0 平川市猿賀*1.9 風間浦村易国間*1.9 十和田市西十二番町*1.9 五所川原市敷島町*1.9 青森南部町苔米地*1.8 おいらせ町上明堂*1.8 むつ市大畑町=1.8 十和田市西二番町*1.8 つがる市森田町*1.8 六戸町大落瀬*1.8 青森市花園=1.8 青森市中央*1.7 つがる市車力町*1.7 むつ市脇野沢*1.7 平内町東田沢*1.7 今別町今別*1.7 青森南部町沖田面*1.7 中泊町小泊*1.6 青森鶴田町鶴田*1.6 外ヶ浜町平館*1.6 十和田市奥瀬*1.6 弘前市城東中央*1.5 1 板柳町板柳*1.4 平川市柏木町*1.4 五所川原市相内*1.3 外ヶ浜町三厩*1.3 田子町田子*1.3 佐井村長後*1.3 弘前市賀田*1.2 八戸市島守=1.2 三戸町在府小路*1.2 五所川原市太田=1.1 新郷村戸来*1.0 弘前市和田町=1.0 鱈ヶ沢町本町=1.0 弘前市五所*0.9 七戸町天間館=0.8 大鱈町大鱈*0.6 平川市碓ヶ関*0.6 3 軽米町軽米*2.5 2 野田村野田*2.1 盛岡市玉山区藪川*2.1 二戸市浄法寺町*2.0 二戸市石切所*1.9 普代村銅屋*1.7 岩手洋野町種市=1.7 一戸町高善寺*1.7 久慈市川崎町=1.6 久慈市長内町*1.6 八幡平市野駄*1.6 山田町大沢*1.5 盛岡市玉山区洪民*1.5 八幡平市田頭*1.5 九戸村伊保内*1.5 1 宮古市五月町*1.4 二戸市福岡=1.4 葛巻町葛巻元木=1.4 矢巾町南矢幅*1.4 宮古市茂市*1.3 岩手洋野町大野*1.3 大槌町新町*1.3 盛岡市山王町=1.3 岩手町五日市*1.3 遠野市松崎町*1.3 宮古市川井*1.2 滝沢村鶴飼*1.2 花巻市東和町*1.2 陸前高田市高田町*1.1 釜石市中妻町*1.1 宮古市田老*1.1 八幡平市叭田*1.1 宮古市門馬田代*1.1 宮古市鎌ヶ崎=1.0 八幡平市大更=1.0 紫波町日詰*1.0 花巻市大迫町=1.0 奥州市胆沢区*1.0 久慈市山形町*0.9 花巻市石鳥谷町*0.9 遠野市宮守町*0.9 一関市千蔵町*0.9 一関市室根町*0.9 奥州市江刺区*0.9 葛巻町役場*0.9 葛巻町消防分署*0.8 大船渡市大船渡町=0.8 山田町八幡町=0.8 岩泉町岩泉*0.7 北上市柳原町=0.7 宮古市長沢=0.6 盛岡市馬場町*0.6 釜石市只越町=0.5 宮城県 1 栗原市金成*1.1 石巻市桃生町*1.0 気仙沼市笹が陣*0.9 気仙沼市唐桑町*0.9 登米市南方町*0.9 登米市迫町*0.9 栗原市若柳*0.8 登米市米山町*0.8 気仙沼市赤岩=0.7</p>						



地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
81	28 09 36	大崎市古川三日町=0.7 石巻市門脇*=0.7 栗原市栗駒=0.6 登米市中田町=0.6 登米市登米町*=0.6 宮城美里町木間塚*=0.6 南三陸町志津川=0.5 秋田県 1 能代市二ツ井町上台*=0.6 大館市中城*=0.6 大館市早口*=0.5	35° 53.2' N	140° 48.6' E	40km	M: 3.5
82	28 20 44	茨城県沖 茨城県 1 茨城鹿嶋市宮中*=0.7 ひたちなか市南神敷台*=0.5 千葉県 1 旭市南堀之内*=0.8 香取市仁良*=0.7 多古町多古=0.5 香取市佐原下川岸=0.5 東金市日吉台*=0.5	39° 05.7' N	140° 52.1' E	10km	M: 3.4
83	28 21 32	岩手県内陸南部 岩手県 1 一関市室根町*=0.8 奥州市衣川区*=0.5 奥州市胆沢区*=0.5 宮城県 1 栗原市栗駒=0.6 秋田県 1 東成瀬村椿川*=0.9 東成瀬村田子内*=0.9	31° 01.9' N	129° 49.6' E	11km	M: 3.3
84	29 04 13	薩摩半島西方沖 鹿児島県 1 枕崎市高見町=0.6	31° 14.0' N	138° 26.7' E	18km	M: 3.0
85	29 07 24	山梨県中・西部 静岡県 3 富士宮市野中*=2.5 1 富士宮市弓沢町=0.8 山梨県 1 山梨南部町富士*=0.6	39° 14.9' N	141° 27.3' E	116km	M: 4.3
		岩手県内陸南部 岩手県 3 一関市千厩町*=2.5 2 一関市室根町*=2.2 陸前高田市高田町*=2.1 遠野市松崎町*=2.0 大船渡市大船渡町=2.0 釜石市中妻町*=1.8 遠野市宮守町*=1.8 奥州市江刺区*=1.6 盛岡市玉山区薮川*=1.5 藤沢町藤沢*=1.5 花巻市東和町*=1.5 1 宮古市五月町*=1.4 山田町大沢*=1.4 大船渡市猪川町=1.4 大槌町新町*=1.4 平泉町平泉*=1.4 宮古市茂市*=1.3 大船渡市盛町*=1.3 宮古市門馬田代*=1.3 花巻市大迫町=1.3 野田村野田*=1.3 奥州市胆沢区*=1.2 盛岡市玉山区洪民*=1.2 八幡平市田頭*=1.2 紫波町日詰*=1.2 住田町世田米*=1.2 花巻市石鳥谷町*=1.2 一関市山目*=1.2 一関市花泉町*=1.2 金ヶ崎町西根*=1.2 宮古市川井*=1.2 奥州市前沢区*=1.2 一関市川崎町*=1.1 山田町八幡町=1.1 八幡平市野駄*=1.1 釜石市只越町=1.1 宮古市田老*=1.1 宮古市鉄ヶ崎=1.1 一関市大東町=1.1 久慈市川崎町=1.1 二戸市浄法寺町*=1.1 一戸町高善寺*=1.0 盛岡市馬場町*=1.0 奥州市衣川区*=1.0 花巻市材木町*=1.0 奥州市水沢区佐倉河*=1.0 北上市柳原町=0.9 矢巾町南矢幅*=0.9 滝沢村鶴飼*=0.9 久慈市長内町*=0.9 普代村銅屋*=0.9 盛岡市山王町=0.9 花巻市大迫総合支所*=0.8 八幡平市大更=0.8 田野畑村田野畑=0.8 葛巻町葛巻元木=0.7 宮古市長沢=0.6 軽米町軽米*=0.6 奥州市水沢区大鐘町=0.6 宮城県 2 大崎市古川三日町=2.0 大崎市古川北町*=2.0 栗原市一迫*=1.9 登米市石越町*=1.9 南三陸町歌津*=1.8 登米市豊里町*=1.8 石巻市桃生町*=1.8 栗原市金成*=1.7 気仙沼市唐桑町*=1.7 栗原市栗駒=1.6 東松島市矢本*=1.6 気仙沼市笹が陣*=1.5 栗原市築館*=1.5 岩沼市桜*=1.5 気仙沼市赤岩=1.5 登米市中田町=1.5 1 涌谷町新町=1.4 栗原市志波姫*=1.4 登米市東和町*=1.4 大崎市田尻*=1.4 名取市増田*=1.4 色麻町四竈*=1.3 栗原市瀬峰*=1.3 登米市米山町*=1.3 南三陸町志津川=1.3 栗原市花山*=1.2 登米市南方町*=1.2 互理町下小路*=1.2 仙台宮城野区苦竹*=1.2 石巻市門脇*=1.2 宮城美里町北浦*=1.1 気仙沼市本吉町*=1.1 角田市角田*=1.1 栗原市高清水*=1.1 仙台若林区遠見塚*=1.1 石巻市泉町=1.1 登米市迫町*=1.0 宮城加美町中新田*=1.0 登米市登米町*=0.9 栗原市若柳*=0.9 登米市津山町*=0.9 石巻市前谷地*=0.9 大崎市松山*=0.9 石巻市北上町*=0.8 石巻市相野谷*=0.8 栗原市鶯沢*=0.8 松島町高城=0.8 大郷町粕川*=0.8 仙台宮城野区五輪=0.8 宮城川崎町前川*=0.7 仙台区将監*=0.7 東松島市小野*=0.7 仙台青葉区作並*=0.6 仙台青葉区雨宮*=0.6 仙台青葉区大倉=0.5 青森県 1 八戸市内丸*=0.8 八戸市湊町=0.7 五所川原市相内*=0.6 五戸町古館=0.6 青森南部町苦米地*=0.5 秋田県 1 由利本荘市岩城内道川*=0.7 福島県 1 川俣町五百田*=1.3 玉川村小高*=1.0 いわき市三和町=0.8 南相馬市原町区高見町*=0.5				
86	29 11 22	紀伊水道 和歌山県 1 海南市下津*=0.7 海南市日方*=0.7	34° 09.1' N	135° 10.6' E	7km	M: 2.2
87	29 14 42	岩手県沖 青森県 1 八戸市湊町=0.5 八戸市内丸*=0.5 岩手県 1 九戸村伊保内*=1.1 軽米町軽米*=0.6	40° 21.1' N	142° 05.0' E	50km	M: 3.7
88	29 17 15	茨城県沖 茨城県 1 日立市助川小学校*=1.0 高萩市安良川*=0.5	36° 36.3' N	141° 00.6' E	46km	M: 3.3
89	29 19 59	西表島付近 沖縄県 1 竹富町船浮=0.6	24° 18.9' N	123° 34.6' E	19km	M: 3.4
90	30 10 54	岩手県内陸南部 宮城県 1 宮城加美町中新田*=0.6	38° 50.1' N	141° 25.2' E	104km	M: 2.9
91	30 20 28	奈良県 奈良県 1 吉野町上市*=1.2	34° 25.5' N	135° 52.6' E	10km	M: 2.5

● 付表 2. 過去 1 年間に震度 1 以上を観測した地震の最大震度別の月別回数  
 <平成 21 年（2009 年）7 月～平成 22 年（2010 年）6 月>

	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	計	記事
平成22年（2010年）											
6月	59	19	11	1	1					91	13日 福島県沖（震度5弱）
5月	65	23	4	2						94	
4月	71	23	5	2						101	
3月	69	24	8	2	1					104	14日 福島県沖（震度5弱）
2月	74	19	7	2	1					103	27日 沖縄本島近海（震度5弱）
1月	72	27	5	6						110	
平成22年計	410	135	40	15	3					603	
平成21年（2009年）											
12月	260	84	28	7	2					381	伊豆半島東方沖の地震活動 （震度5弱：2回、震度4：4回、 震度3：17回、震度2：60回、 震度1：175回）
11月	67	30	8	1						106	
10月	57	33	11	5						106	長野県南部の地震活動 （震度4：1回、震度3：3回、 震度2：3回、震度1：9回）
9月	86	34	8	3						131	
8月	99	39	19	4	1		1			163	11日 駿河湾（震度6弱） 13日 八丈島東方沖（震度5弱） 駿河湾の地震の余震 （震度3：3回、震度2：8回、 震度1：26回）
7月	71	22	10	2						105	
過去1年計	1050	377	124	37	6		1			1595	（平成21年7月～平成22年6月）

（参考）昨年同月の最大震度別地震回数

6月	89	30	7	3						129	
----	----	----	---	---	--	--	--	--	--	-----	--

注)①「記事」欄には主に震度5弱以上を観測した地震、または震度1以上を10回以上観測した地震活動について記載した。

②地方公共団体等の震度計による震度の発表開始年月日。

平成9(1997)年11月10日 秋田県、埼玉県、横浜市（神奈川県）、新潟県、愛知県、大阪府、奈良県、和歌山県、岡山県、山口県

平成10(1998)年6月15日 群馬県、福井県、静岡県、三重県、島根県、愛媛県

10月15日 青森県、山形県、茨城県、石川県、京都府、兵庫県、鳥取県、広島県、徳島県、熊本県、宮崎県、鹿児島県

平成11(1999)年7月21日 東京都、長野県

平成12(2000)年1月12日 栃木県、千葉県、岐阜県、名古屋市（愛知県）

3月28日 滋賀県

7月18日 富山県、香川県、大分県

平成13(2001)年3月22日 佐賀県

5月10日 山梨県、川崎市（神奈川県）

7月19日 高知県

12月12日 福島県

平成14(2002)年3月20日 岩手県、宮城県、神奈川県、福岡県、仙台市（宮城県）

7月29日 北海道、長崎県

平成15(2003)年3月10日 沖縄県

平成16(2004)年5月26日

8月9日 } 防災科学技術研究所（岩手県の一部、宮城県の一部、神奈川県、山梨県、長野県、石川県、福井県、

11月1日 } 岐阜県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、

岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、大分県、宮崎県）

平成18(2006)年3月1日

6月20日 } 防災科学技術研究所（北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、

群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、新潟県、富山県）

平成19(2007)年3月1日

防災科学技術研究所（福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、鹿児島県、沖縄県）

● 付表 3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード（M）別の月別地震回数  
 <平成 21 年（2009 年）7 月～平成 22 年（2010 年）6 月>

	M3.0 ～ M3.9	M4.0 ～ M4.9	M5.0 ～ M5.9	M6.0 ～ M6.9	M7.0 以上	計 M3.0以上	計 M4.0以上	記事
平成22年（2010年）								
6月	432	81	13	2		528	96	13日：福島県沖（M6.2） 18日：択捉島南東沖（M6.5）
5月	384	61	4	2		451	67	3日：鳥島近海（M6.1） 26日：南大東島近海（M6.4）
4月	288	79	5	1		373	85	26日：石垣島南方沖（M6.6）
3月	422	81	16	3		522	100	4日：台湾付近（M6.4） 14日：福島県沖（M6.7）
2月	398	74	12	3	1	488	90	6日：千島列島（M6.1） 7日：石垣島近海（M6.5） 18日：ウラジオストク付近（M6.8） 27日：沖縄本島近海（M7.2）
1月	304	64	15			383	79	
平成22年計	2228	440	65	11	1	2745	517	（平成21年7月～平成22年6月）
平成21年（2009年）								
12月	313	71	6	2		392	79	19日：台湾付近（M6.7） 24日：日本海北部（M6.1） 伊豆半島東方沖の地震活動 （M3.0～3.9：36回、M4.0～4.9：6回、 M5.0～5.9：2回）
11月	269	55	4			328	59	
10月	258	61	10	2		331	73	4日：台湾付近（M6.3） 30日：奄美大島北東沖（M6.8）
9月	323	70	6	2		401	78	3日：薩摩半島西方沖（M6.0） 29日：沖縄本島北西沖（M6.1）
8月	445	82	19	6		552	107	5日：宮古島近海（M6.5） 9日：東海道南方沖（M6.8） 11日：駿河湾（M6.5） 13日：八丈島東方沖（M6.6） 17日：石垣島近海（M6.7、M6.6）
7月	262	61	10	1		334	72	14日：台湾付近（M6.5）
過去1年計	4098	840	120	24	1	5083	985	

（参考）昨年同月のM別地震回数

6月	312	75	15	1		403	91	5日：十勝沖（M6.4）
----	-----	----	----	---	--	-----	----	--------------

注) 日本及びその周辺：原則、北緯20～49度、東経120～154度の範囲。「記事」欄には主にM6.0以上の地震について記載した。

## ●付表 4. 緊急地震速報の提供状況

平成 22 年 6 月に緊急地震速報（警報）を発表した地震はなかった（5 月もなし）。また、緊急地震速報（予報）を発表した地震の回数は 35 回（5 月は 27 回）であった。

平成 19 年 10 月～平成 22 年 6 月に緊急地震速報を発表した地震の月別回数

年 \ 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	年合計
平成 19 年 (2007 年)										0(48)	0(33)	0(39)	0(120)
平成 20 年 (2008 年)	0(35)	0(41)	0(48)	1(42)	1(70)	3(75)	2(63)	0(47)	1(58)	0(46)	1(40)	0(57)	9(622)
平成 21 年 (2009 年)	0(44)	0(39)	0(34)	0(34)	0(24)	0(54)	0(36)	2(65)	0(47)	1(44)	0(39)	0(47)	3(507)
平成 22 年 (2010 年)	0(53)	1(44)	1(50)	0(36)	0(27)	0(35)							2(245)

※ 表中の数字は緊急地震速報（警報）の発表回数、（ ）内の数字は緊急地震速報（予報）の発表回数を示す。

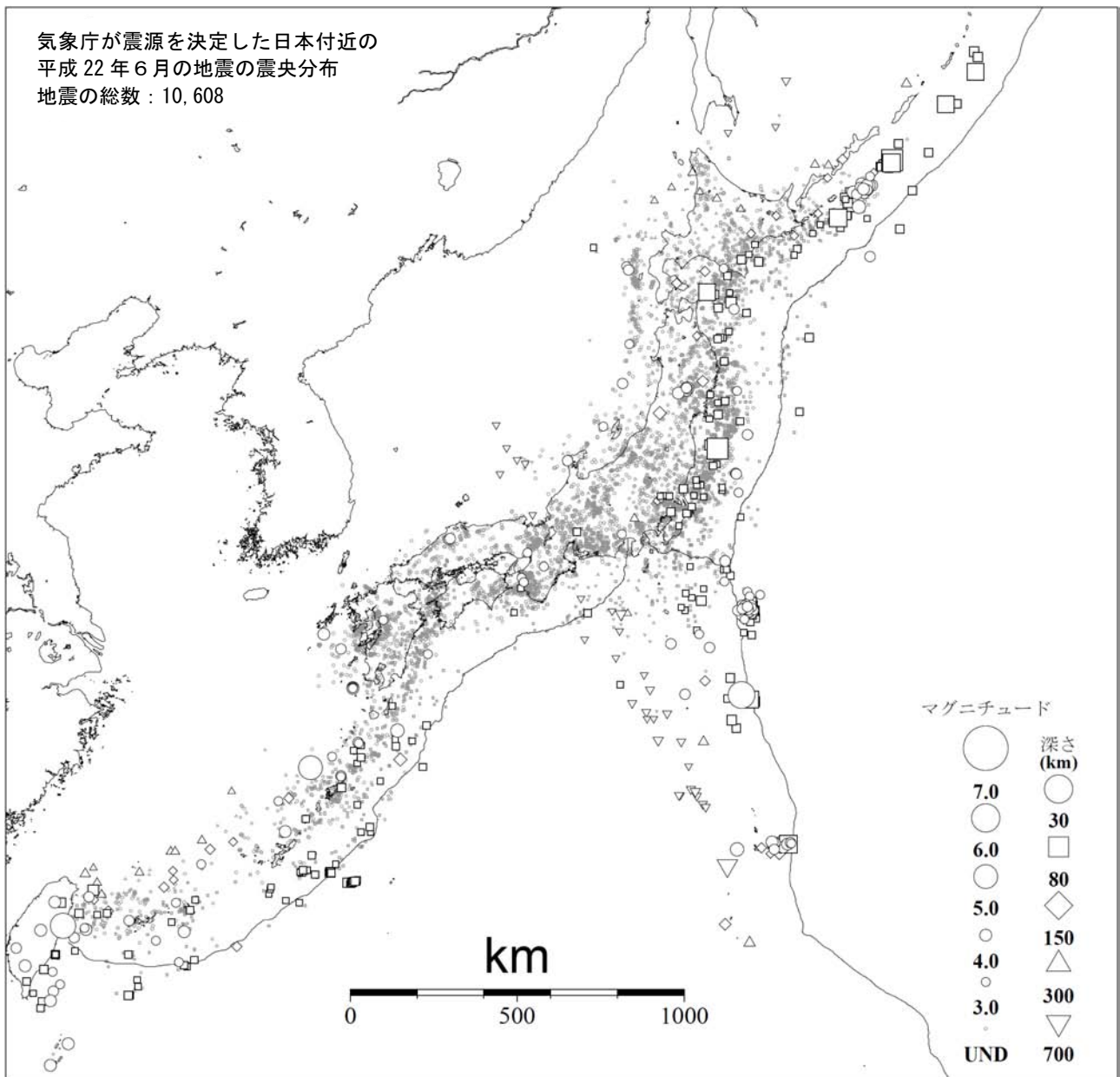
（参考）緊急地震速報（警報）を発表しなかった地震で、震度 5 弱以上を観測した地震

地震発生時刻	震央地名等	M	最大震度	予測最大震度	検知から予報第 1 報までの時間	検知から警報発表までの時間	備考	掲載ページ
平成22年6月13日	12時32分 福島県沖	6.2	5弱	4	4.0秒	—		12

気象庁は、平成 19 年 10 月より緊急地震速報の一般への提供を開始し、同年 12 月 1 日より、気象業務法の一部改正により、緊急地震速報を地震動の予報及び警報に位置付けて発表している。

なお、緊急地震速報では、平成 22 年 6 月末現在、気象庁が整備した地震計（全国約 210 箇所）と（独）防災科学技術研究所が整備した高感度地震観測網（Hi-net）の地震計（全国約 800 箇所）を利用している。

気象庁が震源を決定した日本付近の  
平成 22 年 6 月の地震の震央分布  
地震の総数 : 10,608



M3.0 以上の地震の震央を白抜きで示す。